



UPSS

ONLINE UPS

UPSS-X3

無停電電源装置

L C D パネル

操作説明書

はじめに

このたびは、**Uninterruptible Power Supply 無停電電源装置UPSS-X3**（以下UPSという）をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

この操作説明書には、LCDパネルのメニュー、機能と操作方法について記載されています。

LCDパネルの操作をする前に必ずこのLCDパネル操作説明書をお読みください。UPSの設置、操作についてはUPSの取扱説明書をご覧ください。お読みになった後は、UPS取扱説明書といっしょにいつでもご覧になれる場所に保管してください。

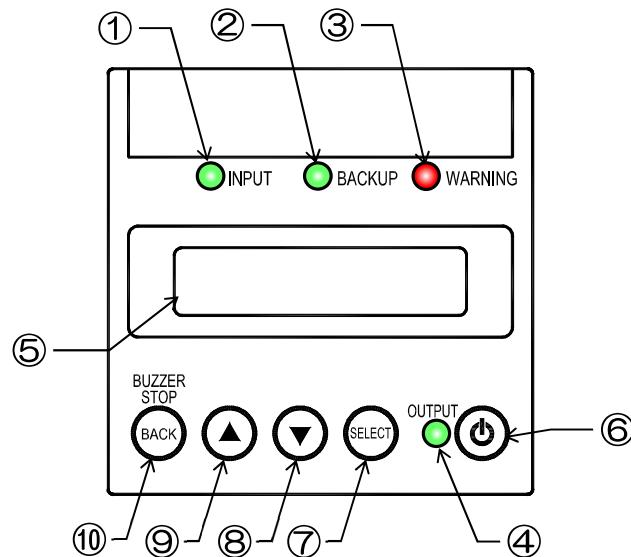
目次

1. LCDパネルの名称と機能	1
1.1 LCDパネルの各部の名称	1
1.2 ホームメニューの機能	2
1.3 LCDパネルの操作方法	3
1.4 初期設定	5
2. UPSの状態を見る	7
2.1 UPSの運転状態を見る	7
2.2 UPSの計測情報を見る	9
3. UPSの設定をする	11
3.1 出力電圧を設定する	13
3.2 周波数同期追従範囲を設定する	14
3.3 出力周波数を設定する	15
3.4 計測情報に表示される電圧を設定する	16
3.5 インタフェースを設定する	17
3.6 通信ボーレートを設定する	18
3.7 LAN インタフェースカード使用時のネットワークを設定する	19
3.8 復電時の動作を設定する	20
3.9 ブザー音が鳴る条件を設定する	21
3.10 UPS本体操作パネル のOFF操作を設定する	22
3.11 過負荷時の動作を設定する	23
3.12 OFF時のUPS給電状態を設定する	24
3.13 入力異常時にバイパス給電をする／しないを設定する	25
3.14 軽故障時に転送信号を送出する／しないを設定する	26
3.15 試験用の「装置異常」転送信号を送出する	27
3.16 試験用の「バッテリ電圧低下」転送信号を送出する	28
3.17 バッテリ電圧低下警告発生のタイミングを設定する	29
3.18 バッテリテストの実行時間を設定する	30
3.19 バッテリテストのスケジュールを設定する	31
3.20 停電時の運転時間を設定する	32
3.21 RING 信号の設定をする	33
3.22 出力電圧の調整値を設定する	34
3.23 EPO 入力論理を設定する	35
3.24 CARD I/F および SIGNAL I/F の停電信号の論理を設定する	36
3.25 CARD I/F および SIGNAL I/F のバッテリ電圧低下信号の論理を設定する	37
3.26 SIGNAL I/F のインバータ出力信号の論理を設定する	38

3.27	SIGNAL I/F のバイパス出力信号の論理を設定する.....	39
3.28	SIGNAL I/F の装置異常信号の論理を設定する.....	40
3.29	リモートスイッチの入力方式を設定する.....	41
3.30	復電の確認時間を設定する.....	42
3.31	エアフィルタを使用する／しないを設定する.....	43
3.32	日付／時刻を設定する.....	44
3.33	表示言語を設定する.....	45
3.34	並列接続するUPSユニットの台数を設定する.....	46
3.35	運転システムを設定する.....	47
3.36	設定値をリセットする.....	48
3.37	UPSを再起動する.....	49
4.	UPSの操作をする	50
4.1	バッテリテストをする	51
4.2	バッテリテストの結果を見る	53
4.3	UPSを起動する または 停止する.....	54
4.4	バイパス運転に切り換える.....	55
4.5	EPO ラッチ状態を解除する.....	56
5.	メンテナスマニュー（サービス員用）	57
5.1	バックアップ時間を設定する	58
5.2	バッテリ種別を設定する.....	59
5.3	エアフィルタ清掃完了の操作をする（エアフィルタ使用時のみ）	60
6.	状態表示説明.....	61
7.	計測情報表示について.....	63

1. LCDパネルの名称と機能

1.1 LCDパネルの各部の名称



番号	名称	表示	色	機能	
①	入力 LED	INPUT	緑	点灯	入力電源が正常な場合
				点滅	入力電源が異常な場合
②	バックアップ LED	BACKUP	緑	点灯	バッテリ運転中
③	警告 LED	WARNING	赤	点灯	注意・警告情報または故障発生時、バッテリ運転放電終止
④	出力 LED	OUTPUT	緑	点灯	インバータ運転による給電中
				点滅	バイパス運転による給電中
⑤	LCD画面	—	—	UPSの状態情報、計測値、保守支援情報、各種設定値、操作などを表示	
⑥	ON/OFF ボタン		—	インバータ運転の起動・停止操作	
⑦	SELECT ボタン		—	LCD表示項目・内容の選択・決定	
⑧	▼ ボタン		—	LCD表示項目を1つ進める	
⑨	▲ ボタン		—	LCD表示項目を1つ戻す	
⑩	BACK ボタン		—	選択の取り消し、LCD表示(メニュー)階層を戻す ブザー鳴動中、ブザー音の停止	

LCDパネルについて

● LED の図表示について

LEDは、操作説明書の中で【INPUT 緑】、【WARNING 赤】

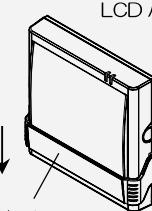
LEDの状態は 点灯：、点滅： のように表示されています。

● LCDパネル操作部のカバーについて

各ボタンを操作するときは、カバーを下にスライドさせます。
操作後は、誤操作防止のため、もとに戻してください。

LCDパネル

カバーを
スライドさせます。



1.2 ホームメニューの機能

LCDパネルには、下記の5つのホームメニューがあります。それぞれのメニューの機能により、設定グループ、設定項目などがあります。表示文字の内容、設定方法の詳細は、それぞれの項目をご覧ください。

ホームメニュー	機能	詳細
ジョウタイ ヒヨウジ 「2.1 UPSの運転状態を見る」参照	状態表示 UPSの状態が表示されます。	状態表示項目： 装置の運転モード、 交流入力、交流出力、バッテリの状態、 装置内部の異常、負荷率 など
ケイリク ヒヨウジ 「2.2 UPSの計測情報を見る」参照	計測表示 UPSの計測値が表示されます。	計測表示項目： 入力（電圧、周波数） 出力（電圧、電流、負荷率、電力、周波数） バッテリ（電圧、充電率、バッテリ残保持時間、停電発生回数、 バッテリ運転積算時間、バッテリ寿命） 充電器（電圧、電流） 温度（周囲温度、バッテリ温度）
セッティ ヘンコウ 「3. UPSの設定をする」参照	設定変更 UPSの各種設定を変更します。	設定項目： 入出力：電圧、周波数同期追従範囲、出力周波数、電圧電流表示 インターフェース：インターフェース、通信ポートレート ネットワーク※：LANインターフェースカード使用時の設定 （IPv4、DHCP、IPアドレス、サブネットマスク、 デフォルトゲートウェイ） 動作：復電時の動作、ブザー音、停止操作、 過負荷時の動作、出力停止時の動作、入力異常時の動作、 軽故障時の転送信号、装置異常の擬似転送信号の送出、 バッテリ電圧低下の擬似転送信号の送出、 バッテリ：バッテリ電圧低下警告タイミング バッテリテスト時間、テスト周期 機能：停電時運転時間、RING信号、出力電圧調整、 EPO入力論理、停電信号論理、バッテリ電圧低下論理、 インバータ信号論理、バイパス信号論理、異常信号論理、 リモートスイッチ入力、復電確認時間、 エアフィルタ使用時の設定、 システム：時刻、表示言語、ユニット接続台数、運転システム
UPS ソウサ 「4. UPSの操作をする」参照	UPS操作 UPSの操作をします。	操作項目： バッテリテスト、テスト結果表示 UPSの起動／停止 バイパス運転切り換え EPOラッチ状態解除
メンテナンス 「5. メンテナンスマニュ （サービス員用）」参照	メンテナンス サービス員用のメニューです。 保守用の情報表示、または設定を します。お客様は操作をしないで ください。	表示項目： 故障履歴表示、操作履歴表示、バッテリ情報、各ユニット運転状態、 各ユニット計測値 設定項目： バッテリバックアップ時間、バッテリ種類

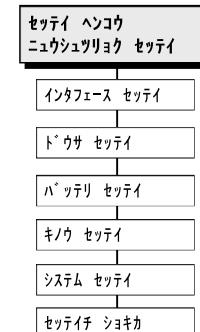
※「ネットワーク設定」メニューについて

「ネットワーク設定」メニューは、UPSにLANインターフェースカードが接続されている場合のみ表示されます。

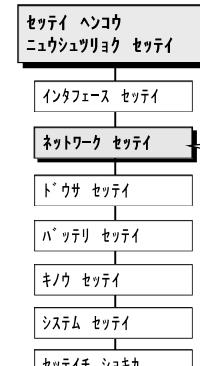
設定前に、ご使用のUPSにLANインターフェースカードが接続されているか、ないか確認してください。

「3. UPSの設定をする」の項目中、「3.7 ネットワークを設定する」以外の項目は、LANインターフェースカードが接続されていない場合を例に説明しています。

LANインターフェースカード
が接続されていない場合



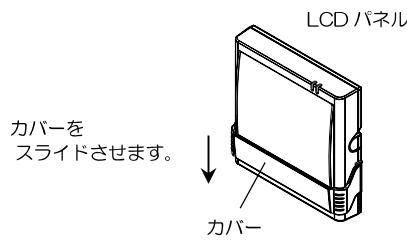
LANインターフェースカード
が接続されている場合



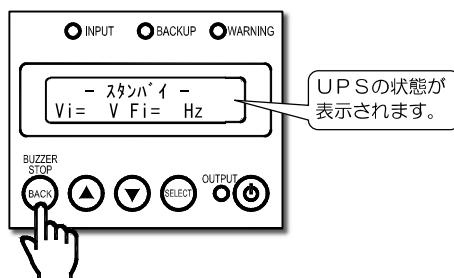
ネットワーク設定
メニューが表示さ
れます。

1.3 LCDパネルの操作方法

① カバーを下へスライドさせます。



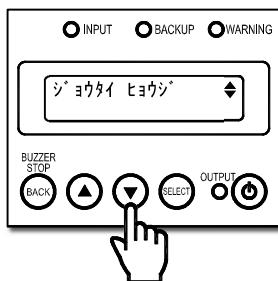
② を押してLCD画面を表示させます。



ご注意

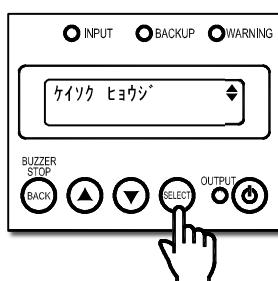
- UPSのブザーが鳴っているときに、 を押した場合は、ブザー音が停止します。1回押してブザー音が停止しない場合は、ブザー音が停止するまで、複数回押してください。ブザーが鳴っていない状態で を押すとLCD画面にメニューが表示されます。
- LCD画面は、10分以上操作をしないとパネルのライトが消灯します。約30秒後にスクリーンセーバーとして、UPS運転モード、入出力電力の計測値情報などがランダムに表示されます。スクリーンセーバー表示後、さらに10分以上操作をしないとパネルの表示が消えます。いずれかのボタンを押すとUPSの状態が表示されます。
- 実際にLCD画面に表示される文字は、操作説明書に記載されている文字列、配置と異なる場合があります。

③ または を押して画面を切り換えます。



手順③と手順④を繰り返して
表示または設定をします。

④ を押して項目を決定します。



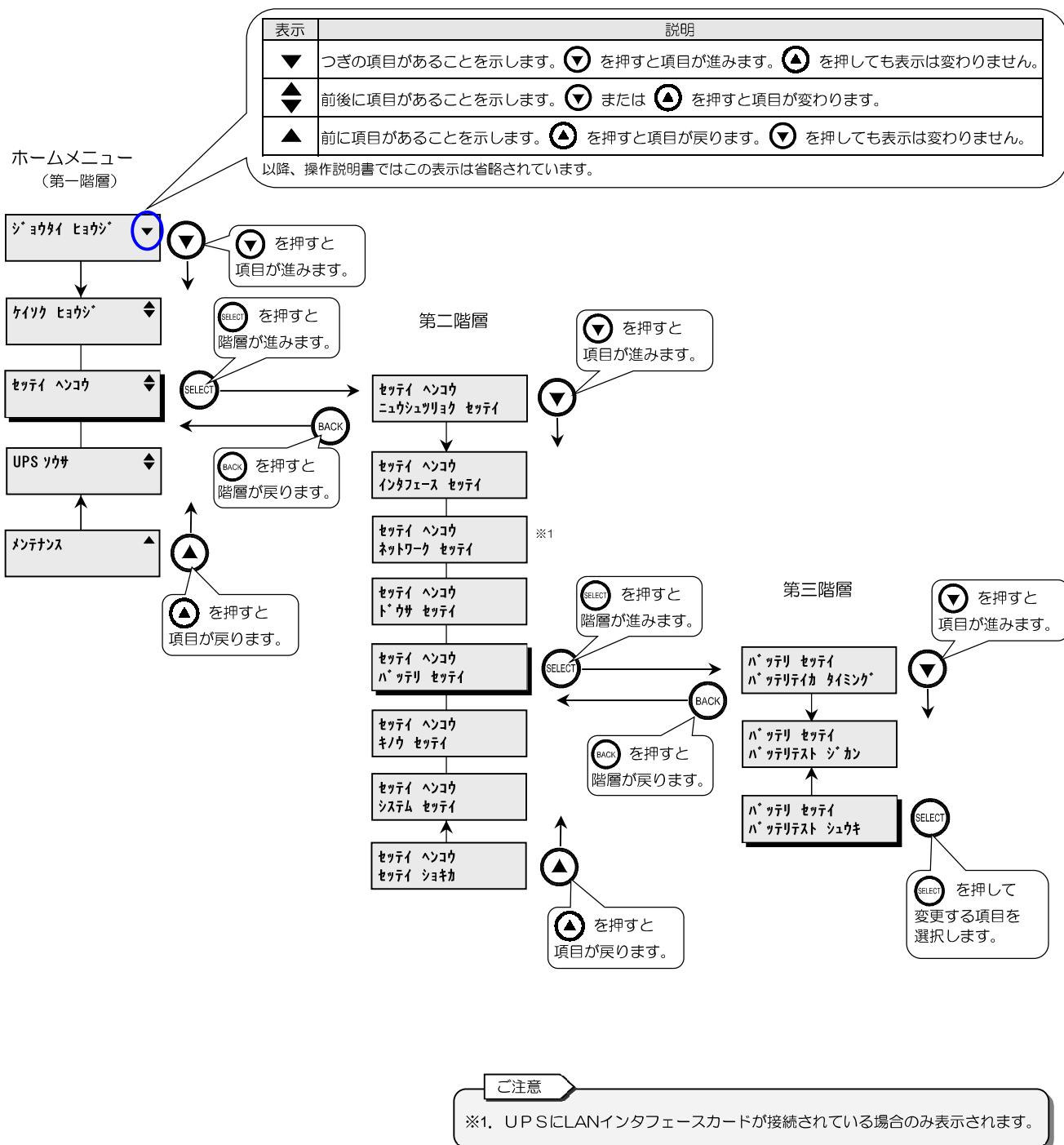
⑤ 戻りたい階層まで を押して戻ります。操作後は、カバーをもとの位置に戻します。

メニューはすべて下図のような階層で構成されています。

- を押すと階層が進み、● を押すと階層が戻ります。
- それぞれの階層に項目があり、● を押すと項目が進み、● を押すと項目が戻ります。
- 画面に表示されている項目で、● を押すと、項目が決定され階層が進みます。

階層、項目の数はメニューにより異なりますが、操作方法は同様です。

例：「セッティエンコウ（設定変更）」画面から、バッテリ設定の「ハ'ッテリテストシュウキ（バッテリテスト周期）」へ進む場合。

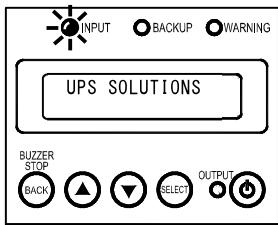
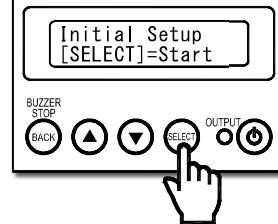
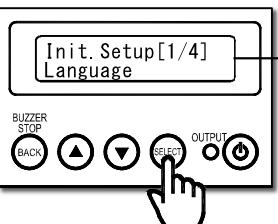


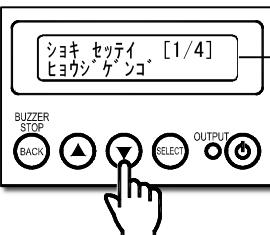
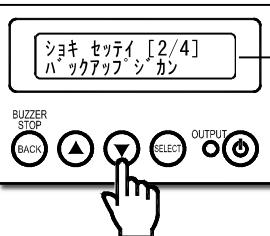
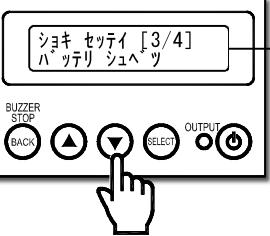
1.4 初期設定

UPSの初起動時、LCDパネルに初期設定画面が表示されます。
表示された画面にしたがい、初期設定をしてください。

ご注意

初起動時のみの設定です。この操作で正しく設定できなかった場合、または設定を変更する場合は、「3.33 表示言語を設定する」、「5.1 バックアップ時間設定する」、「5.2 バッテリ種別を設定する」をご覧になり設定してください。

手順	操作	ポイント														
1	次の項目について確認します。 1. サービス員によるUPSの設置・配線作業は完了していますか? 2. UPSの外観に傷や変形はないですか?	● UPSの設置・配線など、UPSの取扱説明書をご覧ください。														
2	入力電源を受電し、[MAIN MCCB] をONにします。	● UPSの取扱説明書をご覧ください。														
3	LCD画面が下記のようになっていることを確認します。  【INPUT(緑)】点灯 約5秒後、手順4の画面になります。															
4	LCD画面が下記のようになっていることを確認し、[SELECT] を押します。 	<ul style="list-style-type: none"> この画面は初起動時のみ表示されます。 この画面が表示されないときは、初期設定済みです。設定を変更する場合、表示言語は「セティインコウ」、バックアップ時間、バッテリ種別は「メンテナス」メニューから行ってください。 初起動時に、下表の3つの項目を設定します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設定項目</th> <th colspan="2">LCD画面の表示</th> </tr> <tr> <th>カタカナ</th> <th>英語</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表示言語</td> <td>ヒョウジ ゲンゴ</td> <td>Language</td> </tr> <tr> <td>バックアップ時間</td> <td>ハ'ツクアブ ジ'カン</td> <td>Backup time</td> </tr> <tr> <td>バッテリ種別</td> <td>ハ'ツテリシユペ'ツ</td> <td>Batt type</td> </tr> </tbody> </table> <p>● 初起動時は、英語表示になっています。</p>	設定項目	LCD画面の表示		カタカナ	英語	表示言語	ヒョウジ ゲンゴ	Language	バックアップ時間	ハ'ツクアブ ジ'カン	Backup time	バッテリ種別	ハ'ツテリシユペ'ツ	Batt type
設定項目	LCD画面の表示															
	カタカナ	英語														
表示言語	ヒョウジ ゲンゴ	Language														
バックアップ時間	ハ'ツクアブ ジ'カン	Backup time														
バッテリ種別	ハ'ツテリシユペ'ツ	Batt type														
5	表示言語を設定します。  5-1 [SELECT] を押します。 5-2 ▽ を押します。 5-3 [SELECT] を押します。 5-4 [BACK] を押して戻ります。	<ul style="list-style-type: none"> LCDパネルに表示される言語を日本語（カタカナ）または英語から選択します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定値</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>English</td> <td>英語</td> </tr> <tr> <td>Japanese</td> <td>日本語</td> </tr> </tbody> </table> <p>● ここで、日本語に設定する場合を説明します。 以降、本書では、日本語に設定した場合の画面表示で説明しています。</p> <p>● 初期設定完了後に設定を変更したい場合は、「3.33 表示言語を設定する」をご覧ください。</p>	設定値	説明	English	英語	Japanese	日本語								
設定値	説明															
English	英語															
Japanese	日本語															

手順	操作	ポイント																								
6	<p>バックアップ時間を設定します。</p>  <p>6-1 ▼ を押します。</p> <p>6-2 SELECT を押します。</p> <p>● 設定を変更する場合 6-3 ▲, ▼ で設定する値を表示させ、SELECT を押します。</p> <p>● 設定を変更しない場合 6-4 ▶へ進みます。</p> <p>6-4 BACK を押して戻ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定するバックアップ時間は、UPSに添付されている「初期設定説明書」で確認してください。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定値</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>5 フン</td><td>5 分</td></tr> <tr><td>10 フン</td><td>10 分</td></tr> <tr><td>15 フン</td><td>15 分</td></tr> <tr><td>25 フン</td><td>25 分</td></tr> <tr><td>30 フン</td><td>30 分</td></tr> <tr><td>35 フン</td><td>35 分</td></tr> <tr><td>45 フン</td><td>45 分</td></tr> <tr><td>60 フン</td><td>60 分</td></tr> <tr><td>120 フン</td><td>120 分</td></tr> <tr><td>180 フン</td><td>180 分</td></tr> <tr><td>360 フン</td><td>360 分</td></tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ● 必ずUPSの仕様に合わせて設定してください。 30分バックアップのUPSの場合に「60フン」を選択しても実際のバックアップ時間は60分にはなりません。正しく設定しないと、バッテリ情報が正確に表示されません。また、バッテリが正しく充電されなくなります。 ● 初期設定完了後に設定を変更したい場合は、「5.1 バックアップ時間を設定する」をご覧ください。 	設定値	説明	5 フン	5 分	10 フン	10 分	15 フン	15 分	25 フン	25 分	30 フン	30 分	35 フン	35 分	45 フン	45 分	60 フン	60 分	120 フン	120 分	180 フン	180 分	360 フン	360 分
設定値	説明																									
5 フン	5 分																									
10 フン	10 分																									
15 フン	15 分																									
25 フン	25 分																									
30 フン	30 分																									
35 フン	35 分																									
45 フン	45 分																									
60 フン	60 分																									
120 フン	120 分																									
180 フン	180 分																									
360 フン	360 分																									
7	<p>バッテリの種別を設定します。</p>  <p>7-1 ▼ を押します。</p> <p>7-2 SELECT を押します。</p> <p>● 設定を変更する場合 7-3 ▲, ▼ で設定する値を表示させ、SELECT を押します。</p> <p>● 設定を変更しない場合 7-4 ▶へ進みます。</p> <p>7-4 BACK を押して戻ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定するバッテリ種別は、UPSに添付されている「初期設定説明書」で確認してください。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定値</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>5 ケン(ナリバッテリ)</td><td>5年(鉛バッテリ)</td></tr> <tr><td>10 ケン(ナリバッテリ)</td><td>10年(鉛バッテリ)</td></tr> <tr><td>13 ケン(ナリバッテリ)</td><td>13年(鉛バッテリ)</td></tr> <tr><td>リチウムイオンバッテリ</td><td>リチウムイオンバッテリ</td></tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ● 必ずUPSの仕様に合わせて設定してください。 「5年(鉛バッテリ)」タイプのバッテリが搭載されているときに、「10年(鉛バッテリ)」に設定しても、実際のバッテリ寿命は10年にはなりません。正しく設定しないと、バッテリ情報が正確に表示されません。 ● 初期設定完了後に設定を変更したい場合は、「5.2 バッテリ種別を設定する」をご覧ください。 	設定値	説明	5 ケン(ナリバッテリ)	5年(鉛バッテリ)	10 ケン(ナリバッテリ)	10年(鉛バッテリ)	13 ケン(ナリバッテリ)	13年(鉛バッテリ)	リチウムイオンバッテリ	リチウムイオンバッテリ														
設定値	説明																									
5 ケン(ナリバッテリ)	5年(鉛バッテリ)																									
10 ケン(ナリバッテリ)	10年(鉛バッテリ)																									
13 ケン(ナリバッテリ)	13年(鉛バッテリ)																									
リチウムイオンバッテリ	リチウムイオンバッテリ																									
8	<p>設定を確定します。</p>  <p>8-1 ▼ を押します</p> <p>8-2 SELECT を押します</p> <p>オマケタ サイ…</p>																									
9	<p>以上で初期設定は終了です。</p> <p>初期設定後、UPSを再起動します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 操作方法は、UPSの取扱説明書をご覧ください。 																								

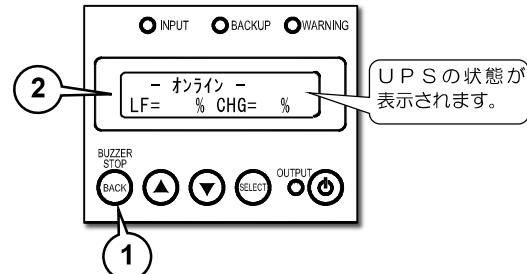
2. UPSの状態を見る

2.1 UPSの運転状態を見る

現在のUPSの運転状態を見るすることができます。

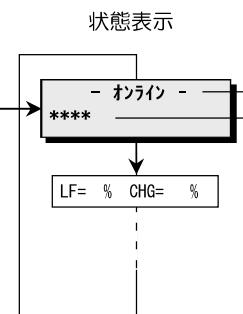
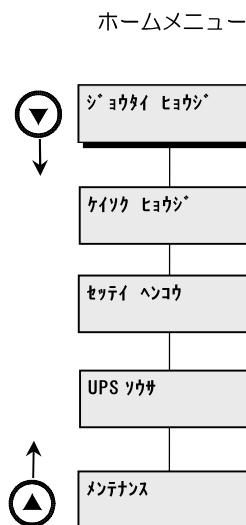
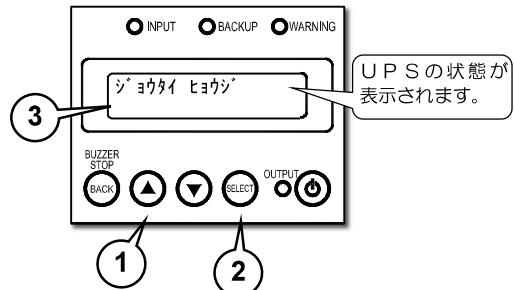
LCD画面が消灯している場合

- ① を押してLCD画面を表示させます。
- ② 表示されたLCD画面でUPSの状態を確認することができます。



いずれかのホームメニューが表示されている場合

- ① を押して画面を切り換え、 を表示させます。
- ② を押します。
- ③ 表示されたLCD画面でUPSの状態を確認することができます。



● 上行：UPSの運転モード
● 下行：状態表示
計測値、警告、故障などの情報
UPS状態が複数ある場合は、下行の表示内容が自動的に切り換わり、巡回します。
表示される状態表示は次ページの表のとおりです。

- ※1. 階層を進めるときは 、階層を戻すときは を押します。
 を押すと項目が進み、 を押すと戻ります。
※2. 表示された内容の詳細につきましては、購入先または当社までお問い合わせください。また、装置異常、故障などが表示されたときは、購入先または当社までご連絡ください。

ポイント

UPSの状態表示の一覧は下表のとおりです。

UPSの状態により、画面上行にいずれかのUPS運転モード、下行にいずれかの状態が表示されます。

表示された状態の詳細、対応方法は「6. 状態表示説明」をご覧ください。

UPS運転モード（上行）		状態表示（下行）	
表示	内容	表示	内容
スタンバイ	待機中	LF= % CHG= %	負荷率、充電率（オンライン表示）
オンライン	オンライン運転中	LF= % Tm= m	負荷率、推定放電時間（バッテリ運転表示）
バイパス	バイパス運転中	PDU ファン イジ' ヨウ	集電ユニットファン異常（重故障）
バッテリーウンデン	バッテリ運転中	PDU ブレーカ OFF	集電ユニット出力ブレーカ断（重故障）
バッテリーテスト	バッテリテスト中	Vi= V Fi= Hz	入力電圧、入力周波数（待機中表示）
システムショット	システム故障中	Vo= V Fo= Hz	出力電圧、出力周波数（バイパス運転表示）
		イジ' ヨウシング' カテト	装置異常の擬似転送信号送出中
		インバータ 過電圧	インバータ過電圧（重故障）
		インバータカイロ イジ' ヨウ	インバータ電圧検出回路異常（重故障）
		インバータ' イジ' ヨウ	インバータ電圧低下（重故障）
		エアフィルタ テンケン ジ' キ	エアフィルタ点検時期 ^{※3}
		カフカ ジ' ヨウタイ	過負荷
		カフカ ジ' ヨウタイ(オンド')	過負荷(温度制限)
		キヨセイ バイバス SW オン	バイパススイッチ ON
		キド' ウマデ' = h m	スケジュール起動遅延中 ^{※1}
		コントローラ イジ' ヨウ	コントローラ異常（重故障）
		コンバータ イジ' ヨウ	コンバータ異常（重故障）
		サイド' ウ テクダ' サイ	再起動要
		シュウハスク イジ' ヨウ	入力周波数異常
		ジ' ヨウチヨウケン NG	冗長運転不可（軽故障）
		セッティ イジ' ヨウ	設定異常
		セイ' ヨテ' シゲン イジ' ヨウ	制御電源（12V）異常（重故障）
		ソウニットスク イジ' ヨウ	総ユニット数エラー（重故障）
		チャージ' ャ イジ' ヨウ	充電器異常（重故障）
		チャージ' ャ テイシ(オンド')	動作温度範囲外による充電器停止（軽故障）
		チャージ' ャ テイシ(ヘンコウ)	バッテリ種別変更による充電器停止
		チョクリュウ' イジ' ヨウ	コンバータ直流電圧異常（重故障）
		テイシチュウ(EPO オン)	EPO による停止中
		テイシチュウ(EPO ラッチ)	EPO ラッチ による停止中
		テイシチュウ(Win イジ' ヨウ)	バイパス出力断（入力電圧異常）
		テイシチュウ(リモートオフ)	Remote OFF による停止中
		テイシマデ' = h m	スケジュール停止遅延中 ^{※1}
		テストチク' m s	バッテリテスト残り時間 ^{※1}
		ナイ' ツウシ' イジ' ヨウ	UPS内部の通信異常（軽故障）
		ナイ' オンド' イジ' ヨウ	フィン温度異常（重故障）
		ニュウリヨク イジ' ヨウ	入力異常
		ニュウリヨク デ' ソア' テイカ	入力過電圧
		バ' ッテリ イジ' ヨウ	バッテリ回路異常（重故障）
		バ' ッテリ ジ' ュウデ' マチ	充電率起動待ち中 バッテリ充電率不定による起動待ち中
		バ' ッテリ ジ' ュミヨウ	バッテリ寿命
		バ' ッテリ ジ' ュミヨウ ヨコク	バッテリ寿命予告（6か月前）
		バ' ッテリ オカ' ンシユウ' シ	バッテリ放電終止
		バ' ッテリ LV シゴ' カテト	バッテリ LV の擬似転送信号送出中
		バ' ッテリキド' ウ カイロ イジ' ヨウ	バッテリ起動スイッチの短絡故障（軽故障） ^{※2}
		バ' ッテリテスト(リモート)	遠隔操作によるバッテリテスト実行中
		バ' ッテリ' イジ' ヨウ	バッテリ電圧異常
		バ' ッテリ' イジ' ヨウ	バッテリ電圧低下
		ヒド' ウ カンテン	非同期運転
		フク' タン カニン' チュウ	復電時確認時限中
		ホ' ヨテ' シゲン イジ' ヨウ	補助電源異常（軽故障）
		メイン ブレーカ OFF	メインブレーカの OFF またはトリップ
		ユニットツク' イジ' ヨウ	ユニット間通信異常

※1. 時間に表示が異なります。

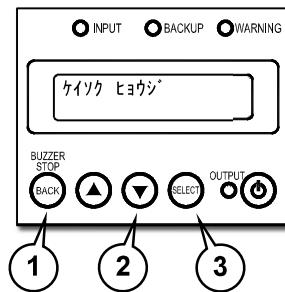
※2. UPSの型番により、表示されない機種があります。

※3. 「3.31 エアフィルタを使用 する／しない を設定する」で設定値が「ショ'ル」に設定されている場合に表示されます。また、「3.14 軽故障時に転送信号を送出 する／しない を設定する」で設定値が「ソ'ル'ル」に設定されている場合は、「装置異常」信号が送出されます。

2.2 UPSの計測情報を見る

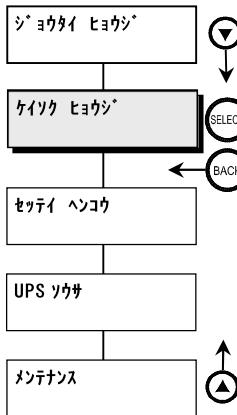
UPSの各種の計測値を見ることができます。

- ① を押してLCD画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り換える、 **ケイリク ヒヨウジ** を表示させます。
- ③ を押して確定します。
- ④ 同様にそれぞれの階層で下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「計測項目」→「計測値」へ進みます。
- ⑤ または で計測項目を切り換えて、見たい計測値を表示させます。



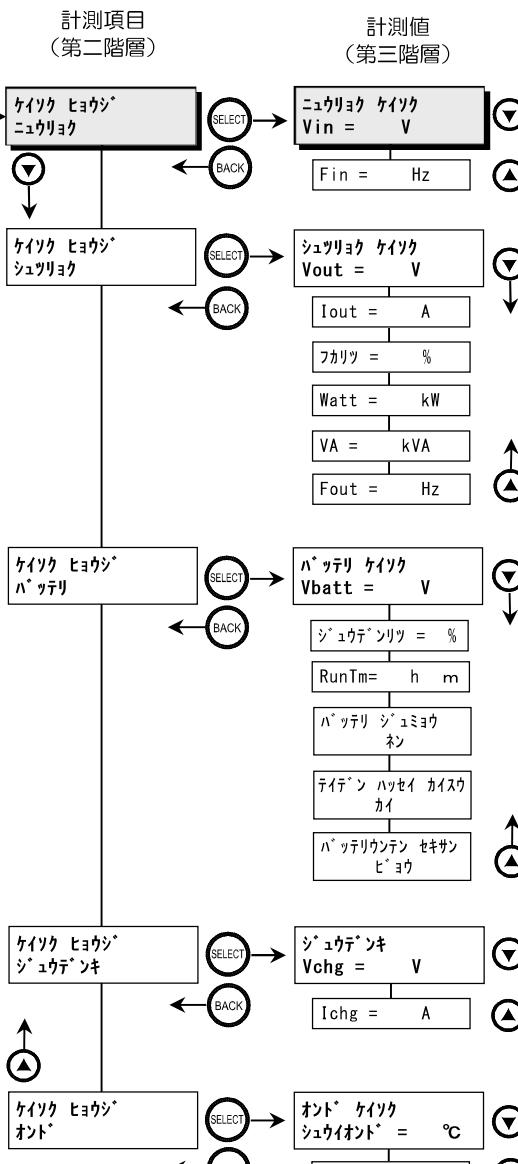
例：UPSの入力電圧値を見る

ホームメニュー
(第一階層)



計測項目
(第二階層)

計測値
(第三階層)



※1. を押すと表示が進み、 を押すと戻ります。

※2. 階層を戻すときは、 を押します。

※3. 表示された内容の詳細につきましては、購入先または当社までお問い合わせください。また、装置異常、故障などが表示されたときは、購入先または当社までご連絡ください。

ポイント

このページは空白です。

3. UPSの設定をする

設定メニューには、設定項目別に7つの設定グループがあります。工場出荷時は、初期設定欄に「※」印がある設定値に設定されています。ご使用の環境、用途に合わせて設定してください。設定方法、設定値の詳細は、3.1～3.36の各項目をご覧ください。設定を変更した場合は、現在の設定欄にチェックをしておくことをお勧めします。

設定項目一覧表

ホームメニュー：セッティソウ（設定変更）

1/2

設定グループ	設定項目		設定値		初期設定	現在の設定	参照項目	参照ページ	
	表示	内容	表示	内容					
ニュウシツリヨク セッティ 入出力設定	シユツリヨク テンソツ	出力電圧 ★ *1	UPSの出力電圧を設定。 出力電圧と入力電圧は同一。	200V 220V 230V 240V 208V	出力電圧 200V 出力電圧 220V 出力電圧 230V 出力電圧 240V 出力電圧 208V	※		3.1	13
	シユハスウ トウキハシ	周波数同期追従範囲 ★ *1	出力周波数の入力周波数に追従する範囲(%)を設定。	1% 3% 5%	±1% ±3% ±5%	※			
	シユツリヨク シュウハスウ	出力周波数 ★ *1	出力周波数を設定。	ジドウセンタ1 ジドウセンタ2 50Hz コイ 60Hz コイ	自動選択1 (非同期運転なし) 自動選択2 (非同期運転あり) 50Hz 固定 60Hz 固定	※		3.3	15
	テンソツシリュウ ヒヨウジ	電圧電流表示	計測表示などで表示される入出力電圧、電流を設定。	200V/200V(S) 200V/100V 100V/200V 100V/100V 200V/200V	200V/200V(S) 200V/100V 100V/200V 100V/100V 200V/200V	※			
	インタフェース セッティ インターフェース設定	インタフェース	外部インターフェース部のコネクタ使用時のインターフェースを設定。	スタンダード ワーカステーション	スタンダード ワーカステーション	※		3.5	17
		ツウシンドーレート	パーソナルコンピュータ、LANインターフェースカード、ワークステーション接続時の通信ポートを設定。	9600 4800 2400	9600bps 4800bps 2400bps	※			
	ネットワーク セッティ ネットワーク設定 *4	IPv4	IPv4 の使用	IPv4 を使用する／しないを設定。	シヨウ シメイ シヨウ スル	使用しない 使用する		3.7	19
		DHCP	DHCP 機能	DHCP 機能を使用する／しないを設定。	シヨウ シメイ シヨウ スル	使用しない 使用する			
		IPアドレス	IP アドレス	IP アドレスを設定	192.168.1.34	192.168.1.34			
		サブネットマスク	サブネットマスク	サブネットマスクを設定	LAN I/F カードに依存	LAN I/F カードに依存			
ドウサ セッティ 動作設定	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定	LAN I/F カードに依存	LAN I/F カードに依存				
	フクデンジ ドウサ	復電時の動作	停電発生時、バッテリ放電終止によるUPS停止後、商用電源が復電した場合のUPSの動作を設定。	ジドウカキ ジヨウジキドウ テイシ ジユウテンリツ30% ジユウテンリツ50% ジユウテンリツ80%	自動復帰 常時起動 停止 充電率30%以上で起動 充電率50%以上で起動 充電率80%以上で起動	※		3.8	20
	ブザーメイトウ	ブザー音	ブザー音が鳴る条件を設定。	スペチメイトウ グループ #0 グループ #1 グループ #2 メイトウナン	すべて グループ 0 グループ 1 グループ 2 停止	※			
	OFF ソウサ	OFF 操作	UPSを停止する場合の本体操作パネル⑥のOFF操作を設定。	1ビヨウ 3ビヨウ トクシソウサ	1秒間押下でOFF 3秒間押下でOFF 特殊操作でOFF	※		3.9	21
	カフカジ ドウサ	過負荷時の動作	過負荷によるバイパス給電への切換後の動作を設定。	BYPジドウ フッキ バイパス ケイゾク	バイパスから自動復帰 過負荷時バイパス給電	※			
	OFFジユウデン	OFF 時給電状態 ★ *1	UPS停止時の給電状態を設定。	シュリヨク テイシ	出力停止	※		3.10	22
	Vinテイカン BYP OUT	入力異常時のバイパス給電	入力異常時にバイパス給電をする／しないを設定。	バイパス シル バイパス シメイ	バイパス給電する バイパス給電しない	※			
	ケイシヨウジ シンゴウ	軽故障時の転送信号	軽故障発生時に転送信号を送出する／しないを設定。	ソウシユツ シル ソウシユツ シメイ	送出する 送出しない	※		3.11	23
	イジヨウシング タテスト	装置異常の擬似転送信号送出	試験用の装置異常の転送信号を送出。	ソウシユツ シル ソウシユツ シメイ	送出する 送出しない	※			
	バッテリ LV シンゴウテスト	バッテリ LV の擬似転送信号送出	試験用のバッテリ電圧低下の転送信号を送出。	ソウシユツ シル ソウシユツ シメイ	送出する 送出しない	※		3.12	24
バッテリ セッティ バッテリ設定	バッテリテイキ タイミング*	バッテリ電圧低下タイミング *3	バッテリ電圧低下警告の発生タイミングを設定。	バッテリデンアリ ノクリ 2 フン ノクリ 3 フン ノクリ 5 フン ノクリ 10 フン	バッテリ電圧レベル検出 バッテリ残保持時間 2 分 バッテリ残保持時間 3 分 バッテリ残保持時間 5 分 バッテリ残保持時間 10 分	※		3.17	29
	バッテリテスト ジカン	バッテリテスト時間	バッテリテストの実行時間を設定。	*** フンカン	*** 分間実行(任意値入力)	2分			
	バッテリテスト シュキ	バッテリテスト周期 *3	自動的に実施されるバッテリテストの期間(日数)を設定。	180 ニコト 90 ニコト 30 ニコト	180日で自動テスト 90日で自動テスト 30日で自動テスト	※		3.18	30
				ジドウテスト シメイ	自動テストしない				

設定グループ	設定項目		設定値		初期設定	現在の設定	参照項目	参照ページ		
	表示	内容	表示	内容						
キノウ セッティ 機能設定	テイゲンシング ウンテンジング カン	停電時運転時間	停電発生時、UPSがバックアップを開始してから出力を停止するまでの時間を設定。	ホウデ ジュウガ マテ	放電終止まで	※		3.20	32	
				10 ピ'ヨウガ テイシ	10秒後に出力停止					
		出力電圧調整		30 ピ'ヨウガ テイシ	30秒後に出力停止					
				1 フンゴ テイシ	1分後に出力停止					
				3 フンゴ テイシ	3分後に出力停止					
	RING ドカラ	RING動作	UPS起動時にRING信号を出力する/しないを設定。	5 フンゴ テイシ	5分後に出力停止					
				10 フンゴ テイシ	10分後に出力停止					
		出力電圧調整		シュツリヨク シル	出力する			3.21	33	
				シュツリヨク シナイ	出力しない	※				
				-5	5段階マイナス					
システム セッティ システム設定	ショウリヨクテイ ンツチヨウセイ	出力電圧調整	3.1項で設定した定格電圧に対する調整値を設定。 1段階で約1Vの調整。	-4	4段階マイナス			3.22	34	
				-3	3段階マイナス					
				-2	2段階マイナス					
				-1	1段階マイナス					
				0	調整しない	※				
	EPO ニュウリヨク ロンリ	EPO入力論理	EPOの入力論理を設定。	+1	1段階プラス			3.23	35	
				+2	2段階プラス					
				+3	3段階プラス					
				+4	4段階プラス					
				+5	3段階プラス					
セッティ ショキカ 設定値 初期化	バッテリ LV シンコウ ロンリ	バッテリLV信号論理	CARD I/FおよびSIGNAL I/Fのバッテリ電圧低下信号の論理を設定。	セイ ロンリ	正論理	※		3.24	36	
				フ ロンリ	負論理					
				セイ ロンリ	正論理	※				
				フ ロンリ	負論理					
				セイ ロンリ	正論理	※				
	インバータ シンゴウ ロンリ	インバータ信号論理	SIGNAL I/Fのインバータ出力信号の論理を設定。	セイ ロンリ	正論理	※		3.25	37	
				フ ロンリ	負論理					
				セイ ロンリ	正論理	※				
				フ ロンリ	負論理					
				セイ ロンリ	正論理	※				
セッティ ショキカ 設定値 初期化	リモートスイッチ ニュウリヨク	リモートスイッチ入力	リモートスイッチの入力方式を設定	ON/OFF	リモートON/OFF 両方使用	※		3.26	38	
				ON ノミ (セイ)	リモートONのみ使用 (正論理)					
				ON ノミ (フ)	リモートONのみ使用 (負論理)					
				ソクジ	0秒	※				
				10 ピ'ヨウカン	10秒					
	アエアフィルタ	アエアフィルタ使用の有無	復電時確認時間	30 ピ'ヨウカン	30秒			3.27	39	
				60 ピ'ヨウカン	60秒					
				セイ ロンリ	正論理	※				
				フ ロンリ	負論理					
				セイ ロンリ	正論理	※				
セッティ ショキカ 設定値 初期化	ヒツケ / ジ'コク	月日／時刻	UPSの時刻を設定。	ヒツケ YY/MM/DD	月日 年/月/日			3.28	40	
				ジ'コク HH:MM:SS	時刻 時/分/秒					
				エイジ	英語	※				
				ニホンゴ	日本語					
	ChA セツツ' クタ' イカ'	ChA システム並列接続台数設定	UPSシステムを構成するUPSユニットの接続台数を設定。	1	ユニット1台			3.29	41	
				2	ユニット2台接続					
				3	ユニット3台接続					
				4	ユニット4台接続					
				5	ユニット5台接続					
セッティ ショキカ 設定値 初期化	ChB セツツ' クタ' イカ'	ChB システム並列接続台数設定	設定変更しないでください。	6	ユニット6台接続			3.30	42	
				7	ユニット7台接続					
				8	ユニット8台接続					
				1	設定変更しないでください。	※				
				8	設定変更しないでください。					
セッティ ショキカ 設定値 初期化	ハイレツ ジ'ヨウチヨウ	UPSの運転システム	冗長運転/単機・並列運転の設定。	N+1 ジ'ヨウチヨウ	冗長運転			3.31	43	
				タシキ/ハイレツ	単機、並列運転	※				
セッティ ショキカ 設定値 初期化	セッティ ショキカ	工場出荷時の状態にリセット。	—	—	—	—		3.32	44	

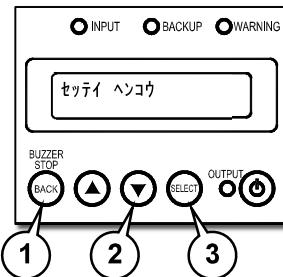
ご注意

- *1. 設定項目欄に「★」印があるメニューは、設定変更後にUPSを再起動しないと設定値が有効になりません。 設定変更をした場合は「3.37 UPSを再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。 UPSの運転操作の詳細はUPS取扱説明書をご覧ください。 UPSを停止するときは、必ず事前に負荷機器を停止してください。
- *2. UPS型番により初期設定は異なります。工場出荷時に設定されています。
- *3. UPS管理ソフトまたはLANインターフェースカードを使用している場合、UPSでは設定できません。 UPS管理ソフトまたはLANインターフェースカードで設定してください。
- *4. UPSにLANインターフェースカードが接続されている場合のみ表示されます。

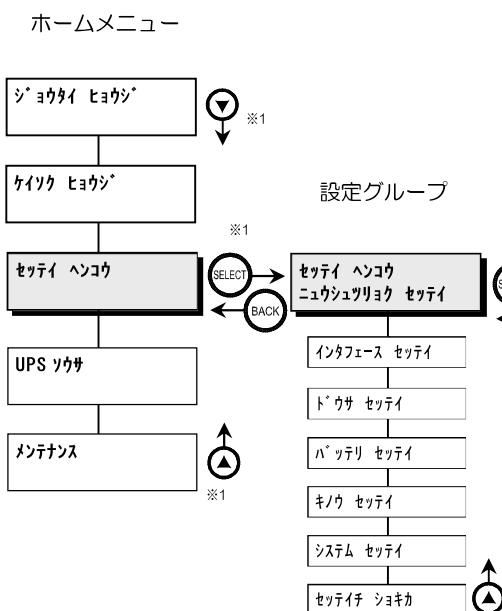
3.1 出力電圧を設定する

UPSの出力電圧を設定します。

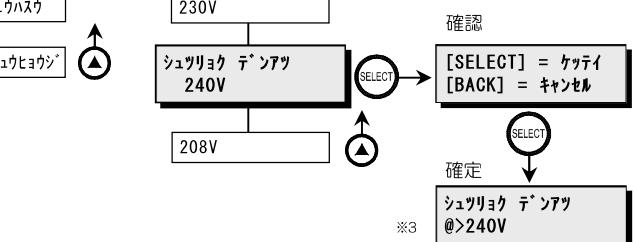
- ① BACK を押して LCD 画面を表示させます。
 - ② ▶ を押してホームメニューを切り換え、セッティ ヘンコウ を表示させます。
 - ③ SELECT を押して確定します。
 - ④ ▶ または ▲ で表示を切り換え、設定する項目を SELECT で選択します。各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
 - ⑤ ▶ または ▲ で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面
 - ⑥ BACK を押して戻ります。



例：出力電圧を「240V」に設定変更する場合



ポイント



ご注意

- 設定を変更した後は、「3.37 UPS を再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。UPSを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
 - UPS状態表示に「**#1イ ハ タケハ #1**」が表示されているときは、設定変更後にUPSが再起動されていない状態です。「3.37 UPS を再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。

設定値	詳細
初期設定	200V
	220V
	230V
	240V
	208V

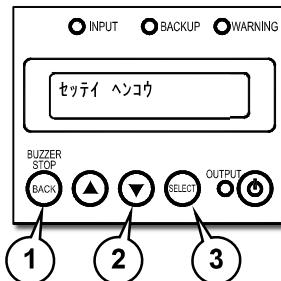
3.2 周波数同期追従範囲を設定する

出力周波数が入力周波数に同期する追従範囲を設定します。

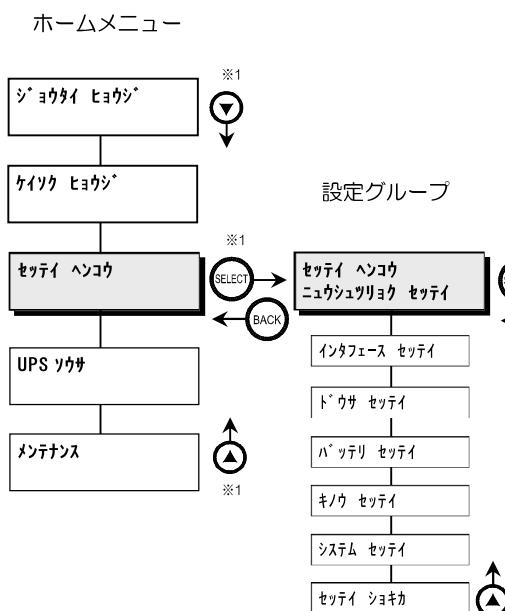
- ①  を押して LCD 画面を表示させます。
 - ②  を押してホームメニューを切り換え、

セッティ エンコウ

 を表示させます。
 - ③  を押して確定します。
 - ④  または  で表示を切り換え、設定する項目を  で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます
 - ⑤  または  で設定値を切り換え、設定する値を  で選択し、確認画面
 - ⑥  を押して戻ります。



例：周波数同期追従範囲を「5%」に設定変更する場合

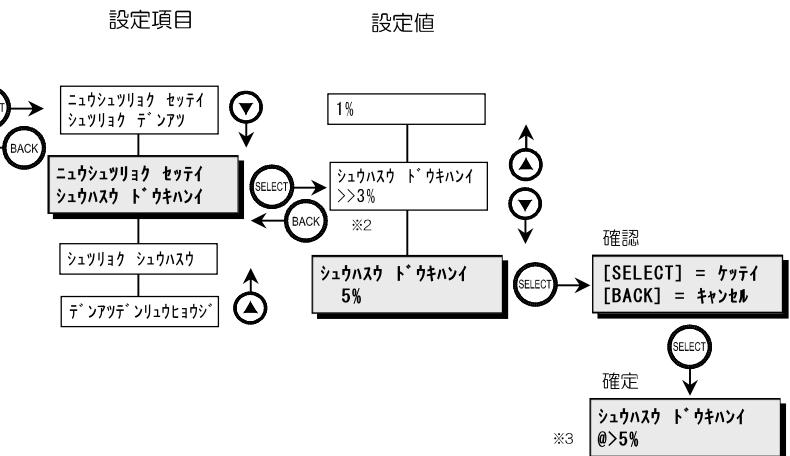


※1. 階層を進めるときは 、階層を戻すときは  を押します。

▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。

※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。

※3. 変更が確定した設定値は「@@」記号で表示されます。
UPSの再起動後に「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



二、注意

- 設定を変更した後は、「3.37 UPSを再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。UPSを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
 - UPS状態表示に「**リセット タイムアウト**」が表示されているときは、設定変更後にUPSが再起動されていない状態です。「3.37 UPSを再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。

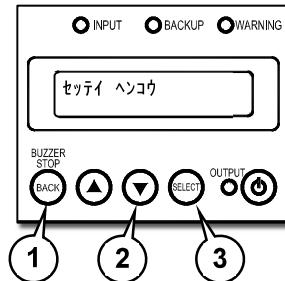
設定値	詳細
1 %	入力周波数の ±1%
3 %	入力周波数の ±3%
5 %	入力周波数の ±5%

- 数値が小さいほど出力周波数の精度がよくなりますが、入力周波数が不安定な場合は非同期運転に切り換わりやすくなります。
エンジン発電機の出力に接続する場合などは「5%」を選択してください。
非同期運転時にバイパス運転に切り換わる場合は、瞬断切換となります。
 - 「3.3 出力周波数を設定する」で「50Hz」、「60Hz」または「ゾド セカタ」のいずれに設定した場合も、インバータは入力周波数が設定した値（±1%，±3%，±5%）の範囲内にないとき起動しません。

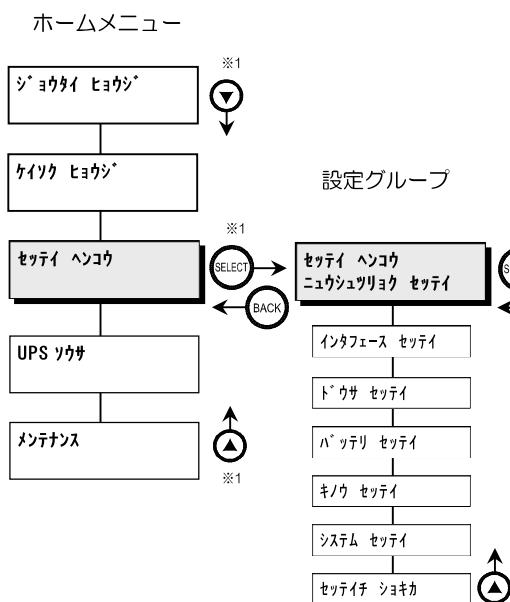
3.3 出力周波数を設定する

出力周波数は出荷時に「自動選択 2」に設定されています。特殊な電源環境で使用する場合以外は、設定を変更しないでください。誤って設定を変更してしまった場合は下記の手順で「自動選択 2」に設定してください。

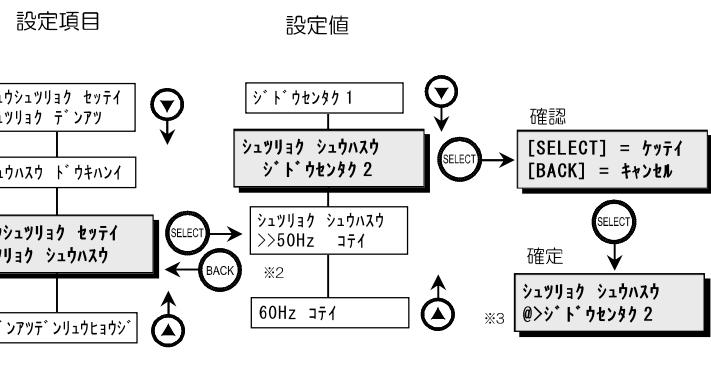
- ① を押して LCD 画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り替え、**セッティ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ を押して確定します。
- ④ または で表示を切り替え、設定する項目を で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ または で設定値を切り替え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。
- ⑥ を押して戻ります。



例：出力周波数を「自動選択 2」に設定変更する場合



- ※1. 階層を進めるときは 、階層を戻すときは を押します。
 を押すと項目が進み、 を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更が確定した設定値は「@」記号で表示されます。
UPSの再起動後に「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
ゾド ウセンタ 1 自動選択 1 非同期運転：なし	入力周波数に合わせて自動的に設定されます。 「ゾド ウセンタ 1」に設定した場合「3.2 周波数同期追従範囲を設定する」で設定した追従範囲を超えるとバッテリ運転になります。
ゾド ウセンタ 2 自動選択 2 非同期運転：あり	入力周波数に合わせて自動的に設定されます。 「ゾド ウセンタ 2」に設定した場合「3.2 周波数同期追従範囲を設定する」で設定した追従範囲を超えると非同期運転になります。設定された周波数の±8%を超えるとバッテリ運転に切り換わります。
50Hz 出力周波数を 50Hz に固定	「50Hz」または「60Hz」に設定した場合は、入力周波数とは同期せず、設定した周波数が出力されます。この場合の入力周波数許容範囲は40Hz～120Hzです。この範囲を超えると、バッテリ運転に切り換わります。
60Hz 出力周波数を 60Hz に固定	「50Hz」または「60Hz」に設定した場合は、入力周波数とは同期せず、設定した周波数が出力されます。この場合の入力周波数許容範囲は40Hz～120Hzです。この範囲を超えると、バッテリ運転に切り換わります。

- 上記のいずれの設定値に設定した場合も、「3.2 周波数同期追従範囲を設定する」で、周波数同期範囲を±1%,±3%,±5%から選択することができます。インバータは入力周波数が周波数同期追従範囲で設定した値の範囲内にないと起動しません。
- 「50Hz」または「60Hz」に設定した場合、「4.1 バッテリテストをする」の操作はできません。また、「3.19 バッテリテストのスケジュールを設定する」で定期的に自動でバッテリテストが実施されるように設定しても、実施されません。
- 「50Hz」または「60Hz」に設定した場合は、バイパス回路に切り換わらないため、過負荷などの保護動作時は出力が停止します。

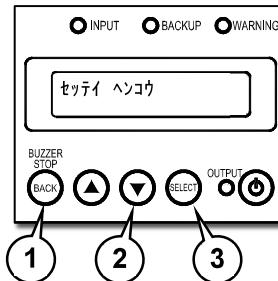
ご注意

- 設定を変更した後は、「3.37 UPSを再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。UPSを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- UPS状態表示に「サット'ク テケダ サイ」が表示されているときは、設定変更後にUPSが再起動されていない状態です。「3.37 UPSを再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。

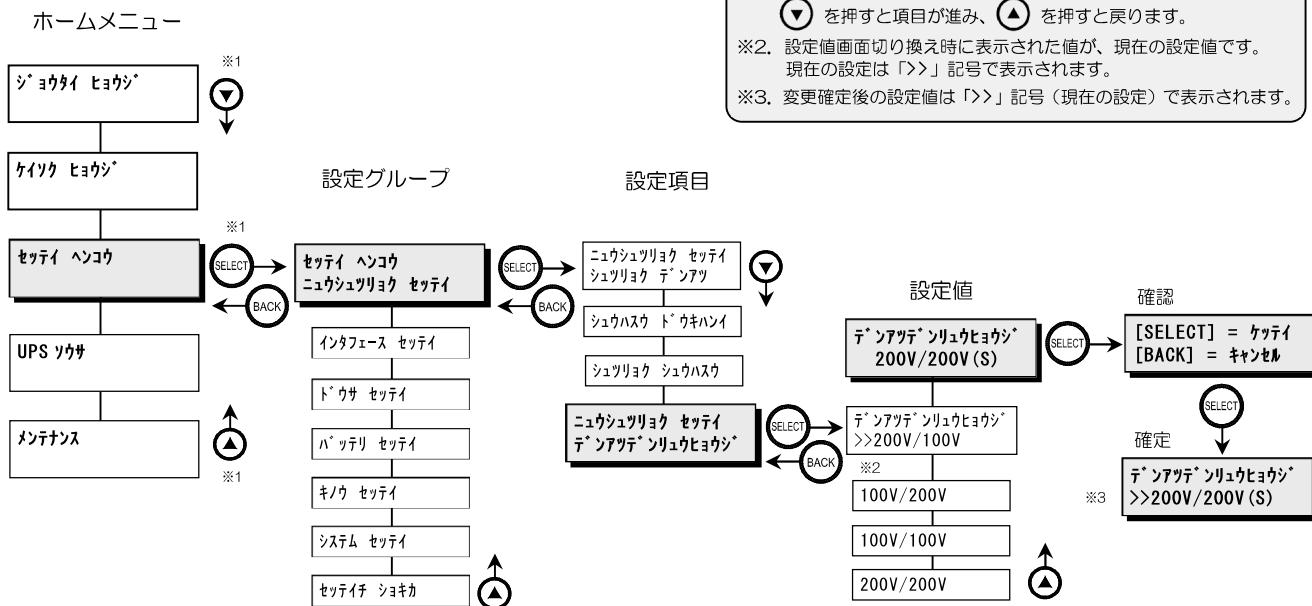
3.4 計測情報に表示される電圧を設定する

計測情報で表示される入出力電圧の値の設定です。設定値を変更しないでください。
誤操作などにより設定値を変更してしまった場合は、下記の操作で「200V/200V(S)」に設定してください。

- ① を押して LCD 画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り替え、**セッティ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ を押して確定します。
- ④ または で表示を切り替え、設定する項目を で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ または で設定値を切り替え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。
- ⑥ を押して戻ります。



例：表示電圧を「200V/200V(S)」に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
初期設定 200V/200V(S)	定格入力電圧 200V 系、出力電圧 200V 系の場合 電圧が 200V, 220V, 230V, 240V, 208V のいずれに設定されている場合も、この設定値になります。設定を変更しないでください。
200V/100V	定格入力電圧 200V、出力電圧 100V の場合
100V/200V	定格入力電圧 100V、出力電圧 200V の場合 この設定値には設定しないでください。
100V/100V	定格入力電圧 100V、出力電圧 100V の場合
200V/200V	定格入力電圧 200V、出力電圧 200V の場合

UPS計測情報表示などで LCD 画面に表示される電圧、電流値の設定です。電圧値の設定を変更すると電流も変更されます。
設定値とUPSの定格電圧が異なると、計測情報が正しく表示されません。

3.5 インタフェースを設定する

UPS背面のPC I/F、CARD I/F、REMOTE/EPO端子を使用する場合のインターフェースを設定します。
詳細は、「UPSを使う・応用編」をご覧ください。

① を押してLCD画面を表示させます。

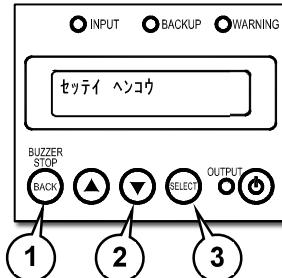
② を押してホームメニューを切り替え、 を表示させます。

③ を押して確定します。

④ または で表示を切り替え、設定する項目を で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

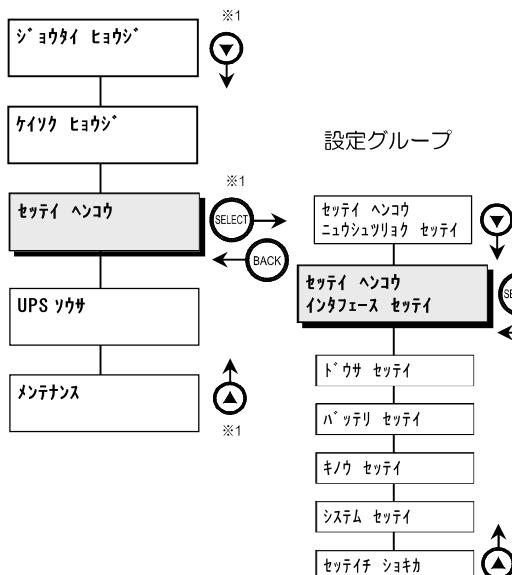
⑤ または で設定値を切り替え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。

⑥ を押して戻ります。



例：インターフェースを「スタンドアロン」に設定する場合

ホームメニュー



設定グループ

設定項目

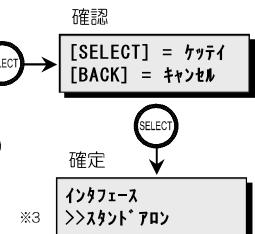
設定値

ポイント

※1. 階層を進めるときは 、階層を戻すときは を押します。
 を押すと項目が進み、 を押すと戻ります。

※2. 設定値画面切り替え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。

※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

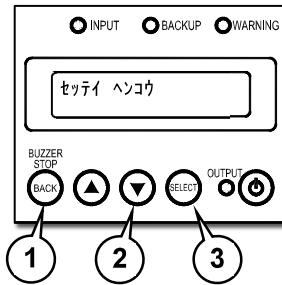
設定値	詳細
スタンドアロン	下記を使用する場合に選択。 • リモートスイッチによるUPSのリモートON/OFF機能
ワーカステーション	下記を使用する場合に選択。 • UPS管理ソフト • LANインターフェースカード • リモートスイッチによるコンピュータのワンタッチシャットダウン機能

接点インターフェースは、「スタンドアロン」または「ワーカステーション」のどちらに設定されていても使用できます。

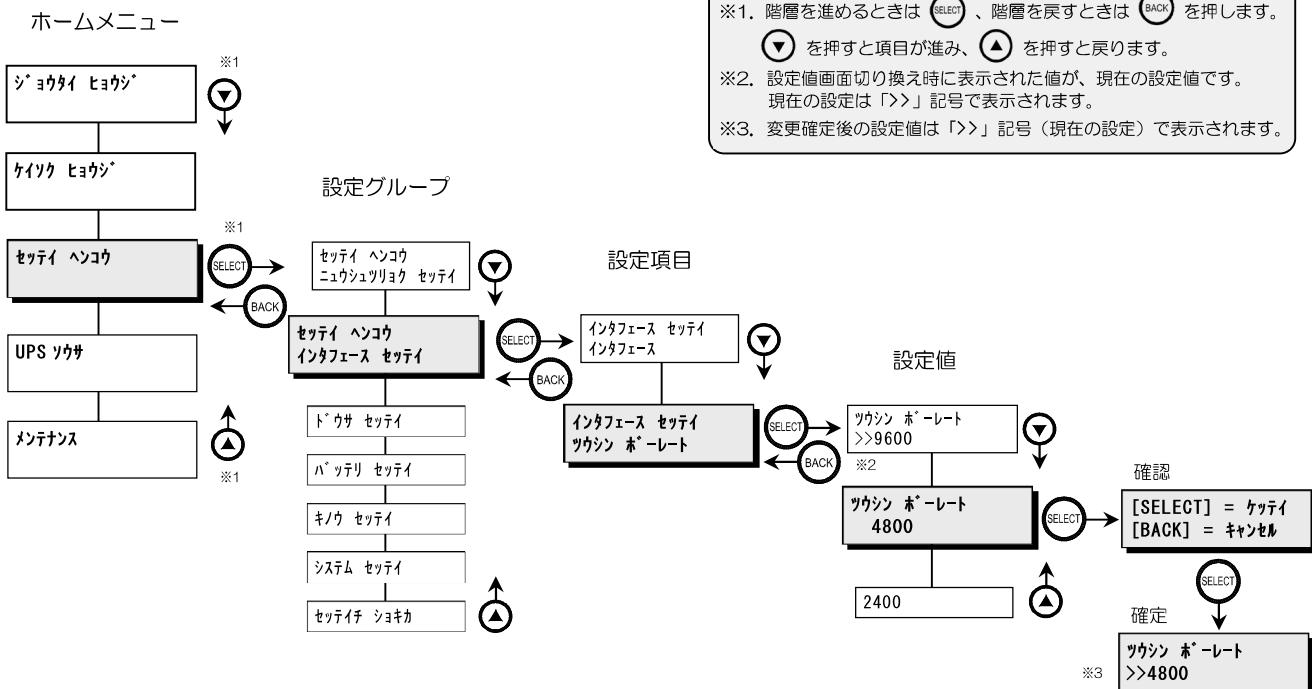
3.6 通信ポーレートを設定する

ワークステーション、パーソナルコンピュータ、LANインターフェースカードなどを接続する場合の通信ポーレートを設定します。

- ① を押してLCD画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り替え、**セッティ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ を押して確定します。
- ④ または で表示を切り替え、設定する項目を で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ または で設定値を切り替え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。
- ⑥ を押して戻ります。



例：通信ポーレートを「4800」に設定する場合



設定項目	詳細
初期設定	通信ポーレート 9600 bps
	通信ポーレート 4800 bps
	通信ポーレート 2400 bps

LANインターフェースカードを使用する場合は「9600bps」に設定してください。

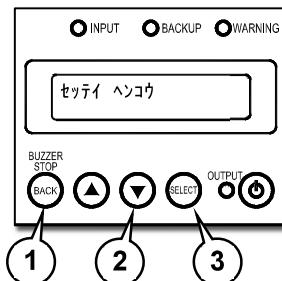
3.7 LANインターフェースカード使用時のネットワークを設定する

LANインターフェースカードを使用する場合のネットワークを設定します。

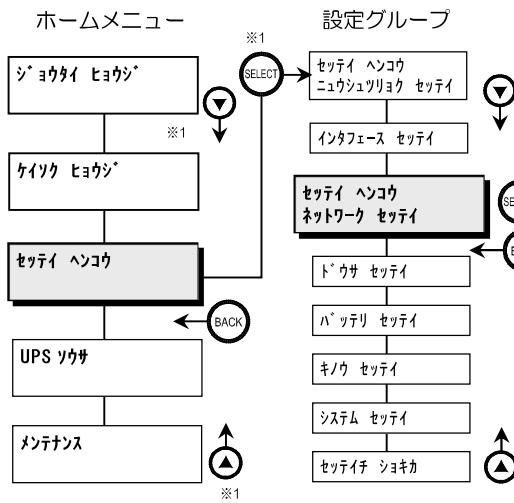
ご注意

この項目はUPSにLANインターフェースカードが接続されている場合のみ、表示されます。

- ① を押してLCD画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り替え、 **セッティ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ を押して確定します。
- ④ または で表示を切り替え、設定する項目を で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ または で設定値を切り替え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。
- ⑥ を押して戻ります。



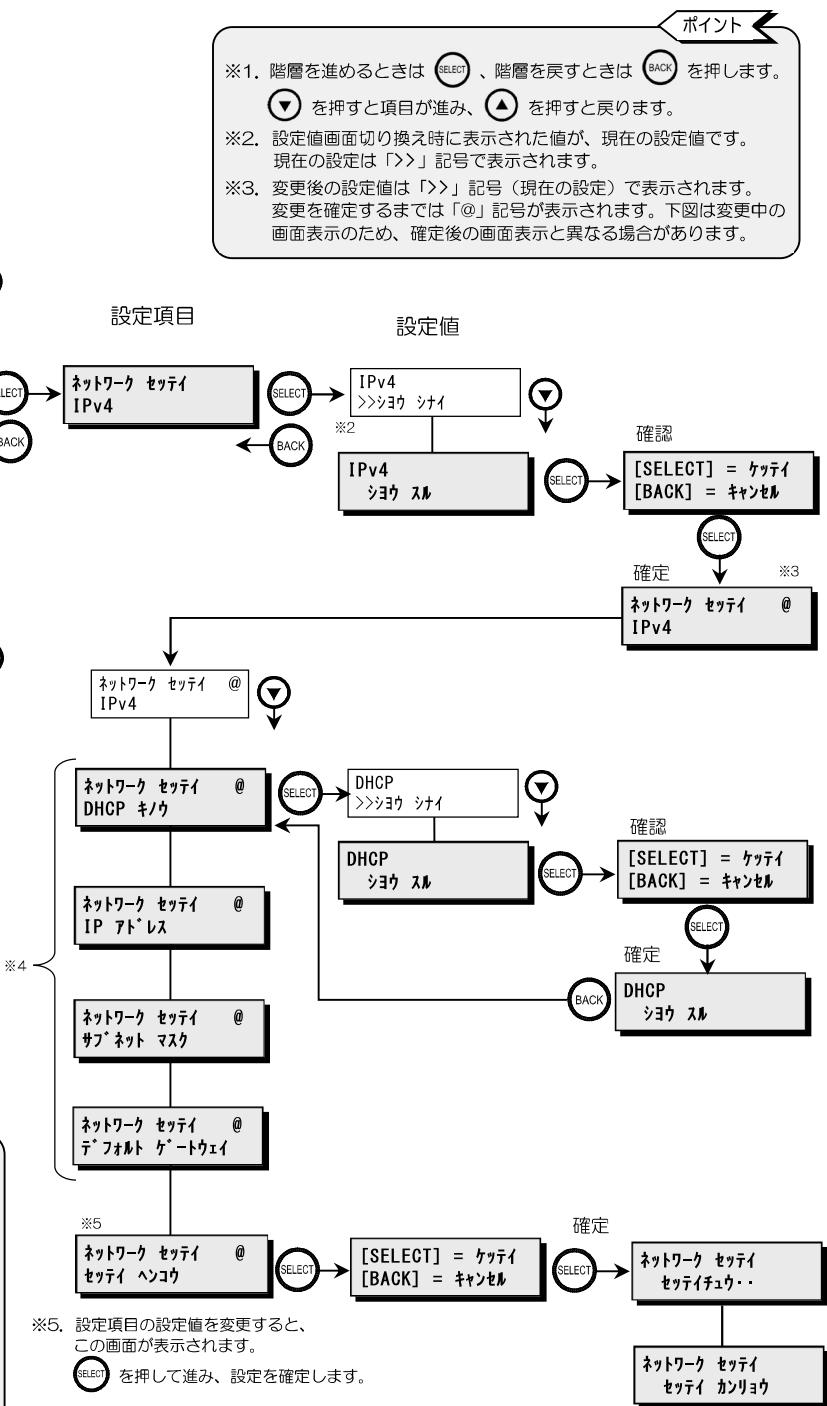
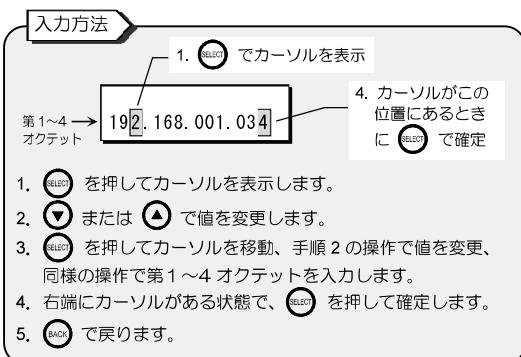
例：ネットワークの設定をする場合



※4. IPv4を「ショウル」(使用する)に設定すると、下表の設定項目が表示されます。

ご使用のネットワーク環境の情報を入力してください。

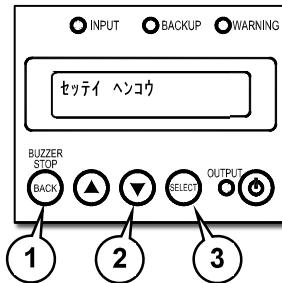
設定項目	詳細
DHCP	DHCPサーバー機能を 使用する/しないを設定します。
IPアドレス	自動でLANインターフェースカードの サブネットマスク
サブネットマスク	手動で、ご使用の ネットワーク環境の 情報を取り込まれ ます。(下記参照)
デフォルトゲート ウェイ	手動で、ご使用の ネットワーク環境の 情報を取り込まれ ます。(下記参照)



3.8 復電時の動作を設定する

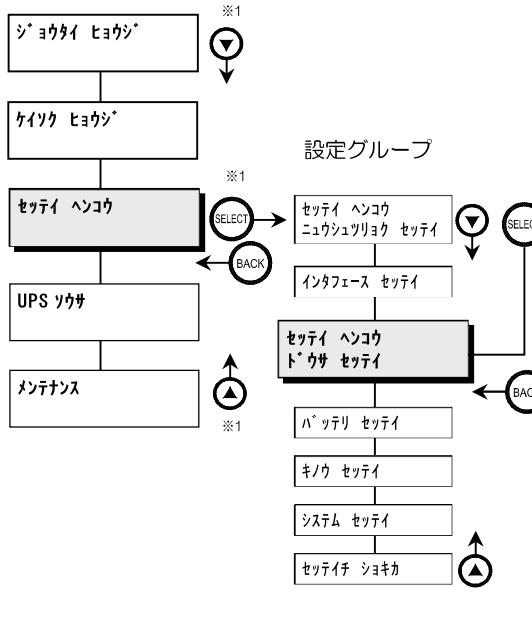
停電発生時、バッテリ放電終止によりUPSが停止した後、商用電源が復帰した場合のUPSの動作を設定します。

- ① を押してLCD画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り替え、**セッティ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ を押して確定します。
- ④ または で表示を切り替え、設定する項目を で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ または で設定値を切り替え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。
- ⑥ を押して戻ります。

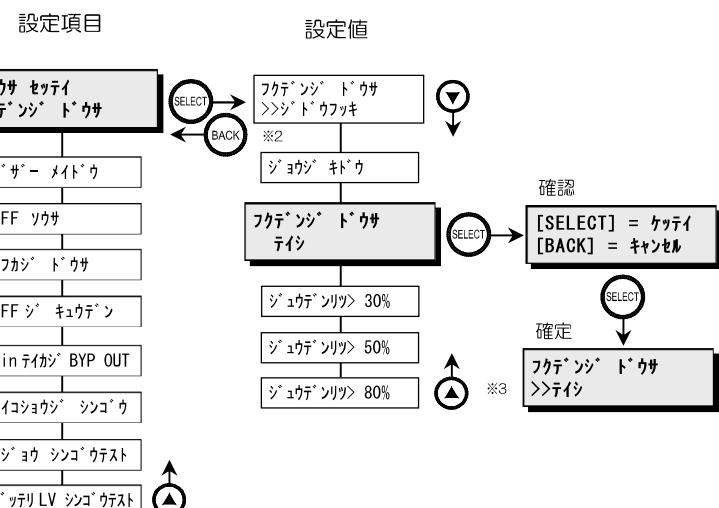


例：復電時の動作を「停止」に設定する場合

ホームメニュー



※1. 階層を進めるときは 、階層を戻すときは を押します。
 を押すと項目が進み、 を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

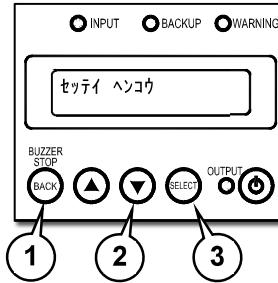
	設定値	詳細
初期設定	ジドウフキ	自動復帰 商用電源が復帰した場合、UPSは自動的に起動します。
	ジヨウジキドウ	常時起動 停電後の復電、初起動時の入力電源受電などの条件にかかわらず、 入力電源を受電するとUPSは自動的に起動します。
	テイシ	停止 商用電源が復帰しても、UPSは停止しままでです。 ただし、「3.12」で「バイパス切替」が選択されている場合は、バイパス給電となります
	ジユウデシリツ 30%	充電率 30%以上 商用電源が復帰した場合、バッテリが 30%以上に充電されると、自動的にUPSが起動します。
	ジユウデシリツ 50%	充電率 50%以上 商用電源が復帰した場合、バッテリが 50%以上に充電されると、自動的にUPSが起動します。
	ジユウデシリツ 80%	充電率 80%以上 商用電源が復帰した場合、バッテリが 80%以上に充電されると、自動的にUPSが起動します。

UPS管理ソフトを使用している場合は、UPS管理ソフトの設定値が有効になります。上記の操作で設定しても設定値は有効になりません。上記の操作をした場合は、UPS管理ソフトの設定値が表示されます。この場合は、LCD画面表示右側の「▼▲」が表示されず、 または を押しても設定値は変わりません。 または を押して戻ってください。

3.9 ブザー音が鳴る条件を設定する

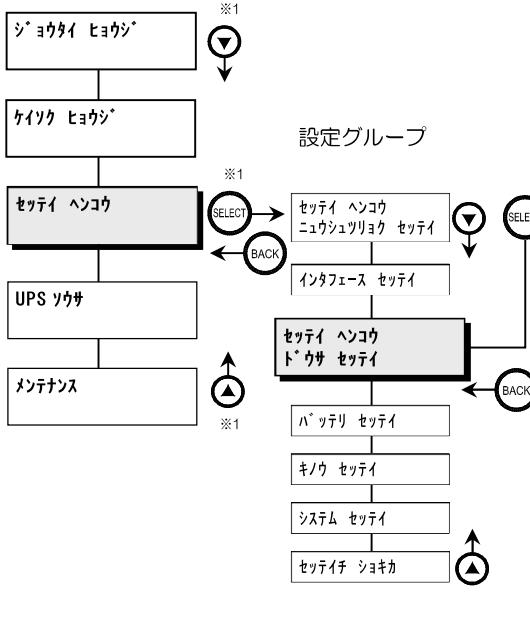
ブザー音が鳴る条件を設定します。

- ① を押してLCD画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り替え、**セッティ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ を押して確定します。
- ④ または で表示を切り替え、設定する項目を で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ または で設定値を切り替え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。
- ⑥ を押して戻ります。

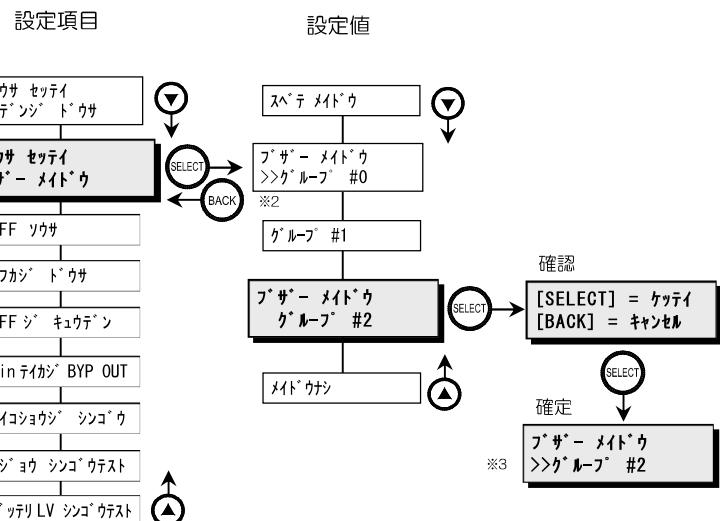


例：ブザーが鳴る条件を「グループ #2」に設定する場合

ホームメニュー



※1. 階層を進めるときは 、階層を戻すときは を押します。
 を押すと項目が進み、 を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

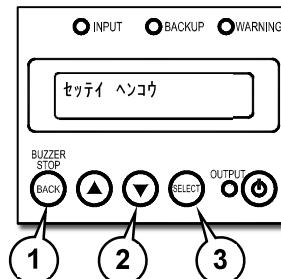
設定値	ブザー音が鳴る条件		
スペ'テ メイト'ウ すべての条件で鳴動	<ul style="list-style-type: none"> キーワード音 放電終止発生中 UPS管理ソフトからのブザー鳴動要求時 自動、手動、UPS管理ソフトによるバッテリテスト中 自動、手動によるバッテリテスト結果異常時 	<ul style="list-style-type: none"> 重故障発生時 軽故障発生時 	<ul style="list-style-type: none"> バッテリ電圧低下時 過負荷時（バイパス運転中） バッテリ運転中 バッテリ電圧異常時
初期設定 グループ #0	<ul style="list-style-type: none"> キーワード音 放電終止発生中 UPS管理ソフトからのブザー鳴動要求時 手動によるバッテリテスト中 自動、手動によるバッテリテスト結果異常時 	<ul style="list-style-type: none"> 重故障発生時 軽故障発生時 	<ul style="list-style-type: none"> バッテリ電圧低下時 過負荷時（バイパス運転中） バッテリ運転中 バッテリ電圧異常時
グループ #1 グループ 1	<ul style="list-style-type: none"> キーワード音 放電終止発生中 UPS管理ソフトからのブザー鳴動要求時 	<ul style="list-style-type: none"> 重故障発生時 軽故障発生時 	<ul style="list-style-type: none"> バッテリ電圧低下時
グループ #2 グループ 2	<ul style="list-style-type: none"> キーワード音 UPS管理ソフトからのブザー鳴動要求時 	<ul style="list-style-type: none"> 重故障発生時 	
メイト'ウ'ナシ 鳴動なし	キーワード音		

3.10 UPS本体操作パネル (⑤) のOFF操作を設定する

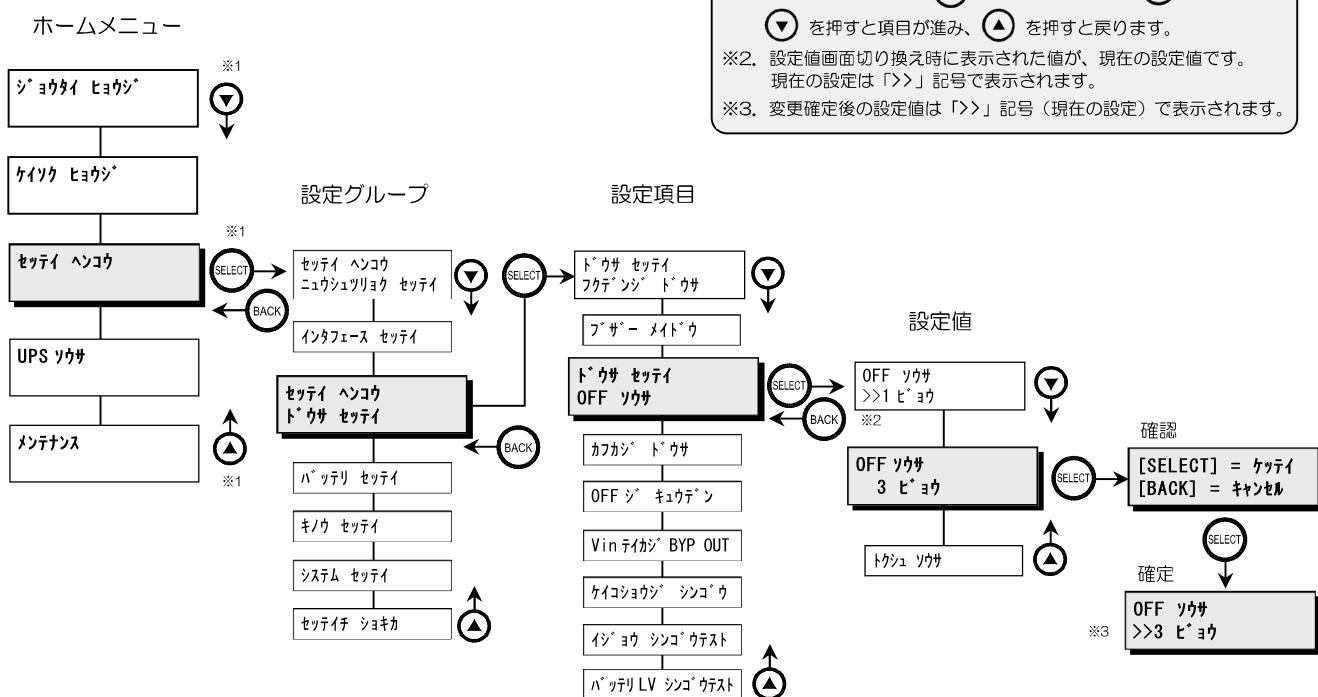
UPSの本体操作パネルの (⑤) ボタンを押してUPSをOFFにする場合の操作方法を設定します。この設定は、不用意な接触、または誤操作によりUPSを停止してしまうことを防止するための機能です。

本体操作パネルの (⑤) ボタンの「OFF操作」にのみ有効で「ON操作」は変更されません。

- ① (BACK) を押してLCD画面を表示させます。
- ② (▼) を押してホームメニューを切り替え、 **セッティ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ (SELECT) を押して確定します。
- ④ (▼) または (▲) で表示を切り替え、設定する項目を (SELECT) で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ (▼) または (▲) で設定値を切り替え、設定する値を (SELECT) で選択し、確認画面で再度 (SELECT) を押して確定します。
- ⑥ (BACK) を押して戻ります。



例：「3秒」に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
初期設定 1ビヨウ	1秒 (⑤) ボタンを1秒間押してOFF。
3ビヨウ	3秒 (⑤) ボタンを3秒間押してOFF。
トクシソウサ	特殊操作 (⑤) ボタンを3秒間押しブザーが鳴ったら放します。 ブザーが鳴っている間に、 (⑤) ボタンを3秒間押します。 以上の手順でOFF。

3.11 過負荷時の動作を設定する

過負荷によりバイパス給電へ切り換わった後にUPS給電に戻るための条件を設定します。

① を押してLCD画面を表示させます。

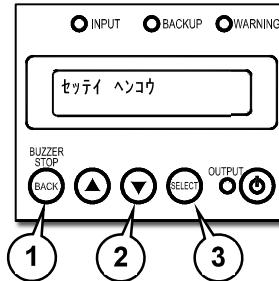
② を押してホームメニューを切り換え、**セッティ ヘンコウ** を表示させます。

③ を押して確定します。

④ または で表示を切り換え、設定する項目を で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

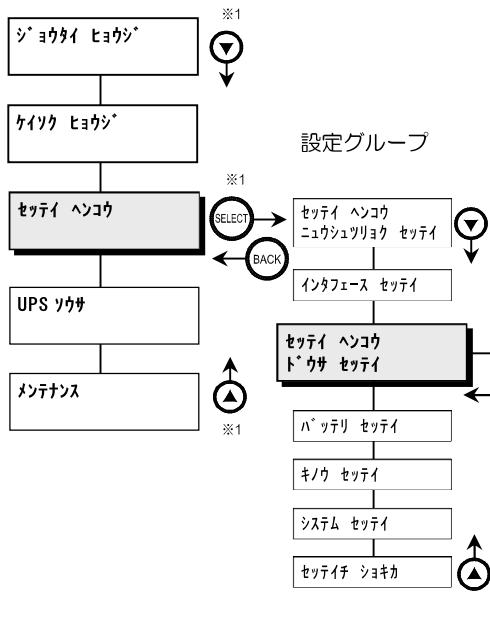
⑤ または で設定値を切り換え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。

⑥ を押して戻ります。

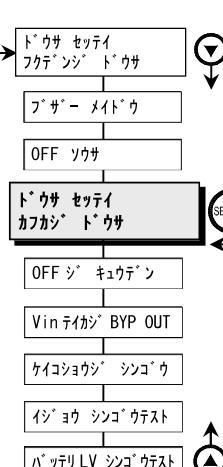


例：「バイパスから自動復帰」に設定する場合

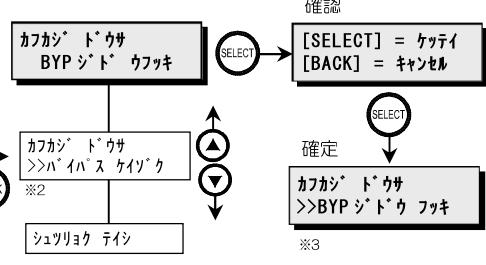
ホームメニュー



設定項目



設定値



ポイント

※1. 階層を進めるときは 、階層を戻すときは を押します。

を押すと項目が進み、 を押すと戻ります。

※2. 設定画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。

現在の設定は「>>」記号で表示されます。

※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
BYP ジドウ フッキ バイパスから自動復帰	過負荷によりバイパス給電に切り換わった後、一定時間で自動的にUPS給電へ切り換わります。過負荷状態が継続している場合は、再度バイパス給電へ切り換わり、この動作が繰り返されます。
初期設定 バイパス ケイズク バイパス給電継続	過負荷状態が継続している場合は、バイパス給電が継続されます。 過負荷状態が解消されるとUPS給電に切り換わります。 バイパス給電に切り換わったときの商用電源の電圧値により、UPS給電とバイパス給電の切り換えが繰り返されることがあります。
シュツリヨク テイシ 出力停止	この設定値には設定しないでください。

- 「BYP ジドウ フッキ」または「バイパス ケイズク」のどちらを設定した場合も、UPSが非同期運転中（入力周波数が「3.2 周波数同期追従範囲を設定する」で設定した値（±1%，±3%，±5%）の範囲外の場合）はバイパス給電からUPS給電に切り換わりません。
- 「3.3 出力周波数を設定する」で設定値を「ジドウ ケンカク 2」に設定した場合の非同期運転中、バイパス給電への切り換えは、瞬断切り換えとなります。
- 「3.3 出力周波数を設定する」で設定値を「50Hz」または「60Hz」に設定した場合は、バイパス給電に切り換わらないため、過負荷時は出力が停止します。

3.12 OFF 時※のUPS給電状態を設定する

① ボタンのOFF操作によりUPSを停止した場合のUPSの給電状態を設定します。

* OFF時とは・・・

この場合のOFF時とはUPSが下記の状態を指します。

- LCDパネルのOFFボタンを押し「INV」の操作をしてUPSを停止。
- LCD画面に「スタンバイ」または「バイパス」が表示、【INPUT】が点灯。
- UPSのMAIN MCCBは「ON」。

① BACKを押してLCD画面を表示させます。

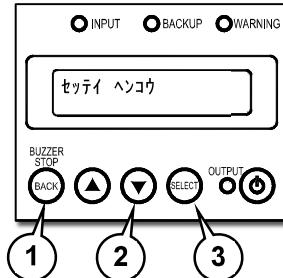
② ▼を押してホームメニューを切り替え、**セッティ ヘンコウ**を表示させます。

③ SELECTを押して確定します。

④ ▼または▲で表示を切り替え、設定する項目をSELECTで選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

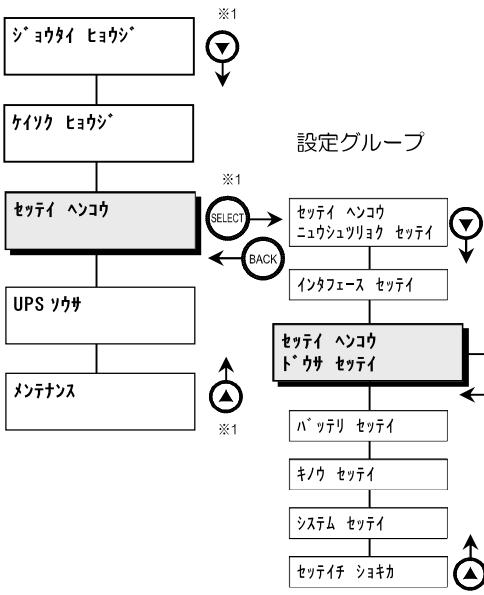
⑤ ▼または▲で設定値を切り換え、設定する値をSELECTで選択し、確認画面で再度SELECTを押して確定します。

⑥ BACKを押して戻ります。



例：OFF時の給電状態を「バイパス給電」に設定する場合

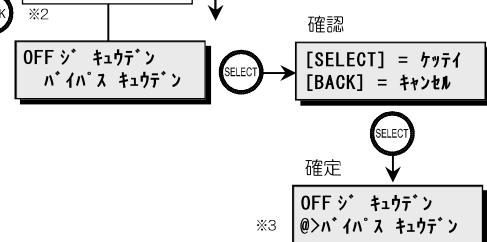
ホームメニュー



設定項目

- ※1. 階層を進めるときはSELECT、階層を戻すときはBACKを押します。▼を押すと項目が進み、▲を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更が確定した設定値は「@」記号で表示されます。UPSの再起動後に「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定値



ポイント

ご注意

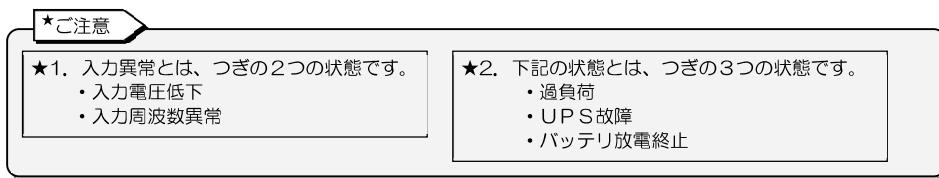
- 設定を変更した後は、「3.37 UPSを再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。UPSを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- UPS状態表示に「サイドウ シテカサ」が表示されているときは、設定変更後にUPSが再起動されていない状態です。「3.37 UPSを再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。

設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	シュリヨケイシ	出力停止 UPSは停止し、電力は供給されません。
	バイパス キュウテン	バイパス給電 バイパス給電へ切り換わり給電が継続します。

3.13 入力異常時にバイパス給電をする／しないを設定する

入力異常^{*1}が発生している場合に、UPSが下記の状態^{*2}になったとき、UPSがバイパス給電をするか、しないかを設定します。



① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。

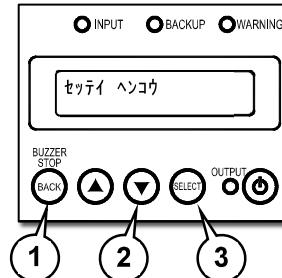
② **▼** を押してホームメニューを切り替え、**セッティ ヘンコウ** を表示させます。

③ **SELECT** を押して確定します。

④ **▼** または **▲** で表示を切り替え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

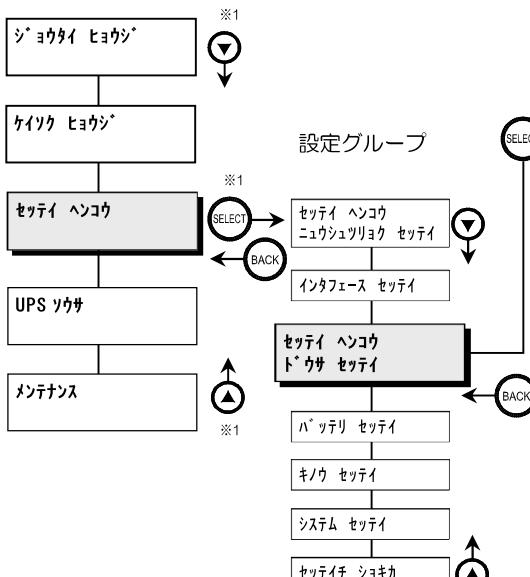
⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。

⑥ **BACK** を押して戻ります。

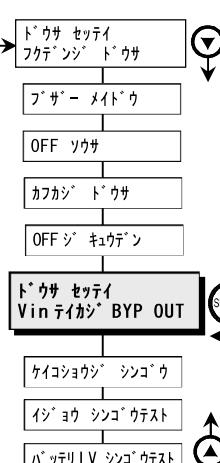


例：入力異常時「バイパス給電しない」に設定する場合

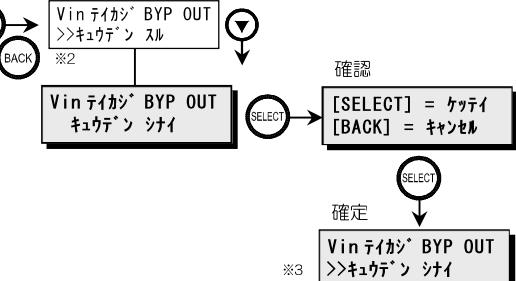
ホームメニュー



設定項目



設定値



ポイント

- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。 **▼** を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定項目、設定値の詳細説明

設定値		詳細
初期設定	キュウテン スル	入力異常（入力電圧低下、または入力周波数異常）の場合、バイパス給電に切り換わり給電が継続します。
	キュウテン シアイ	入力異常（入力電圧低下、または入力周波数異常）の場合は、バイパス給電に切り換わりません。 この設定値に設定した場合、バイパス給電中に入力電圧低下、または入力周波数異常が発生したときは、電力供給が停止します。

入力過電圧はこの場合の入力異常に含まれません。

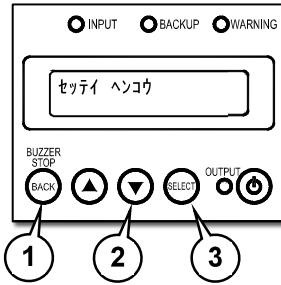
入力過電圧の場合は、「給電する／給電しない」のどちらに設定されていても、バイパス給電に切り換わりません。

「給電する」に設定されている場合でも、入力電圧がUPSの起動電圧（100V）を下回った場合は、給電が停止します。

3.14 軽故障時に転送信号を送出する/しないを設定する

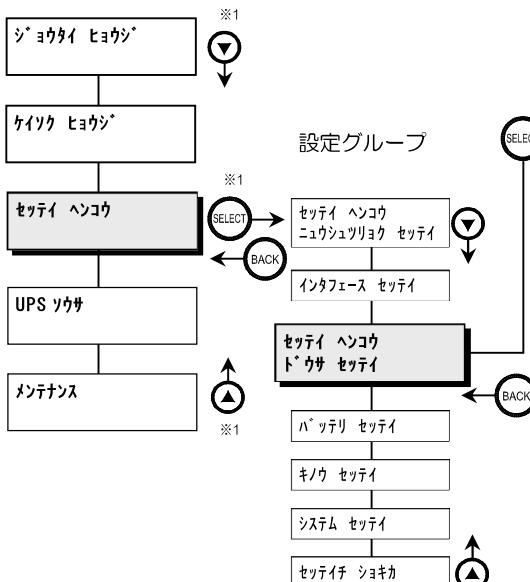
軽故障が発生したとき、「SIGNAL I/F」コネクタから「装置異常」転送信号を送出するか、しないかを設定します。

- ① を押してLCD画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り替え、**セッティ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ を押して確定します。
- ④ または で表示を切り替え、設定する項目を で選択します。各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ または で設定値を切り替え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。
- ⑥ を押して戻ります。

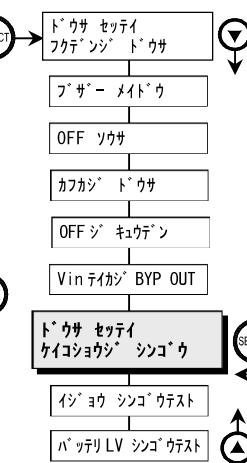


例：軽故障時、装置異常転送信号を「送出しない」に設定する場合

ホームメニュー

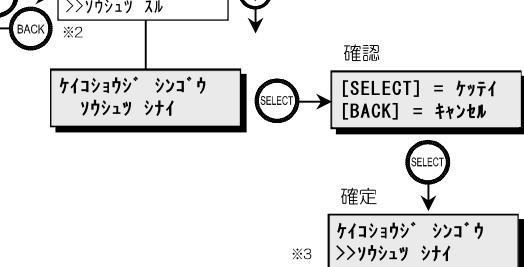


設定項目



- ポイント**
- ※1. 階層を進めるときは 、階層を戻すときは を押します。 を押すと項目が進み、 を押すと戻ります。
 - ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
 - ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定値



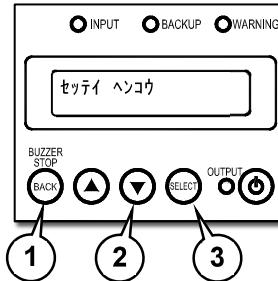
設定項目、設定値の詳細説明

設定値		詳細
初期設定	リカバリ シル	「SIGNAL I/F」コネクタから送出される転送信号の「装置異常」に軽故障が含まれ、軽故障発生時に転送信号が送出されます。 重故障／軽故障の判別はできません。
	リカバリ シナ	軽故障発生時、「SIGNAL I/F」コネクタの「装置異常」信号は送出されません。

3.15 試験用の「装置異常」転送信号を送出する

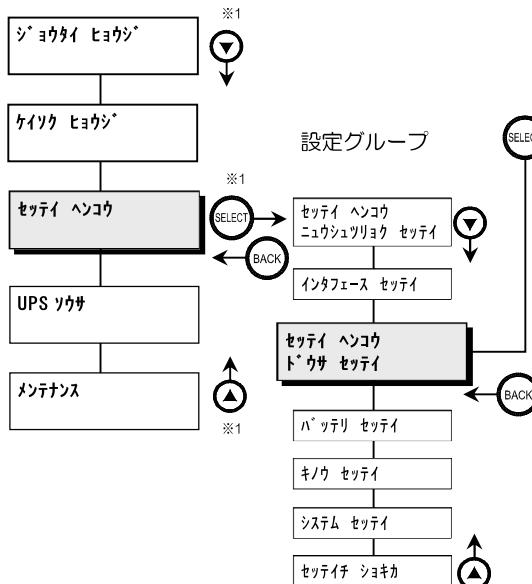
設備試験などのため擬似的に「SIGNAL I/F」コネクタから「装置異常」転送信号を送出します。作業終了後は必ず設定をもとに戻してください。

- ① を押して LCD 画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り替え、**セッティ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ を押して確定します。
- ④ または で表示を切り替え、設定する項目を で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ または で設定値を切り換える、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。
- ⑥ を押して戻ります。

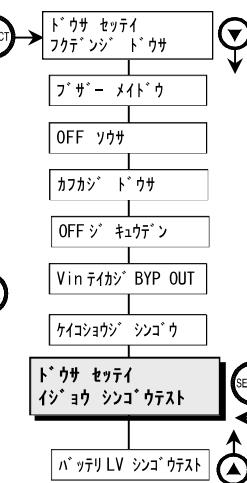


例：試験用の「装置異常」転送信号を「送出する」場合

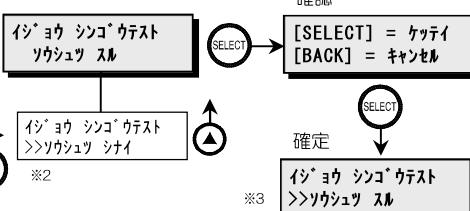
ホームメニュー



設定項目



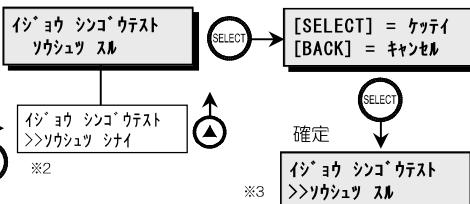
設定値



確認

確定

※3



- ※1. 階層を進めるときは 、階層を戻すときは を押します。 を押すと項目が進み、 を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定項目、設定値の詳細説明

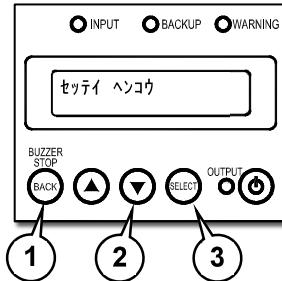
設定値	詳細
ソウシュウ スル 初期設定	外部インターフェース部の「SIGNAL I/F」コネクタから擬似的に「装置異常」信号が送出されます。UPS管理ソフトまたはLANインターフェースカードを使用している場合は、「重故障」が通知されます。 設備の試験時などに設定してください。この設定値に設定されている間は、信号送出が継続しています。試験などの作業が終了した後は、必ず「ソウシュウ シナイ」に設定してください。 「3.28 SIGNAL I/F の装置異常信号の論理を設定する」で出力される信号の論理を設定することができます。
ソウシュウ シナイ	信号は送出されません。 試験などを実施するとき以外は、この設定値に設定しておいてください。

「ソウシュウ スル」に設定しても、UPSを停止後、入力電源を遮断した場合は、再起動時に、初期設定「ソウシュウ シナイ」に戻ります。

3.16 試験用の「バッテリ電圧低下」転送信号を送出する

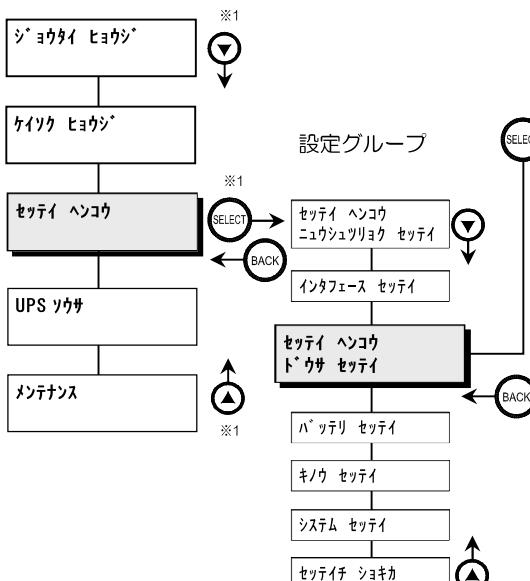
設備試験などのため擬似的に「CARD I/F」コネクタおよび「SIGNAL I/F」コネクタから「バッテリ電圧低下」転送信号を送出します。作業終了後は必ず設定をもとに戻してください。

- ① **BACK** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り替え、**セッティ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り替え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換える、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。

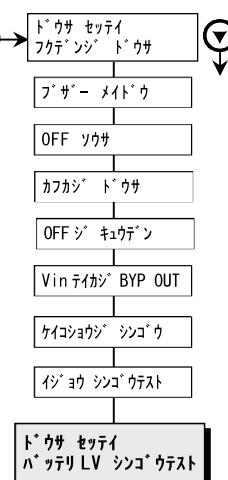


例：試験用の「バッテリ電圧低下」転送信号を「送出する」場合

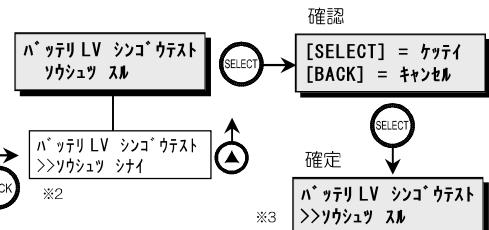
ホームメニュー



設定項目



設定値



- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。**▼** を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
ソウシュツ スル	外部インターフェース部の「CARD I/F」および「SIGNAL I/F」コネクタから擬似的に「バッテリ電圧低下」信号が送出されます。 UPS管理ソフトまたは LAN インタフェースカードを使用している場合は、「バッテリ電圧低下」が通知されます。 設備の試験時などに設定してください。この設定値に設定されている間は、信号送出が継続しています。試験などの作業が終了した後は、必ず「ソウシュツ シナイ」に設定してください。 「3.25 CARD I/F および SIGNAL I/F のバッテリ電圧低下信号の論理を設定する」で、出力される信号の論理を設定することができます。
初期設定 ソウシュツ シナイ	信号を送出しません。 試験などを実施するとき以外は、この設定値に設定しておいてください。

「ソウシュツ スル」に設定しても、UPSを停止後、入力電源を遮断した場合は、再起動時に、初期設定「ソウシュツ シナイ」に戻ります。

3.17 バッテリ電圧低下警告発生のタイミングを設定する

バッテリ電圧低下警告が発生するタイミングを設定します。

UPS管理ソフトをご使用の場合、この項目はUPSで設定することができません。UPS管理ソフトで設定してください。詳細は、UPS管理ソフトのユーザガイドをご覧ください。

① を押してLCD画面を表示させます。

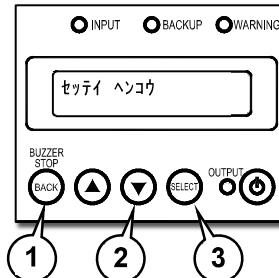
② を押してホームメニューを切り替え、 を表示させます。

③ を押して確定します。

④ または で表示を切り替え、設定する項目を で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

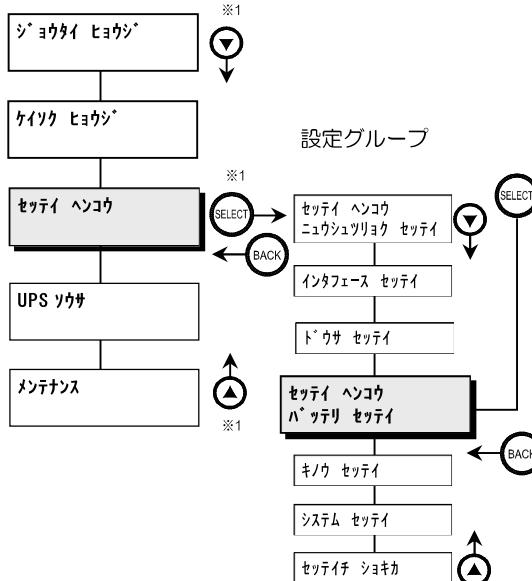
⑤ または で設定値を切り替え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。

⑥ を押して戻ります。

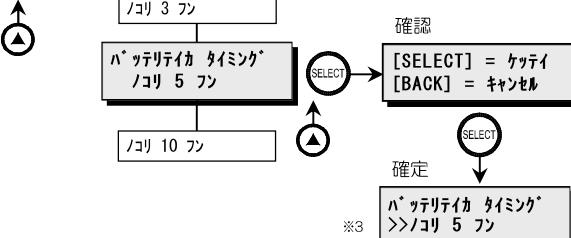


例：警告発生のタイミングを「残り 5 分」に設定する場合

ホームメニュー



※1. 階層を進めるときは 、階層を戻すときは を押します。
 を押すと項目が進み、 を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り替え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

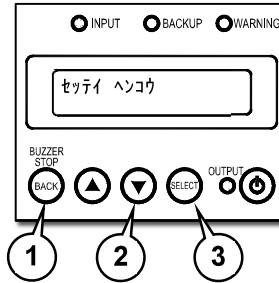
設定値	詳細
初期設定 → バッテリデンアツ	バッテリ電圧低下レベルを検出した時点で警告：LCD画面「バッテリデンアツ テイ」表示、ブザー音「ビビビビビビ・・」が発生します。
/コリ 2 フン	バッテリ残保持時間が 2 分で警告が発生します。
/コリ 3 フン	バッテリ残保持時間が 3 分で警告が発生します。
/コリ 5 フン	バッテリ残保持時間が 5 分で警告が発生します。
/コリ 10 フン	バッテリ残保持時間が 10 分で警告が発生します。

- 「3.9 ブザー音が鳴る条件を設定する」で設定値「テイ」または「グループ #2」に設定している場合は、ブザーは鳴りません。
- UPS管理ソフトを使用している場合は、UPS管理ソフトの設定値が有効になります。上記の操作で設定しても設定値は有効になりません。上記の操作をした場合は、UPS管理ソフトの設定値が表示されます。この場合は、LCD画面表示右側の「▼▲」が表示されず、 または を押しても設定値は変わりません。 または を押して戻ってください。

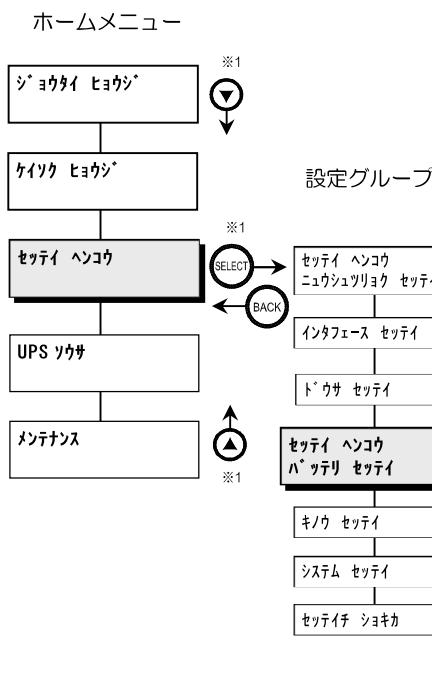
3.18 バッテリテストの実行時間を設定する

定期的、または手動で実施するバッテリテストの実行時間を設定します。

- ① を押して LCD 画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り替え、**セッティ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ を押して確定します。
- ④ または で表示を切り替え、設定する項目を で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ または で設定値を切り替え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。
- ⑥ を押して戻ります。

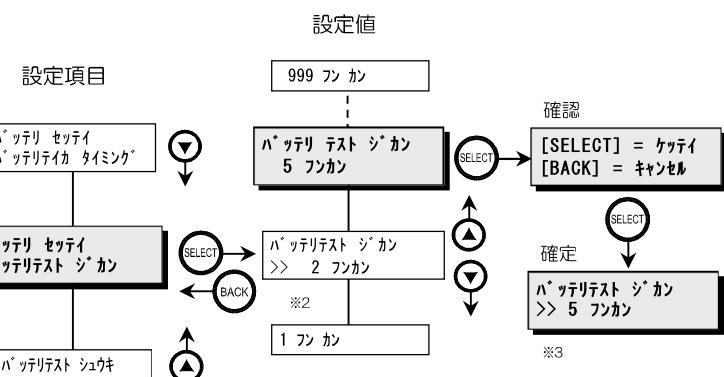


例：バッテリテスト時間を「5 分」に設定する場合



ポイント

- ※1. 階層を進めるときは 、階層を戻すときは を押します。
 を押すと項目が進み、 を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り替え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



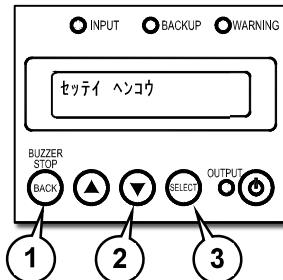
設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
1 ~ 999 フンカン 1~999 分間	初期設定：2 分間 1 分単位で任意の値を設定します。 UPSに接続している負荷容量とバッテリ容量に応じてバッテリテスト実行時間を設定してください。 設定した時間、バッテリテストが実行されます。

3.19 バッテリテストのスケジュールを設定する

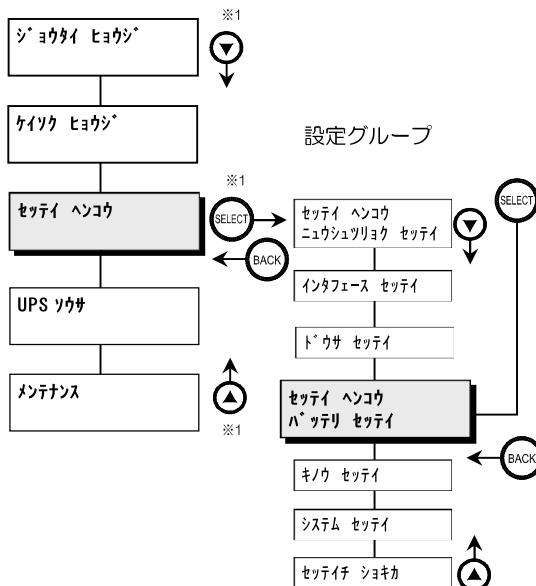
自動的に実施されるバッテリテストの周期（日数）を設定します。設定した日数が経過すると自動的にバッテリテストが実施されます。UPS管理ソフトをご使用の場合、この項目はUPSで設定することができません。UPS管理ソフトで設定してください。詳細は、UPS管理ソフトのユーザガイドをご覧ください。

- ① を押してLCD画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り替え、**セッティ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ を押して確定します。
- ④ または で表示を切り替え、設定する項目を で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ または で設定値を切り替え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。
- ⑥ を押して戻ります。



例：バッテリテストスケジュールを「90日」に設定する場合

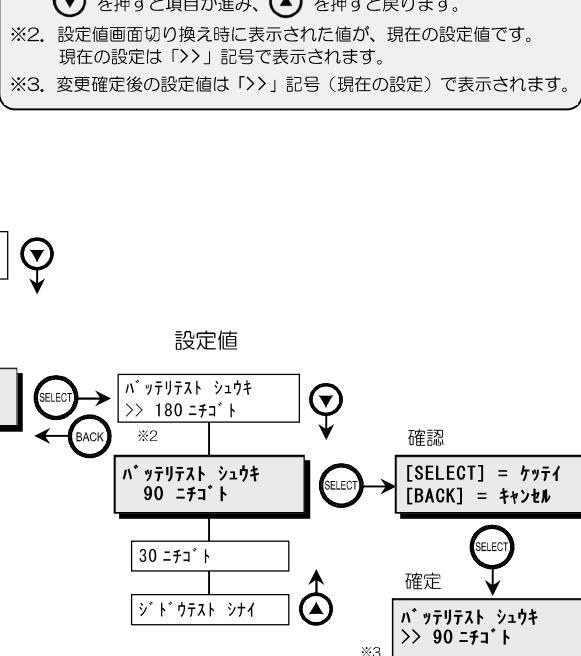
ホームメニュー



設定グループ
設定項目

設定値

- ※1. 階層を進めるときは 、階層を戻すときは を押します。
 を押すと項目が進み、 を押すと戻ります。
※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

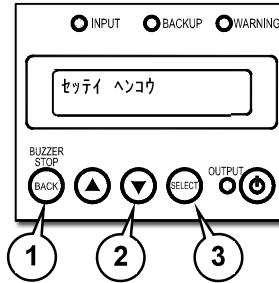
	設定値	詳細
初期設定	180 ニコ'ト	180 日ごとに自動でバッテリテストが実施されます。
	90 ニコ'ト	90 日ごとに自動でバッテリテストが実施されます。
	30 ニコ'ト	30 日ごとに自動でバッテリテストが実施されます。
	ジ・ド・ウ・テ・ス・ト・シ・イ	バッテリテストは自動的に実施されません。

- この機能を使用する場合は「3.3 出力周波数を設定する」で設定値を「ジ・ド・ウ・セ・ン・タ・1」または「ジ・ド・ウ・セ・ン・タ・2」に設定してください。「50Hz」または「60Hz」に設定されていると、バッテリテストは実施されません。
- UPS管理ソフトを使用している場合は、UPS管理ソフトで設定したスケジュールでバッテリテストが実施されます。上記の操作でUPS管理ソフトと異なる設定値に設定した場合、いったん設定値は変更されますが、再度、設定値を表示させたときはUPS管理ソフトの設定値が表示されます。

3.20 停電時の運転時間を設定する

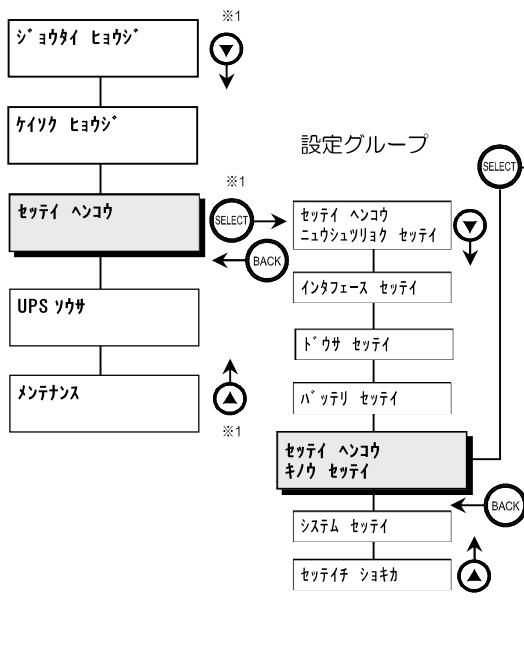
停電発生時に、UPSがバックアップを開始してから出力供給を停止するまでの時間を設定します。

- ① を押してLCD画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り替え、 **セッティ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ を押して確定します。
- ④ または で表示を切り替え、設定する項目を で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ または で設定値を切り替え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。
- ⑥ を押して戻ります。



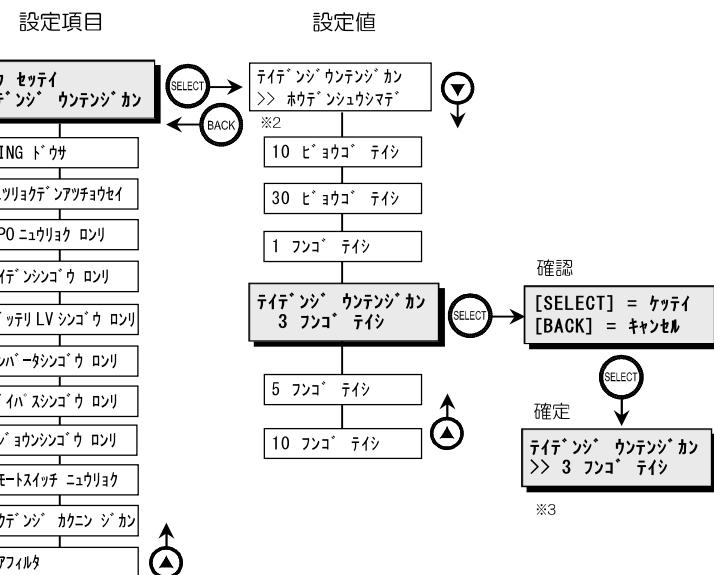
例：停電時の運転時間を「3分後に停止」に設定する場合

ホームメニュー



ポイント

- ※1. 階層を進めるときは 、階層を戻すときは を押します。
 を押すと項目が進み、 を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
初期設定 → ホウテイ シュウシム マン	放電終止まで バッテリ放電終止まで出力供給が継続されます。 バッテリ容量を最大限に使用する場合に選択します。
10 ピ'ヨウ' テイシ	10秒後 停止 10秒間バックアップした後、出力供給が停止します。
30 ピ'ヨウ' テイシ	30秒後 停止 30秒間バックアップした後、出力供給が停止します。
1 フンゴ' テイシ	1 分後 停止 1分間バックアップした後、出力供給が停止します。
3 フンゴ' テイシ	3 分後 停止 3分間バックアップした後、出力供給が停止します。
5 フンゴ' テイシ	5 分後 停止 5分間バックアップした後、出力供給が停止します。
10 フンゴ' テイシ	10 分後 停止 10分間バックアップした後、出力供給が停止します。

- 設定した時間が経過した時点で出力供給が停止します。設定した時間内に商用電源が復電した場合は、通常運転に戻ります。この機能を使用する場合は、「3.5 インタフェースを設定する」で設定値を「スタンドアロン」に設定してください。「ワクステーション」に設定されていると有効になりません。工場出荷時は「ワクステーション」に設定されています。
- 設定値を「** ピ'ヨウ' テイシ」または「** フンゴ' テイシ」に設定しても、バッテリの構成、負荷率、バッテリの充電が不十分、バッテリの劣化、周囲温度などの条件により、指定した時間の出力供給ができないこともあります。

3.21 RING 信号*の設定をする

UPS起動時に RING 信号を出力するか、しないかを設定します。

* RING 信号とは・・

UPSの起動時に、接続されているコンピュータを自動的に起動させる信号です。
Wake Up on Ring機能に対応したコンピュータとUPSがオプションの通信ケーブルで接続されている場合に有効になります。

① **[BACK]** を押してLCD画面を表示させます。

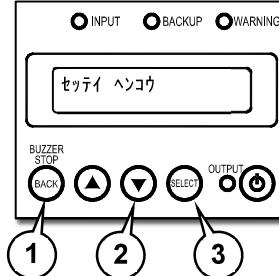
② **[▼]** を押してホームメニューを切り換え、**セッティ ヘンコウ** を表示させます。

③ **[SELECT]** を押して確定します。

④ **[▼]** または **[▲]** で表示を切り換え、設定する項目を **[SELECT]** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

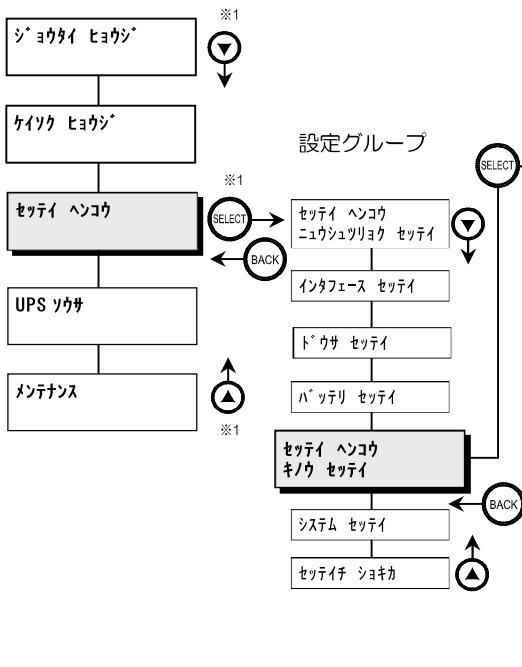
⑤ **[▼]** または **[▲]** で設定値を切り換え、設定する値を **[SELECT]** で選択し、確認画面で再度 **[SELECT]** を押して確定します。

⑥ **[BACK]** を押して戻ります。



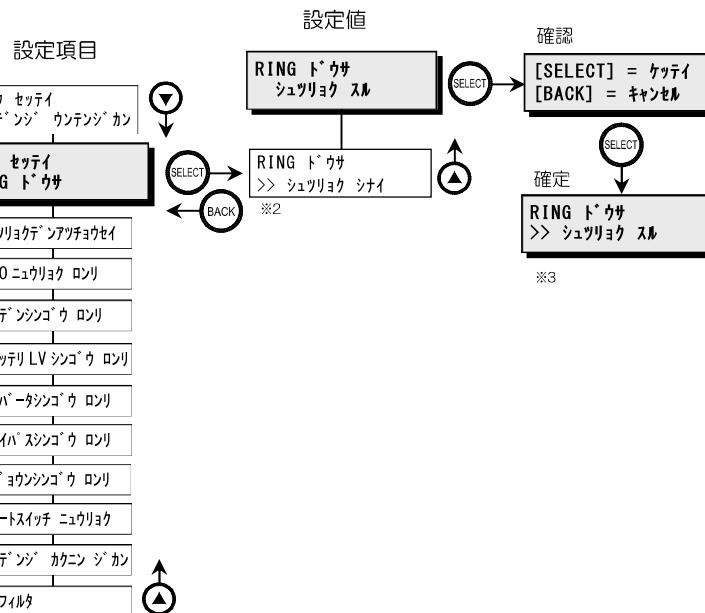
例：RING 信号を「出力する」に設定する場合

ホームメニュー



ポイント

- ※1. 階層を進めるときは **[SELECT]**、階層を戻すときは **[BACK]** を押します。
- ※2. **[▼]** を押すと項目が進み、**[▲]** を押すと戻ります。
- ※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
- 現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

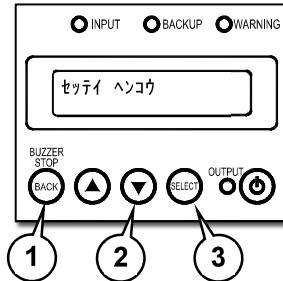
設定値	詳細
シュツリョク スル	UPS起動時に RING 信号が出力されます。
シュツリョク シナイ	RING 信号は出力されません。

「シュツリョク スル」に設定すると、電源が供給されただけでは起動しないコンピュータをUPSの起動時に、自動的に起動させることができます。
Wake Up on Ring 機能に対応したコンピュータのみに有効です。

3.22 出力電圧の調整値を設定する

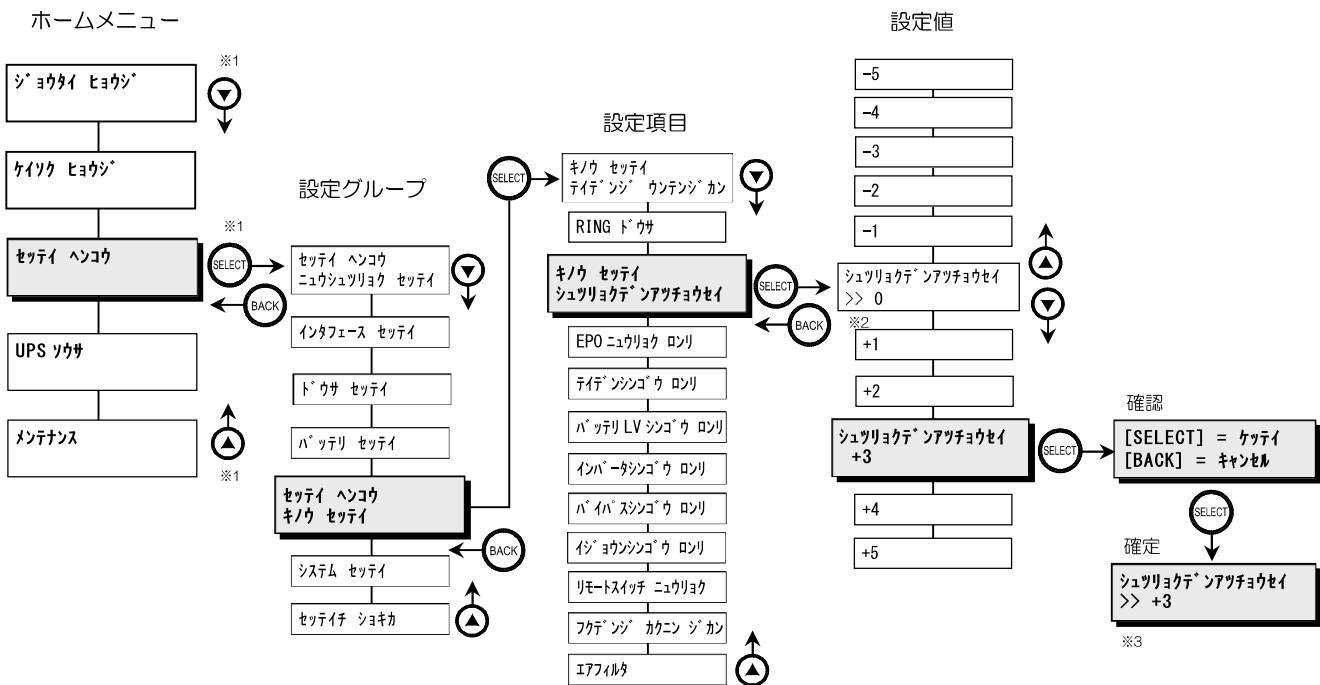
「3.1 出力電圧を設定する」で設定した出力電圧に対する調整値を設定します。
マイナス側に 5 段階、プラス側に 5 段階（約 -5V～+5V）の範囲で調整できます。

- ① を押して LCD 画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り替え、**セッティ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ を押して確定します。
- ④ または で表示を切り替え、設定する項目を で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ または で設定値を切り換える、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。
- ⑥ を押して戻ります。



例：調整値を「+3」に設定する場合

- ※1. 階層を進めるときは 、階層を戻すときは を押します。
 を押すと項目が進み、 を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
-5	マイナス側に 5 段階(約 5V)低く設定されます。
-4	マイナス側に 4 段階(約 4V)低く設定されます。
-3	マイナス側に 3 段階(約 3V)低く設定されます。
-2	マイナス側に 2 段階(約 2V)低く設定されます。
-1	マイナス側に 1 段階(約 1V)低く設定されます。
0	設定電圧のまま出力されます。
+1	プラス側に 1 段階(約 1V)高く設定されます。
+2	プラス側に 2 段階(約 2V)高く設定されます。
+3	プラス側に 3 段階(約 3V)高く設定されます。
+4	プラス側に 4 段階(約 4V)高く設定されます。
+5	プラス側に 5 段階(約 5V)高く設定されます。

調整値 1 段階は約 1V です。

接続している負荷の状態や設置環境に応じて設定してください。

なお、この調整値は、出力電圧のみに適用されます。交流入力の電圧範囲は変わりません。

3.23 EPO 入力論理を設定する

UPS背面のEPO端子※の入力論理を設定します。

詳細はUPS取扱説明書「5.6 UPS緊急停止用のスイッチを接続する」をご覧ください。

※、EPOは、Emergency Power Off（緊急出力停止）の略です。

① BACK を押してLCD画面を表示させます。

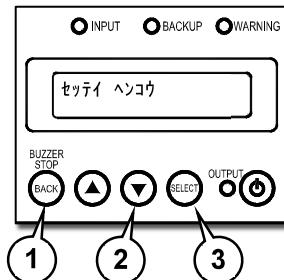
② ▶ を押してホームメニューを切り換え、**セッティ ヘンコウ** を表示させます。

③ SELECT を押して確定します。

④ ▶ または ▲ で表示を切り替え、設定する項目を SELECT で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

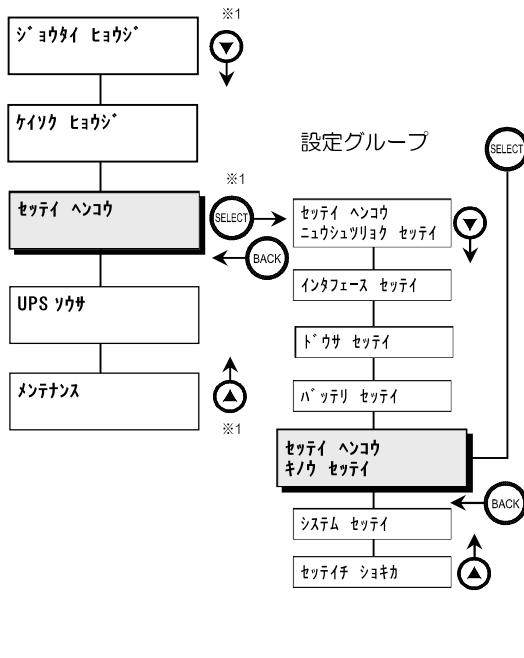
⑤ ▶ または ▲ で設定値を切り替え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面で再度 SELECT を押して確定します。

⑥ BACK を押して戻ります。



例：EPO端子の論理を「負論理」に設定する場合

ホームメニュー

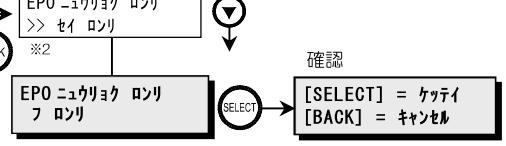


設定項目



- ※1. 階層を進めるときは SELECT、階層を戻すときは BACK を押します。
 ▽ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。
 ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
 現在の設定は「>>」記号で表示されます。
 ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定値



確認
[SELECT] = ケッティ
[BACK] = キャンセル

確定
[SELECT]
EPO ニュクリヨク ロンリ
>> フ ロンリ

※3

設定項目、設定値の詳細説明

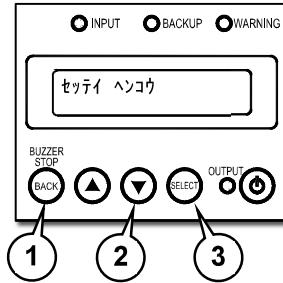
	設定値	詳細
初期設定	セイ ロンリ	EPO端子に接続したUPS緊急停止用スイッチが「ON」のときに、UPSの出力が停止します。
	フ ロンリ	EPO端子に接続したUPS緊急停止用スイッチが「OFF」のときに、UPSの出力が停止します。

詳細は、UPSの取扱説明書「5.6 UPS緊急停止用のスイッチを接続する」をご覧ください。

3.24 CARD I/F および SIGNAL I/F の停電信号の論理を設定する

UPS背面の「CARD I/F」コネクタおよび「SIGNAL I/F」コネクタから出力される停電信号の論理を設定します。

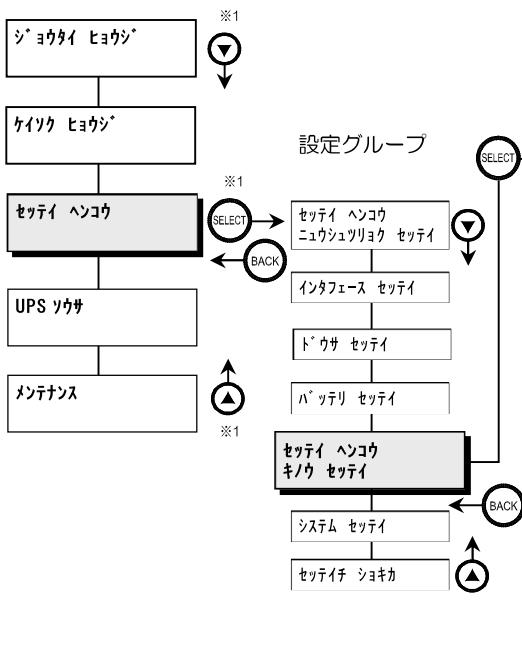
- ① を押してLCD画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り替え、 **セッティ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ を押して確定します。
- ④ または で表示を切り替え、設定する項目を で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ または で設定値を切り替え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。
- ⑥ を押して戻ります。



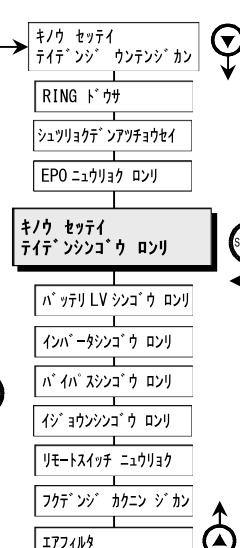
例：停電信号の論理を「負論理」に設定する場合

- ポイント**
- ※1. 階層を進めるときは 、階層を戻すときは を押します。
 を押すと項目が進み、 を押すと戻ります。
 - ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
 - ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

ホームメニュー



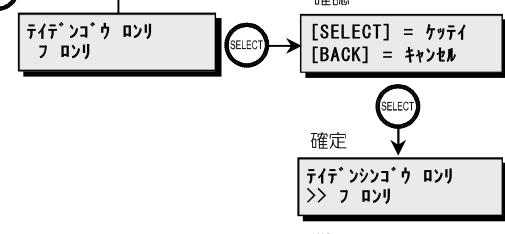
設定項目



設定値



確認



※3

設定項目、設定値の詳細説明

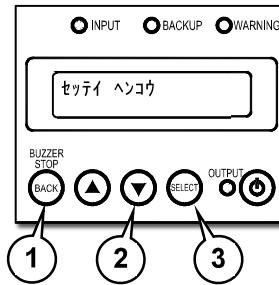
	設定値	詳細
初期設定	セイ ロンリ	正論理 停電が発生した時に、信号が出力されます。
	フ ロンリ	負論理 停電が発生していない時に、信号が出力されます。

詳細は、UPSの取扱説明書「5.4 UPSの外部転送信号を使う」または「5.7 CARD I/F RS-232C コネクタにコンピュータを接続して運用する」をご覧ください。

3.25 CARD I/F および SIGNAL I/F のバッテリ電圧低下信号の論理を設定する

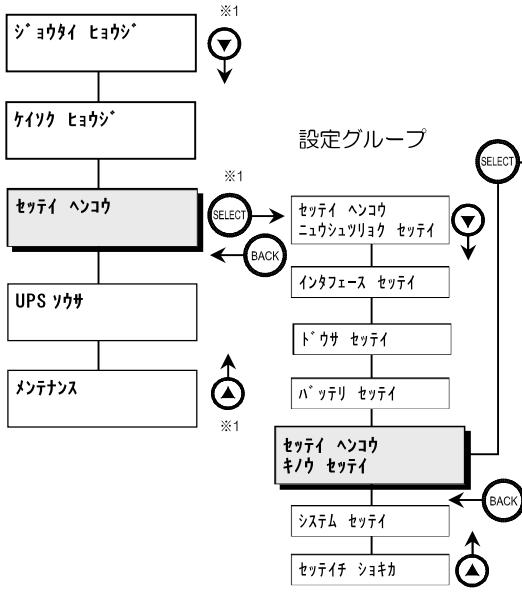
UPS背面の「CARD I/F」コネクタおよび「SIGNAL I/F」コネクタから出力されるバッテリ電圧低下信号の論理を設定します。

- ① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り替え、**セッティ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り替え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り替え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。

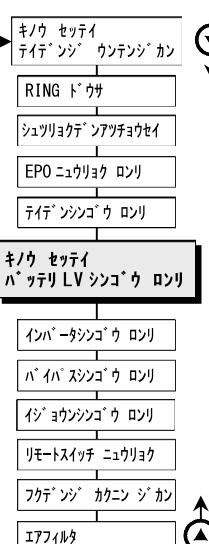


例：バッテリ電圧低下信号の論理を「負論理」に設定する場合

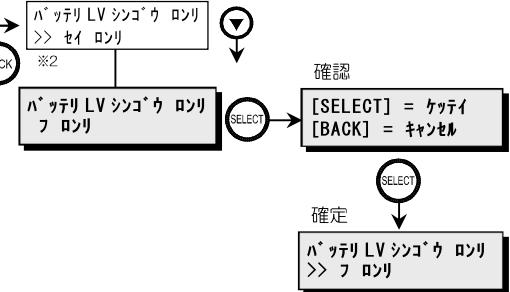
ホームメニュー



設定項目



設定値



※3

- ポイント**
- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
 - ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
 - ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定項目、設定値の詳細説明

設定値		詳細
初期設定	セイ ロンリ	バッテリ電圧低下が発生した時に、信号が出力されます。
	フ ロンリ	バッテリ電圧低下が発生していない時に、信号が出力されます。

詳細は、UPSの取扱説明書「5.4 UPSの外部転送信号を使う」または
「5.7 CARD I/F RS-232C コネクタにコンピュータを接続して運用する」をご覧ください。

3.26 SIGNAL I/F のインバータ出力信号の論理を設定する

UPS背面の「SIGNAL I/F」コネクタから出力されるインバータ出力信号の論理を設定します。

① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。

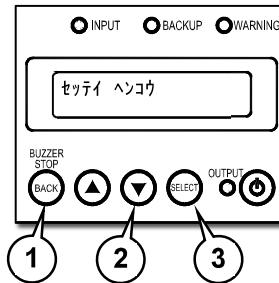
② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**セッティ ヘンコウ** を表示させます。

③ **SELECT** を押して確定します。

④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。

⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。

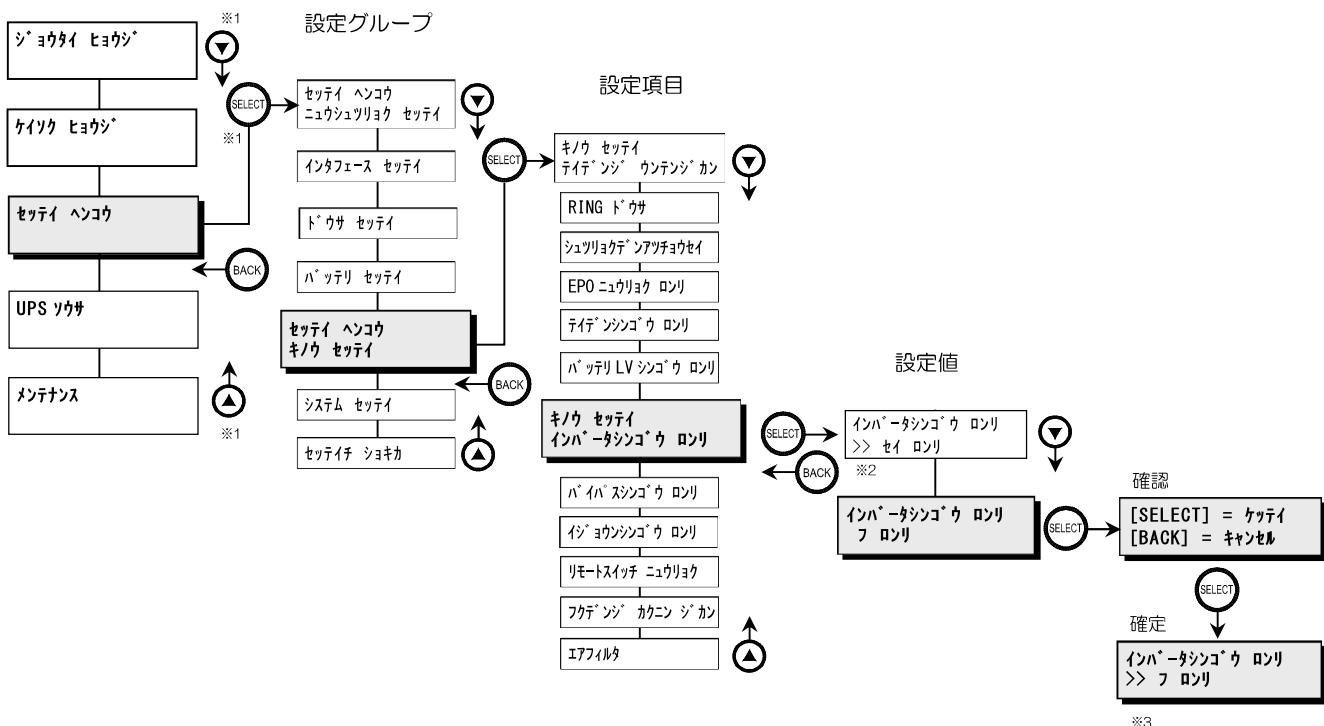
⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：インバータ出力信号の論理を「負論理」に設定する場合

- ポイント**
- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
 - ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
 - ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

ホームメニュー



設定項目、設定値の詳細説明

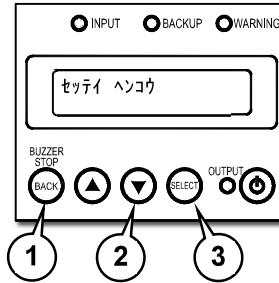
	設定値	詳細
初期設定	セイ ロンリ	正論理 インバータ出力が供給されている場合に、信号が出力されます。
	フ ロンリ	負論理 インバータ出力が供給されていない場合に、信号が出力されます。

詳細は、UPSの取扱説明書「5.4 UPSの外部転送信号を使う」をご覧ください。

3.27 SIGNAL I/F のバイパス出力信号の論理を設定する

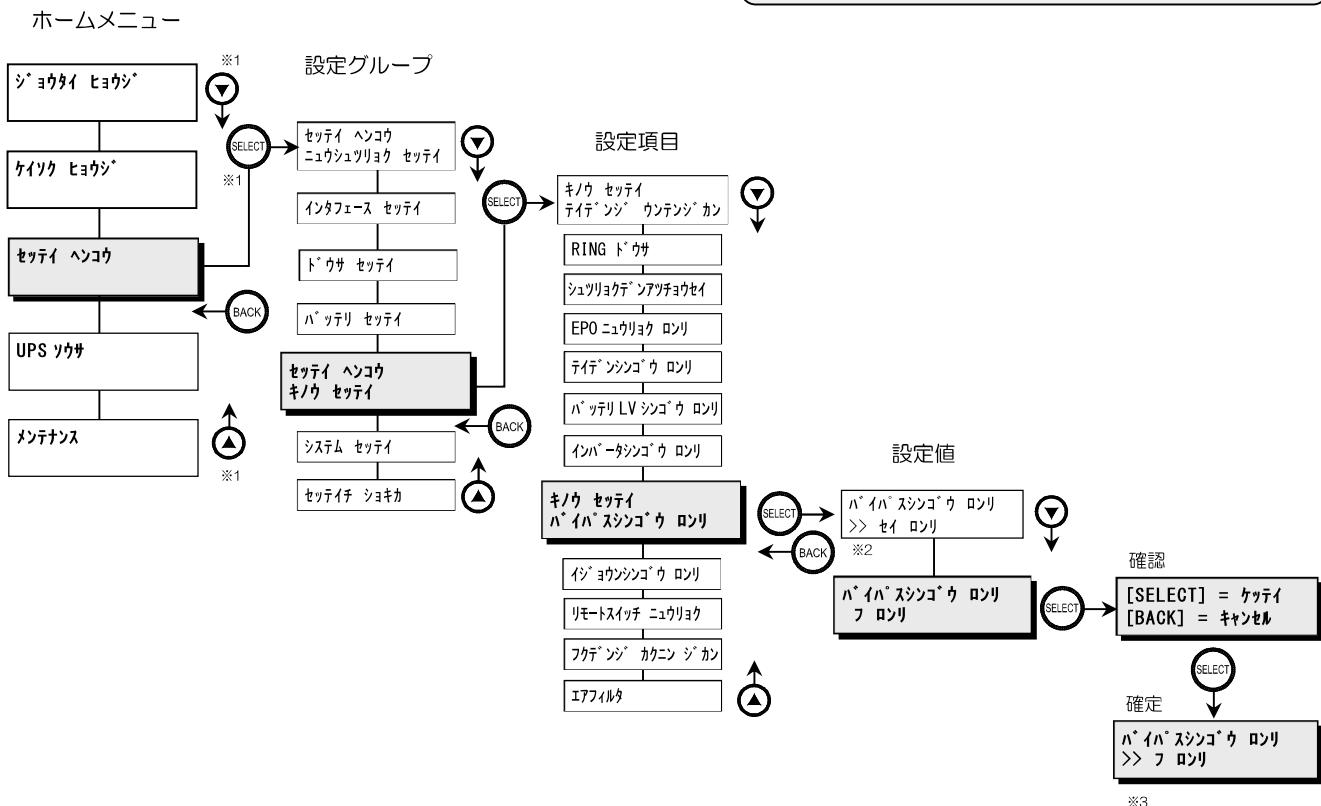
UPS背面の「SIGNAL I/F」コネクタから出力されるバイパス出力信号の論理を設定します。

- ① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り替え、**セッティ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り替え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り替え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：バイパス出力信号の論理を「負論理」に設定する場合

- ポイント**
- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
 - ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
 - ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

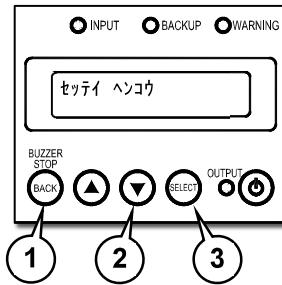
	設定値		詳細
初期設定	セイ ロンリ	正 論理	バイパス回路から商用電源が供給されている場合に、信号が出力されます。
	フ ロンリ	負 論理	バイパス回路から商用電源が供給されていない場合に、信号が出力されます。

詳細は、UPSの取扱説明書「5.4 UPSの外部転送信号を使う」をご覧ください。

3.28 SIGNAL I/F の装置異常信号の論理を設定する

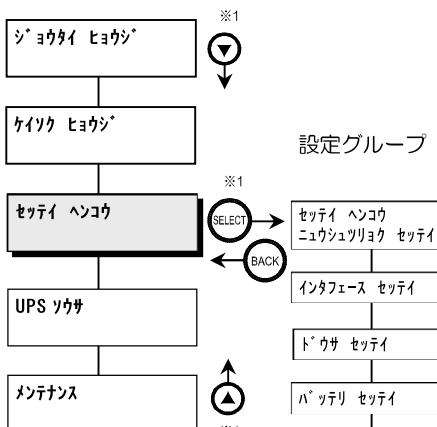
UPS背面の「SIGNAL I/F」コネクタから出力される装置異常信号の論理を設定します。

- ① を押してLCD画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り替え、 **セッティ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ を押して確定します。
- ④ または で表示を切り替え、設定する項目を で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ または で設定値を切り替え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。
- ⑥ を押して戻ります。

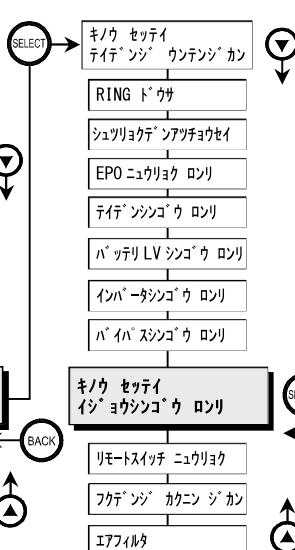


例：装置異常信号の論理を「負論理」に設定する場合

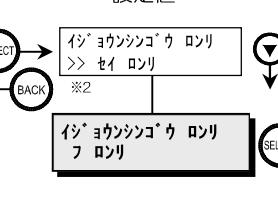
ホームメニュー



設定項目



設定値



※2: [SELECT] = ケッティ
[BACK] = キャンセル

※3: 確認
[SELECT] = イジヨウシングウ ロンリ
[BACK] = イジヨウシングウ フ ロンリ

- ポイント**
- ※1. 階層を進めるときは 、階層を戻すときは を押します。
 を押すと項目が進み、 を押すと戻ります。
 - ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
 - ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定項目、設定値の詳細説明

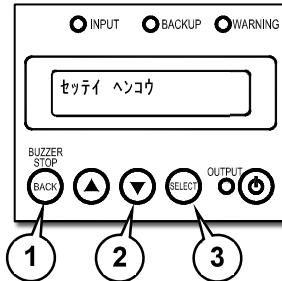
設定値		詳細
初期設定	セイ ロンリ	正 論理 装置異常が発生した時に、信号が出力されます。
	フ ロンリ	負 論理 装置異常が発生していない時に、信号が出力されます。

詳細は、UPSの取扱説明書「5.4 UPSの外部転送信号を使う」をご覧ください。

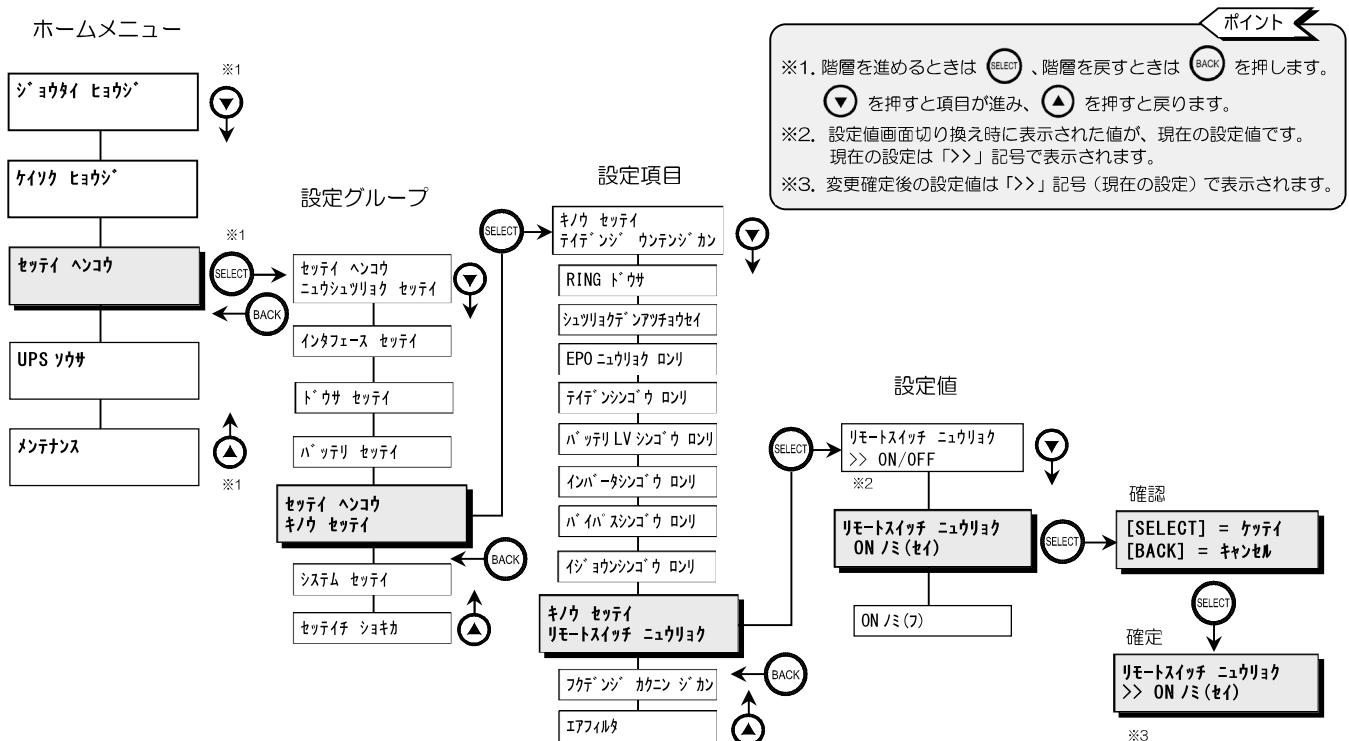
3.29 リモートスイッチの入力方式を設定する

UPSのリモート端子に接続するリモートスイッチの入力方式を設定します。
詳細はUPS取扱説明書「5.5 リモートスイッチでUPSのON/OFF操作をする」をご覧ください。

- ① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り替え、**セッティ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り替え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換えるか、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：リモートスイッチ入力方式を「ONのみ（正論理）」に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

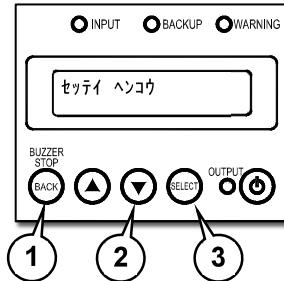
	設定値	詳細
初期設定	ON/OFF ON/OFF 使用	ON/OFFを別スイッチで操作。 両方が入力された場合OFFが優先。
	ON /ミ(セイ) ONのみ(正論理)	ON端子にON信号が入力された場合 UPSが起動、OFF信号が入力された場合に停止します。
	ON /ミ(フ) ONのみ(負論理)	ON端子にOFF信号が入力された場合 UPSが起動、ON信号が入力された場合に停止します。

詳細は、UPSの取扱説明書「5.5 リモートスイッチでUPSのON/OFF操作をする」をご覧ください。

3.30 復電時の確認時間を設定する

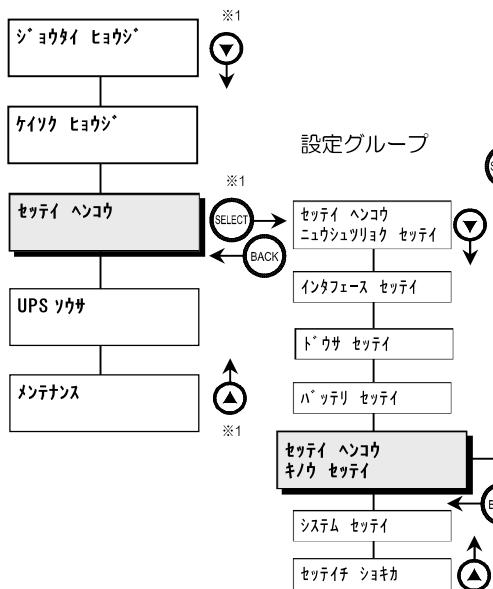
停電発生時、UPSがバッテリ放電終止により停止した後、商用電源が復帰したとき、UPSが復電したと認識するまでの時間を設定します。

- ① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り替え、**セッティ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り替え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換える、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。

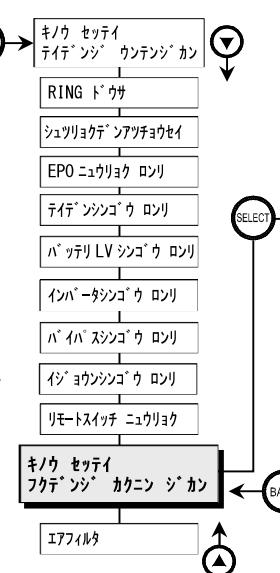


例：復電時確認時間を「10秒」に設定する場合

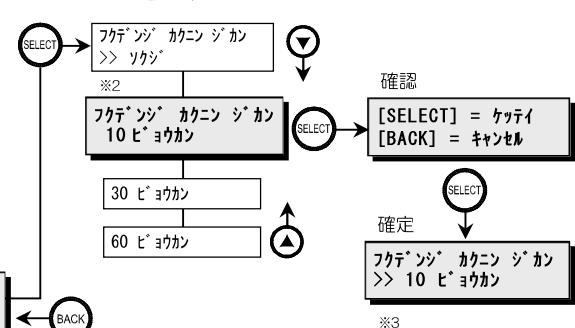
ホームメニュー



設定項目



設定値



※3

初期設定

確定

選択

設定項目、設定値の詳細説明

初期設定	設定値		詳細
	ソク'	即時（0秒）	
	10 ピ'ヨウカン	10 秒間	停電時、UPSが放電終止により停止した後、停電が復旧したとき、設定した時間が経過した時点でUPSは停電が回復したと認識します。
	30 ピ'ヨウカン	30 秒間	
	60 ピ'ヨウカン	60 秒間	

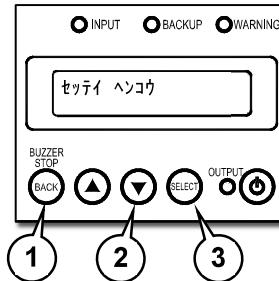
3.31 エアフィルタを使用する/しないを設定する

UPSの正面パネルにエアフィルタ（オプション）を取り付けるか、取り付けないかを設定します。
エアフィルタを取り付ける場合は、設定値を変更してください。

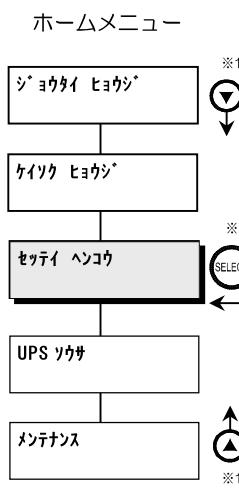
なお、この設定値を変更してもエアフィルタは自動的にはセットされません。
エアフィルタの取扱説明書をご覧になり、エアフィルタを取り付けてください。

ご注意
エアフィルタにはオプション品を使用し、
指定以外のものは使用しないでください。

- ① を押してLCD画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り替え、 **セッティ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ を押して確定します。
- ④ または で表示を切り替え、設定する項目を で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ または で設定値を切り替え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。
- ⑥ を押して戻ります。



例：エアフィルタを「使用する」に設定する場合

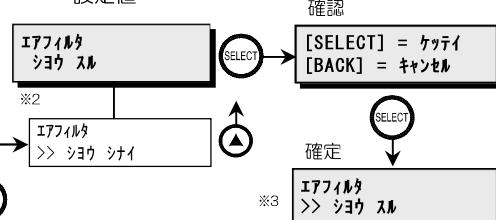


設定グループ

設定項目



設定値



設定項目、設定値の詳細説明

設定値		詳細
ショウ スル	使用する	エアフィルタを使用する場合は定期的にエアフィルタの清掃をしてください。UPSの取扱説明書「エアフィルタの点検」をご覧ください。
初期設定	ショウ シナイ	エアフィルタを使用しない場合

設定値により、UPS内部冷却用のファンモータの制御が異なります。

実際のエアフィルタの使用状況と、異なる設定値に設定されているとUPSが正常に動作しないことがあります。

設定値が「ショウ スル」に設定されている場合、約2.5か月に1回LCD画面に「エアフィルタ タンケ ジキ」が表示されます。

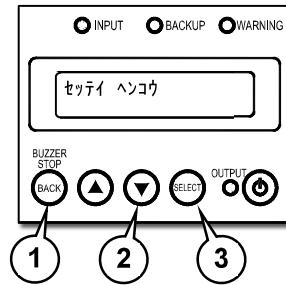
エアフィルタの清掃を実施してから、「5.3 エアフィルタ清掃完了の操作をする」を実施してください。

「3.14 軽故障時に転送信号を送出する/しないを設定する」で設定値が「ソウシユウ スル」に設定されている場合、LCD画面に「エアフィルタ タンケ ジキ」が表示されたときは「装置異常」信号が送出されます。

3.32 日付／時刻を設定する

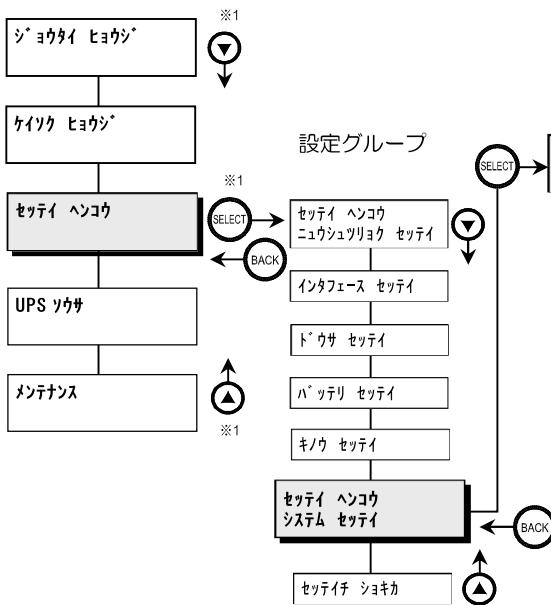
UPSの日付と時刻を設定します。工場出荷時に設定されていますので、通常は変更しないでください。

- ① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り替え、**セッティ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り替え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ヒツ'ケ ***/**/*
ジ'コク **:***:***** が表示されている状態で **SELECT** を押し、**▼** または **▲** で「年」の値を設定して、**SELECT** を押します。
同様に、月、日、時、分の順に設定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



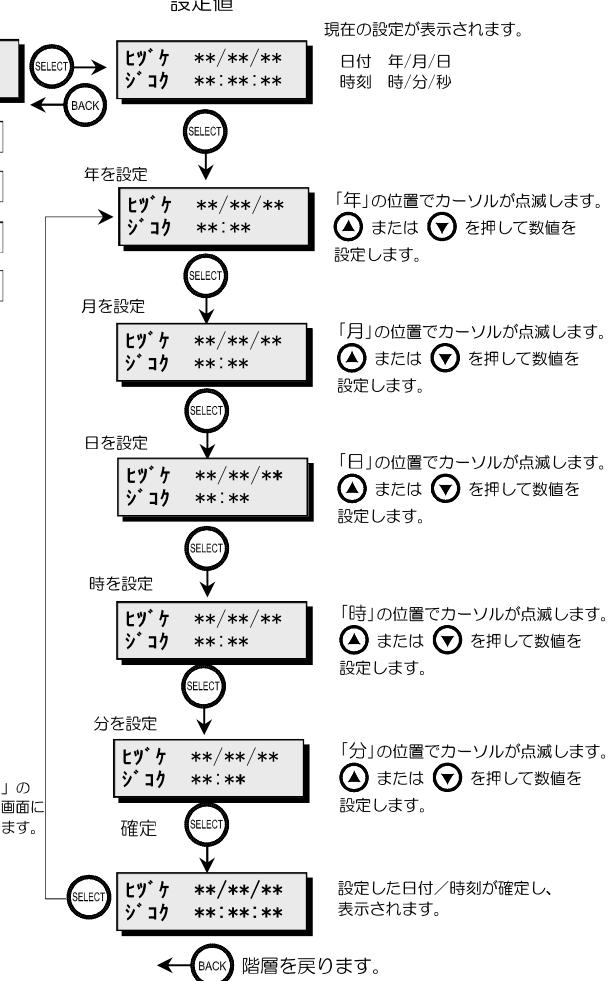
日付／時刻を設定する

ホームメニュー



※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。

ポイント ←



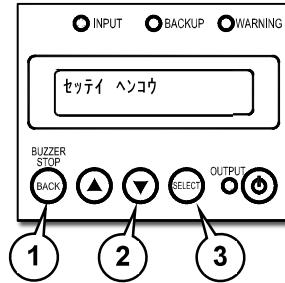
ご注意

「秒」は、設定が確定した時点で「00」が表示されます。
任意の値に設定することはできません。

3.33 表示言語を設定する

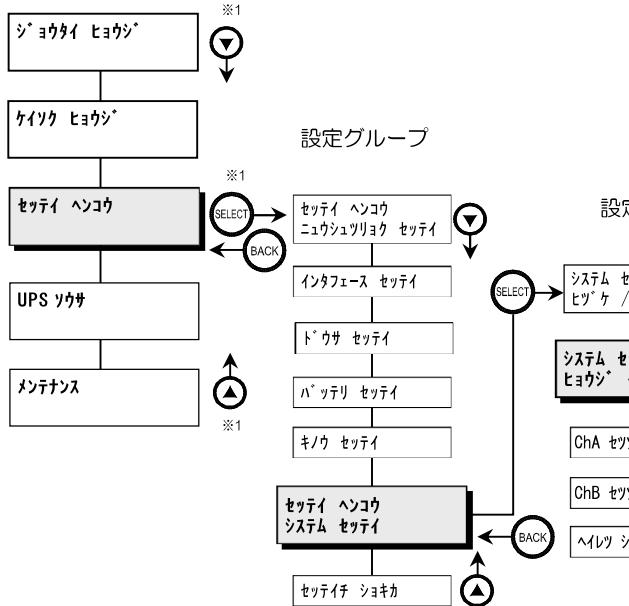
LCDパネルに表示される言語を設定します。

- ① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り替え、**セッティ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り替え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り替え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：表示言語を「英語」に設定する場合

ホームメニュー



ポイント

- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

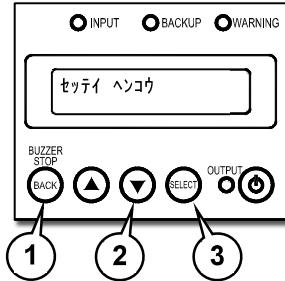
設定項目、設定値の詳細説明

	設定値		詳細
初期設定	エイ	英語	LCDパネルに表示される言語が英語になります。
	ニホン	日本語（カタカナ）	LCDパネルに表示される言語が日本語（カタカナ）になります。

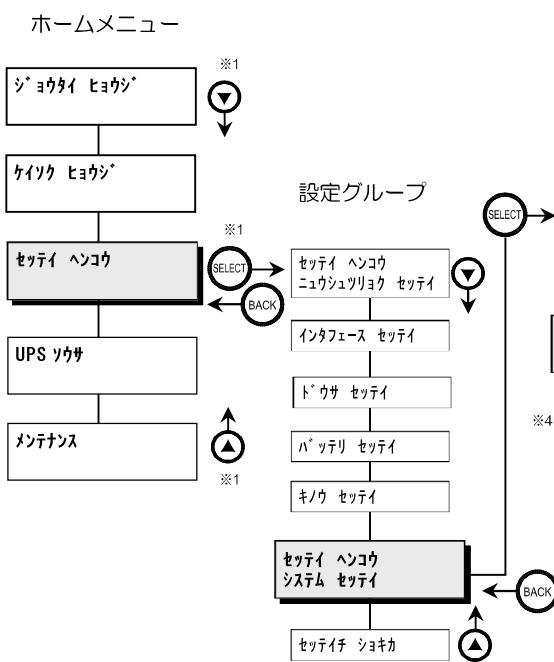
3.34 並列接続するUPSユニットの台数を設定する

UPSシステムを構成する並列接続されるUPSユニットの台数を設定します。工場出荷時に設定されていますので、通常は設定変更しないでください。

- ① BACK を押して LCD 画面を表示させます。
 - ② ▶ を押してホームメニューを切り換え、セッティ ヘンコウ を表示させます。
 - ③ SELECT を押して確定します。
 - ④ ▶ または ▲ で表示を切り換え、設定する項目を SELECT で選択します。各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
 - ⑤ ▶ または ▲ で設定値を切り換え、設定する値を SELECT で選択し、確認画面
 - ⑥ BACK を押して戻ります。



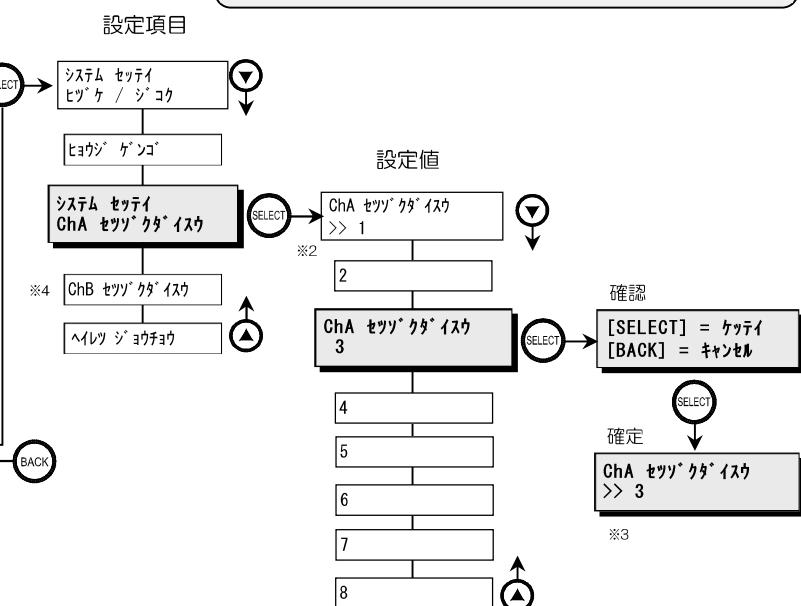
例：UPSユニット台数を「3」に設定する場合



※1. 階層を進めるときは 、階層を戻すときは  を押します。
 ▼ を押すと項目が進み、▲ を押すと戻ります。

※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
 現在の設定は「>>」記号で表示されます。

※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



※4 一注意

ChB セツツ カク イカ の設定値は「1」のままで、
変更しないでください。誤って変更してしまった
場合は、設定項目で **ChB セツツ カク イカ** を選択し、
同様の手順で設定を変更してください。

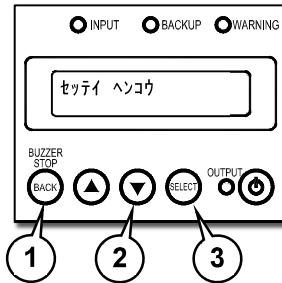
設定項目、設定値の説明	
設定値	詳細
1	UPSユニットを1台で使用する場合
2	2台のUPSユニットを接続する場合
3	3台のUPSユニットを接続する場合
4	4台のUPSユニットを接続する場合
5	5台のUPSユニットを接続する場合
6	6台のUPSユニットを接続する場合
7	7台のUPSユニットを接続する場合
8	8台のUPSユニットを接続する場合

ユニットを増設した場合、ユニットの接続台数を変更した場合などに設定を変更します。実際に接続するUPSユニットの台数を設定してください。
運転中に何らかの要因でUPSユニットが停止し、運転しているUPSユニットの台数と、設定した台数が相違する場合はLCDパネルのUPS状態表示に「**ユニットカウント**」が表示されます。

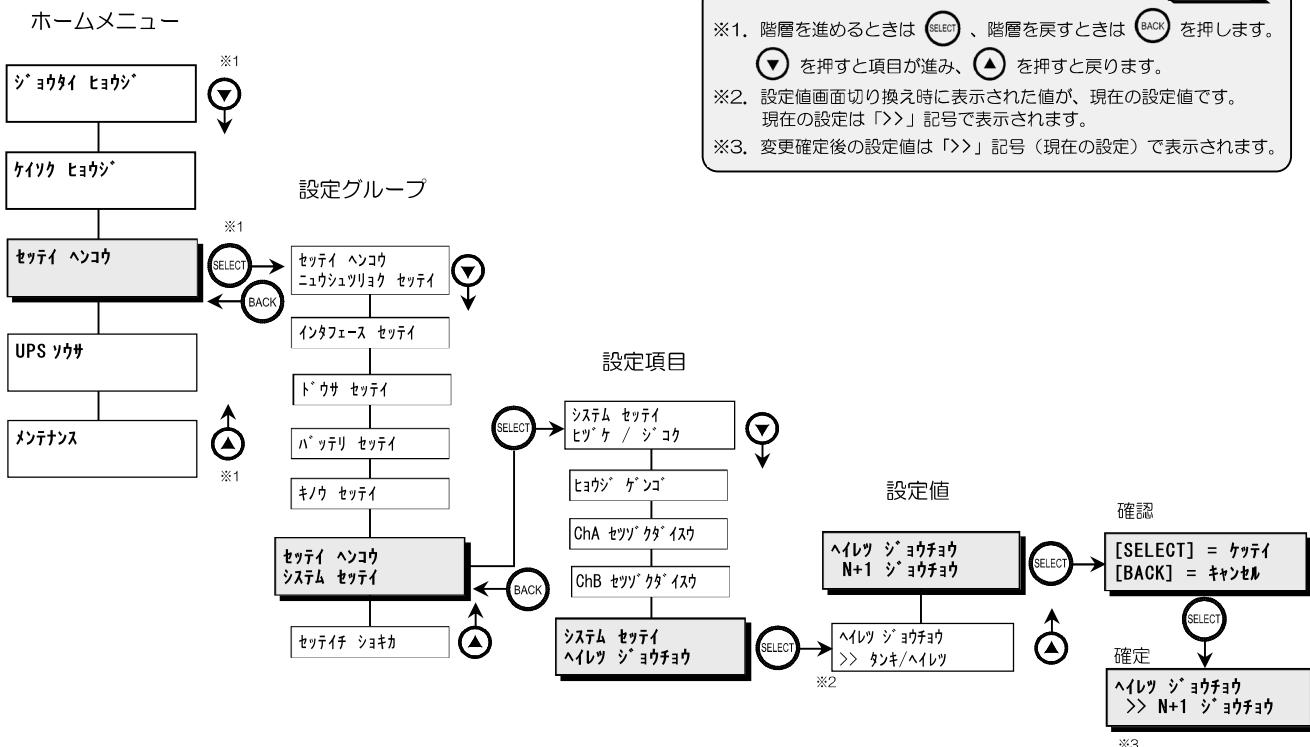
3.35 運転システムを設定する

UPSの運転システムを設定します。並列冗長運転 または、単機および並列運転から選択します。

- ① を押してLCD画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り替え、 **セッティ ヘンコウ** を表示させます。
- ③ を押して確定します。
- ④ または で表示を切り替え、設定する項目を で選択します。
各階層で同様に操作し、「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ または で設定値を切り替え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。
- ⑥ を押して戻ります。



例：運転システムを「N+1 冗長」に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

設定値		詳細	
N+1 ジョウチョウ	N+1 冗長	並列冗長運転システムに設定する。	<ul style="list-style-type: none"> 並列冗長運転システム：負荷容量に対して並列接続されたUPSユニット1台分の余裕を持たせて運転する場合。
初期設定 タシキ/ハイレツ	単機/並列	単機運転 および 並列運転システムに設定する。	<ul style="list-style-type: none"> 単機運転システム：UPSユニット1台の場合。 並列運転システム：並列接続されたUPSユニット台数の合計容量を接続可能な負荷容量として運転する場合。

「N+1 ジョウチョウ」に設定した場合、UPSに接続している負荷容量に対して、UPS容量にUPSユニット1台分の余裕がなくなったときは、LCD画面に「ジョウチョウテン NG」が表示されます。UPSに接続している負荷を減らしてください。

3.36 設定値をリセットする

3.1~3.35までの設定項目の設定値を工場出荷時の初期設定にリセットします。

初期設定は「3. UPSの設定をする」の設定項目一覧表で確認してください。

この操作をすると、一括で設定項目の設定値がリセットされます。設定項目ごとにリセットすることはできません。

いったんリセットした設定値をもとに戻すことはできません。

① を押してLCD画面を表示させます。

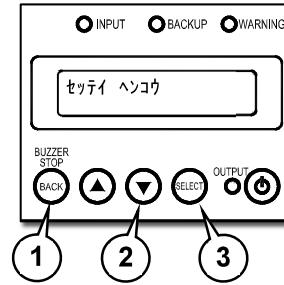
② を押してホームメニューを切り替え、 を表示させます。

③ を押して確定します。

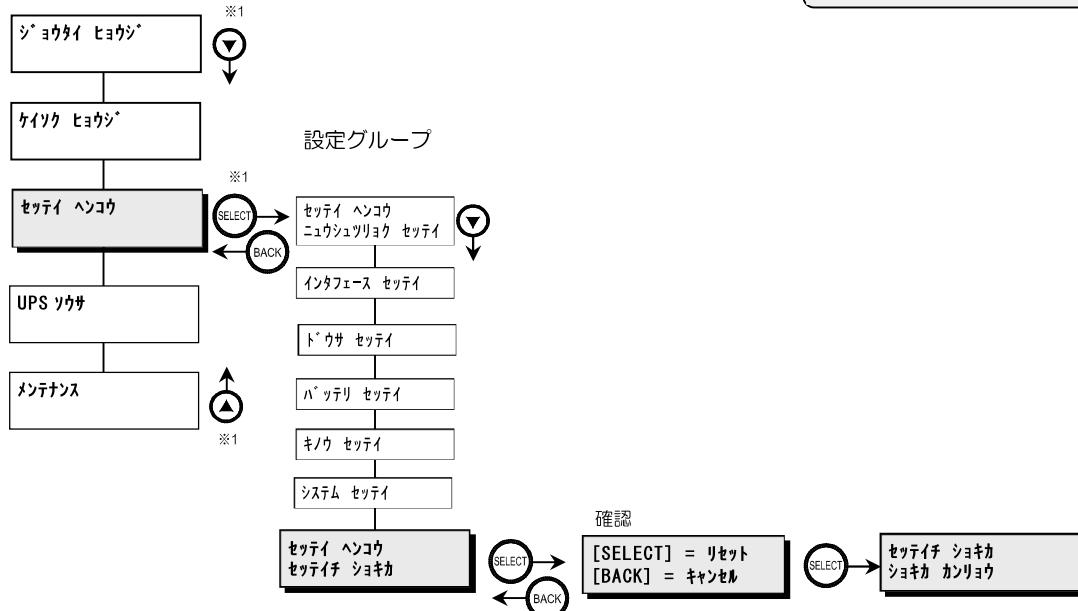
④ 同様にそれぞれの階層で下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」へ進みます。

⑤ を押し選択し確認画面を表示させ、再度 を押してリセットします。

⑥ を押して戻ります。



ホームメニュー



※1. 階層を進めるときは 、階層を戻すときは を押します。 を押すと項目が進み、 を押すと戻ります。

ポイント

ご注意

- リセット操作をしても下表の項目の設定値はリセットされません。

項目番号	LCD表示	内容
3.4	電圧アツデソリュウ ヒョウジ	電圧電流表示設定
3.7	ネットワーク セッティ	LANインターフェース使用時のネットワーク設定
3.32	ヒツケ / ジコク	月日／時刻設定
3.34	ChA セツリクダ イスカ	ChA システム並列接続台数設定
	ChB セツリクダ イスカ	ChB システム並列接続台数設定
5.1	バックアップ ジカン	バックアップ時間設定
5.2	ハッテリ シュペック	ハッテリ種別設定

- リセット操作により、UPSを再起動しないと変更が有効にならない設定項目が変更された場合は、UPSの再起動が必要です。この場合、UPS状態表示に「サ件ドウ 行ヶダサ」が表示されますので、「3.37 UPSを再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。UPSを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。

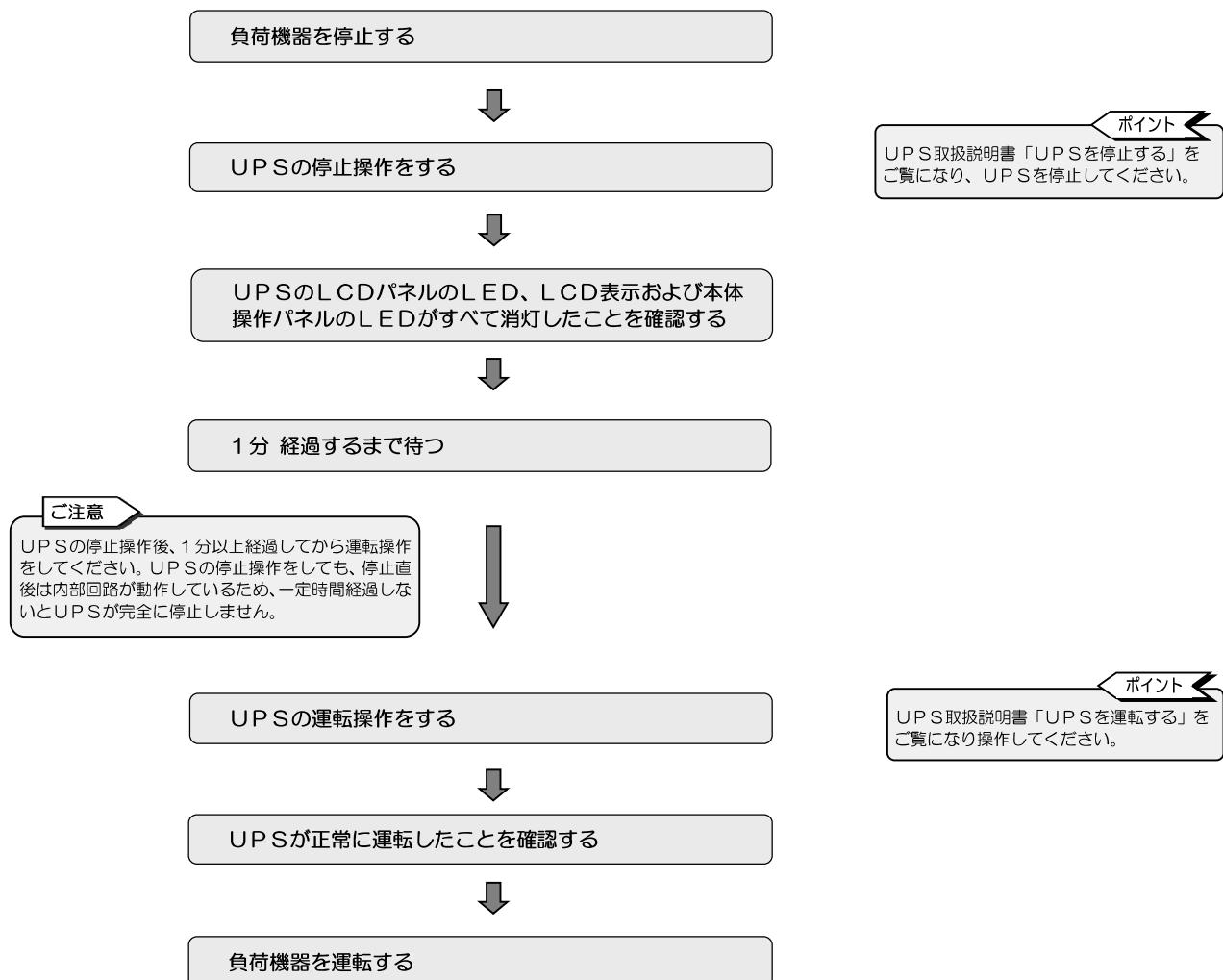
3.37 UPSを再起動^{*}する

* 再起動とは・・・

運転中のUPSをいったん停止し、もう一度運転することです。

LCDパネル操作説明書（本書）、またはUPS取扱説明書に、設定メニューの設定値変更を有効にするときなど「UPSを再起動してください。」と記載されている場合は、運転中のUPSを停止し、指定された時間が経過してから、再度UPSを運転してください。

11~12ページの設定項目一覧表の設定項目欄に「★」印があるメニューは、設定変更後にUPSを再起動しないと設定値が有効になりません。「★」印のメニューの設定値を変更した場合は、下記の手順をご覧になり、UPSを再起動してください。
UPSの停止、起動操作はUPSのモデルにより異なります。詳細はUPSの取扱説明書「4.2 UPSの運転操作」の項目をご覧ください。UPSを停止するときは、必ず事前に負荷機器を停止してください。



4. UPSの操作をする

「バッテリテスト」、「UPSの起動・停止」、「バイパス切換」「EPO ラッチ状態解除」の4つの操作を、コントロールメニューから実行することができます。操作方法の詳細は、4.1~4.5の各項目をご覧ください。

操作項目一覧表

ホームメニュー：UPS操作

操作項目		表示項目		表示内容				参照項目	参照ページ
表示	内容	表示	内容	表示	内容	表示	内容		
バッテリテスト	バッテリテスト	ショコ	テスト実行	[SELECT] = ショコ	実行する	ソサイ シッパイ	実行中止	4.1	51
				[BACK] = キャンセル	取り消し	ソウカ カンリョウ	正常終了		
		チュウ (バッテリテスト中)	テスト中止	[SELECT] = チュウ	中止する	ソサイ シッパイ	実行中止	4.2	53
				[BACK] = ケイヅク	テスト継続	ソウカ カンリョウ	正常終了		
		ショウタイ	テスト状態	バッテリテスト ショウタイ	テスト状態	テスト カシ カノウ	テスト開始可能	4.2	53
						テスト カシ フカ	テスト開始不可		
						テストチュー m s	テスト中 分 秒		
				ゼンカイ テスト ジッヒ	前回の テスト結果	ゼンカイ テスト ジッヒ	前回テスト実施日		
						YY/MM/DD HH:MM	年/月/日 時:分		
						バッテリテスト:ゼンショウ	正常		
						バッテリテスト:イグショウ	異常		
						バッテリテスト:リレオナシ	前回履歴なし		
						バッテリテスト:チュウ	中止		
INV キドウ	UPSの起動	[SELECT] = INV キドウ	起動	ソウカ シッパイ	実行中止	ソウカ カンリョウ	正常終了	4.3	54
		[BACK] = キャンセル	取り消し						
INV テイシ	UPSの停止	[SELECT] = INV テイシ	停止	ソウカ シッパイ	実行中止	ソウカ カンリョウ	正常終了	4.3	54
		[BACK] = キャンセル	取り消し						
バイパス運転 切り替え	バイパス運転 切り替え	[SELECT] = バイパス	切り換える	ソウカ シッパイ	実行中止	ソウカ カンリョウ	正常終了	4.4	55
		[BACK] = キャンセル	取り消し						
EPO カイジョ	EPO ラッチ解除	[SELECT] = カイジョ	解除	ソウカ シッパイ	実行中止	ソウカ カンリョウ	正常終了	4.5	56
		[BACK] = キャンセル	取り消し						

4.1 バッテリテストをする

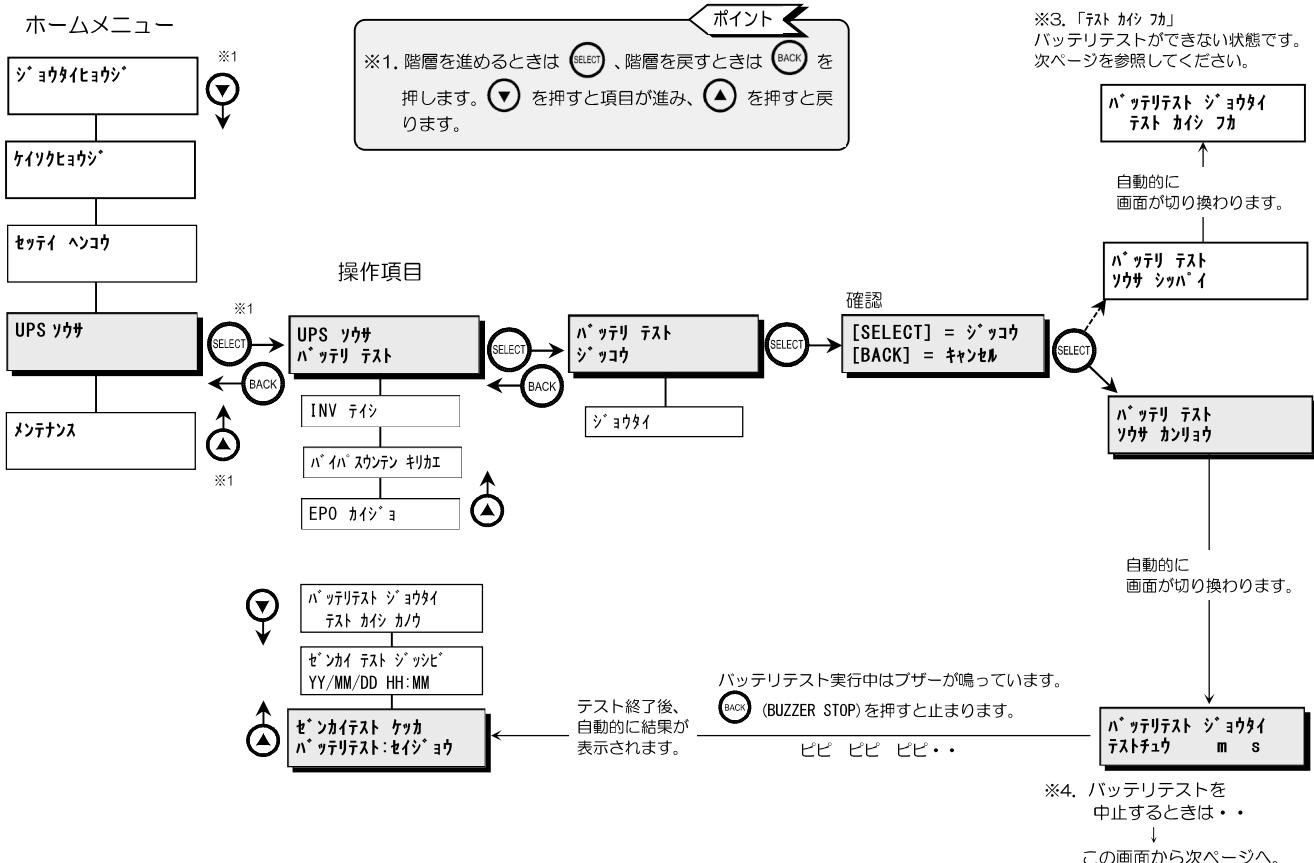
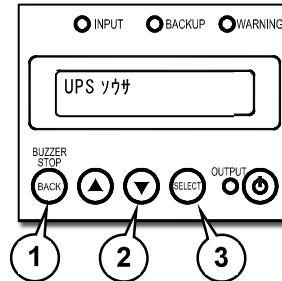
バッテリの状態をテストします。出荷時、自動バッテリテストは180日ごとに実施されるように設定されています。

手動でバッテリテストをする場合は下記の手順で実施してください。

バッテリテストは負荷を停止させることなく実施できます。ただし、バッテリテスト実施前にUPSがバッテリ運転をしていると、バッテリテスト結果が異常になることがあります。バッテリテスト前にUPSがバッテリ運転をしていない状態で実施してください。

- ポイント**
- ・バッテリテストを実施する時間(分)を設定することができます。「3.18 バッテリテストの実行時間を設定する」をご覧ください。
 - ・自動で定期的にバッテリテストを実施させる期間(日数)を変更することができます。「3.19 バッテリテストのスケジュールを設定する」をご覧ください。

- ① を押してLCD画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り替え、 **UPS ソウサ** を表示させます。
- ③ を押して確定します。
- ④ または で表示を切り替え、操作する項目を で選択し、確認画面で再度 を押して実行します。
- ⑤ を押して戻ります。



バッテリテストの表示項目

項目	表示	内容	表示	内容
バッテリテスト ジョウタイ	テスト状態	テスト カシ カノウ	テスト開始可能	
		テスト カシ フカ	テスト開始不可	
		テストチュウ	テスト中	
ゼンカイ テスト ジッビ	前回のバッテリ テスト実施日時	YY/MM/DD HH:MM	年/月/日 時分 「**/**/** **:**」が表示された場合は、前回のバッテリ テスト結果がない状態です。	
ゼンカイ テスト ケッカ	バッテリテスト 結果	バッテリテスト:セイジ ヨウ バッテリテスト:イジ ヨウ バッテリテスト:リレカナ バッテリテスト:チュウシ	バッテリは正常です。 バッテリが異常の可能性があります。 バッテリテストの前回履歴がありません。 テストが中止されました。	

[バッテリテストについてのご注意]

判定結果は目安です。正常と判定された場合でもUPS取扱説明書の「6.2 バッテリの点検」をご覧になり、バッテリが劣化している場合は購入先または当社までご連絡ください。

[バッテリテストができない状態]

下記の①～⑨の状態のときは、バッテリテストはできません。UPS取扱説明書「8. こんなときには・・」をご覧になり、対処してください。

- ① インバータ停止中
- ② バイパス給電中
- ③ バッテリ運転中
- ④ バッテリテスト実行中（自動、手動、UPS管理ソフトによるバッテリテスト実行中は、バッテリテストの操作はできません。）
- ⑤ UPS故障
- ⑥ バッテリ温度異常発生
- ⑦ バッテリ残保持時間が「3.17 バッテリ電圧低下警告発生のタイミングを設定する」で設定した値未満のとき
- ⑧ 「3.3 出力周波数を設定する」で設定値が「50Hz」または「60Hz」に設定されている場合
- ⑨ 非同期運転中

[バッテリテストの中止について]

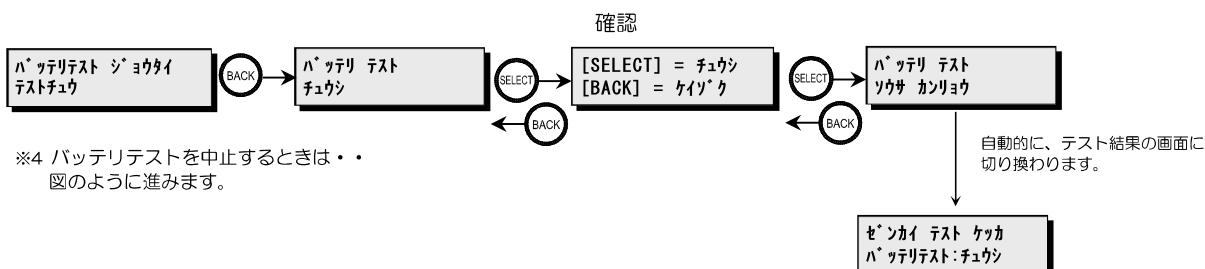
▶ バッテリテスト中にテストを中止する場合は・・・

LCD画面に「チュウ」が表示されている状態で  を押します。 ⇒ UPSは通常運転に戻ります。

▶ バッテリテスト中に①～⑤のことが発生、または⑥～⑨の操作をした場合はバッテリテストは中止されます。

- | | |
|-----------------|------------------------------------|
| ① 入力（電圧、周波数）の異常 | ⑥ Forced Bypass スイッチを切り換えた。 |
| ② UPS故障 | ⑦ MAIN MCCB を「OFF」にした。 |
| ③ 出力過電流 | ⑧ UPSのOFF操作をした。 |
| ④ バッテリ温度異常発生 | ⑨ UPS管理ソフトでバッテリテスト中止を実行。 |
| ⑤ バッテリ電圧低下発生 | |

※3. 「カサ シッパ ！」が表示され、バッテリテストが実行されなかったときは、UPSが上記のバッテリテストができない状態になっている可能性があります。  で戻り、UPSの状態を確認し、再度操作をしてください。

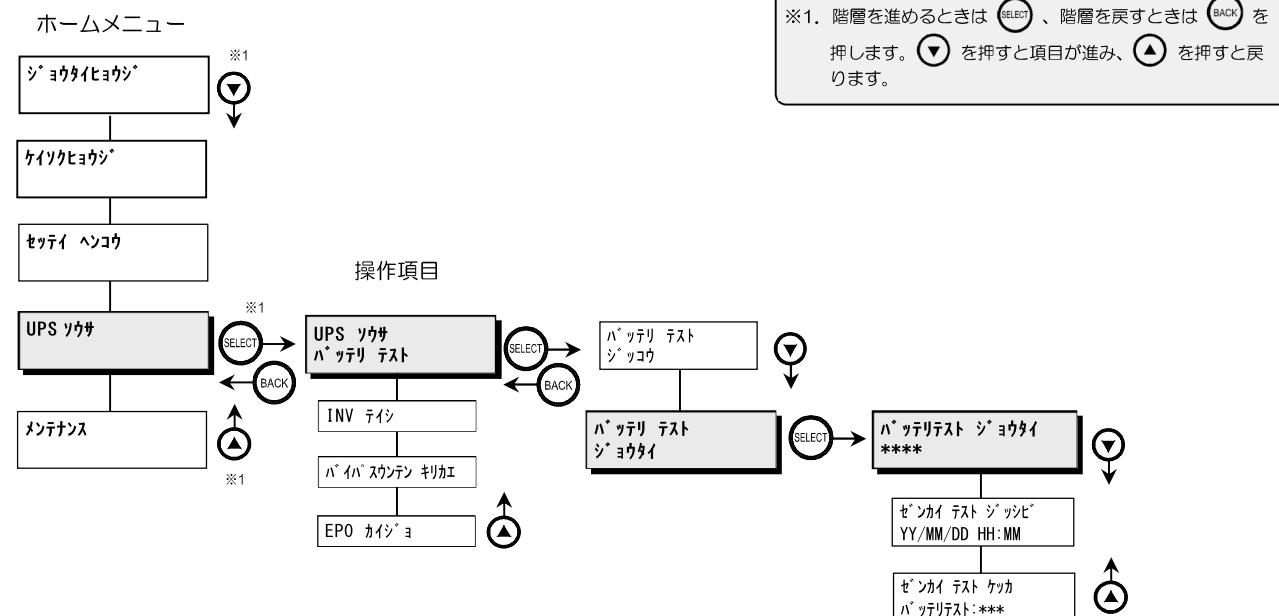
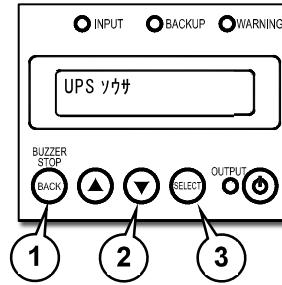


※4 バッテリテストを中止するときは・・
図のように進みます。

4.2 バッテリテストの結果を見る

自動的に実施されたバッテリテスト、または手動で実施したバッテリテストの結果を見ます。

- ① を押してLCD画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り換え、 **UPS ソウサ** を表示させます。
- ③ を押して確定します。
- ④ または で表示を切り換え、操作する項目を で選択し、確認画面で再度 を押して実行します。
- ⑤ を押して戻ります。



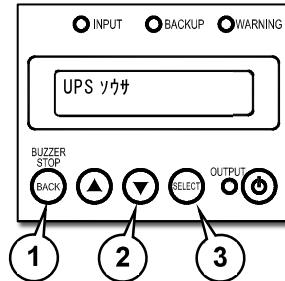
バッテリテストの表示項目

項目	内容	表示	内容
バッテリテスト ジョウタイ	テスト状態	テスト カシ カノウ	テスト開始可能
		テスト カシ フカ	テスト開始不可
		テストチウ	テスト中
ゼンカイ テスト ジッヒ	前回のバッテリ テスト実施日時	YY/MM/DD HH:MM	年/月/日 時:分 「**/**/** **:**:**」が表示された場合は、前回のバッテリテスト結果がない状態です。
ゼンカイ テスト ケッカ	バッテリテスト 結果	バッテリテスト:セイジョウ	バッテリは正常です。
		バッテリテスト:イジョウ	バッテリが異常の可能性があります。
		バッテリテスト:リレキナ	バッテリテストの前回履歴がありません。
		バッテリテスト:チュウシ	テストが中止されました。

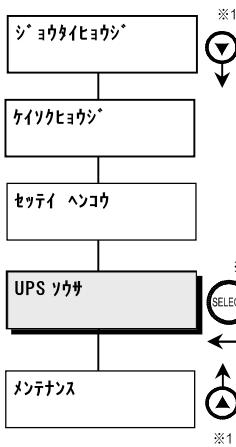
4.3 UPSを起動する または 停止する

LCDパネルのコントロールメニューから、UPSの起動、停止の操作をすることができます。
UPSを停止するときは、必ず事前に負荷機器を停止してください。

- ① を押してLCD画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り替え、 **UPS ソウサ** を表示させます。
- ③ を押して確定します。
- ④ または で表示を切り替え、操作する項目を で選択し、確認画面で再度 を押して実行します。
- ⑤ を押して戻ります。

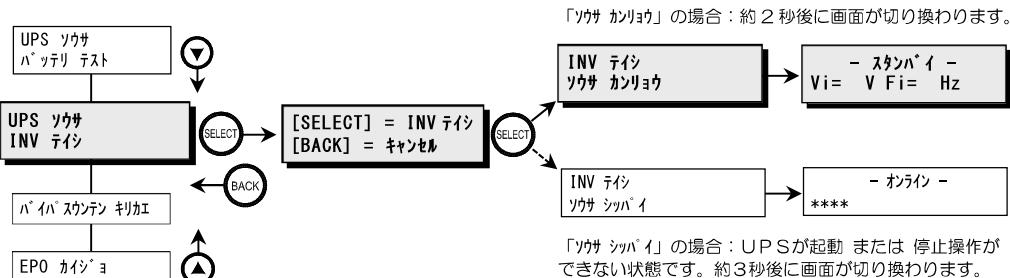


ホームメニュー



※1. 階層を進めるときは 、階層を戻すときは を押します。 を押すと項目が進み、 を押すと戻ります。

操作項目



UPS運転中は、 **INV テイシ** が表示されます。
UPS停止中は、 **INV キドウ** が表示されます。

起動・停止操作についてのご注意

下記の状態のときは、操作はできません。

- 起動操作ができない状態
 - ① インバータ起動中
 - ② 入力電圧、入力周波数が定格範囲外の場合
 - ③ UPS故障中
- 停止操作ができない状態
 - ① バイパス運転中
 - ② インバータ停止中

④ Remote OFF 信号連続入力中

⑤ インバータ／バイパス切換スイッチが「BYP.」側の場合
⑥ 通常運転中

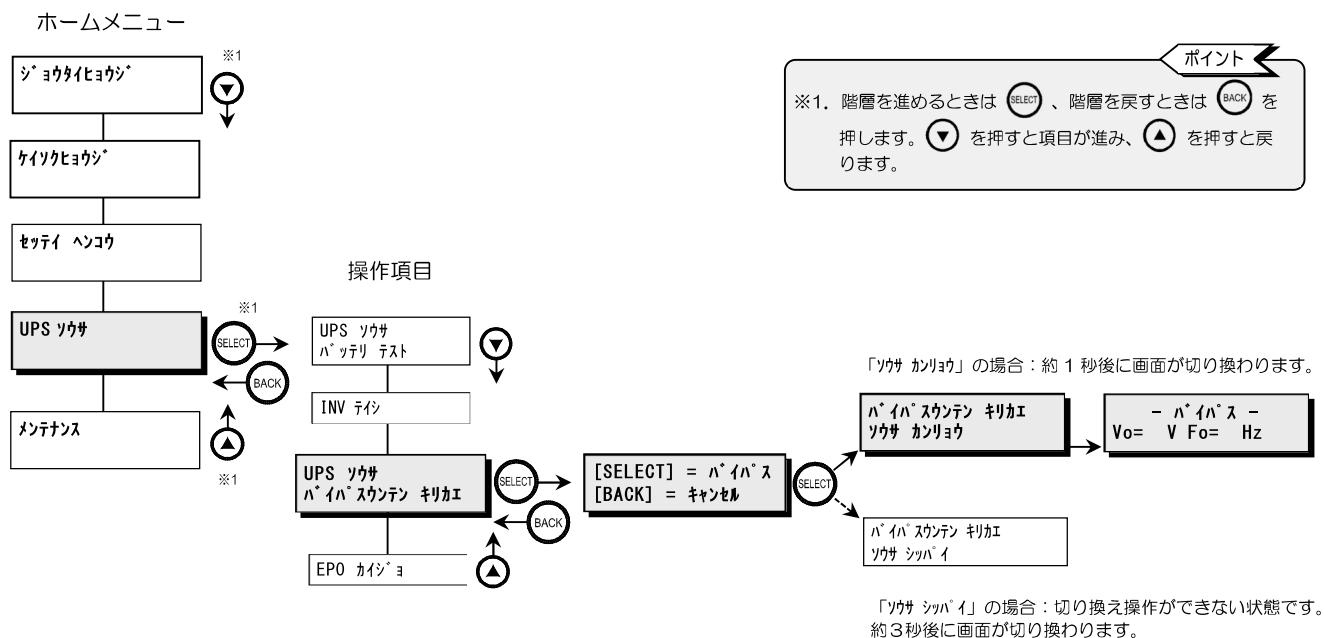
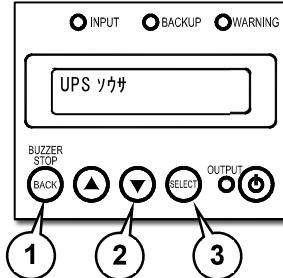
ON/OFFボタンによる起動・停止操作

LCDパネルの ボタンでも、UPSの起動・停止操作ができます。
詳細は、UPS取扱説明書「4.2 UPSの運転操作」をご覧ください。

4.4 バイパス運転に切り換える

UPSの保守時、万一の故障時などに、下記の操作でバイパス運転に切り換えることができます。

- ①  を押して LCD 画面を表示させます。
 - ②  を押してホームメニューを切り換え、 を表示させます。
 - ③  を押して確定します。
 - ④  または  で表示を切り換え、操作する項目を  で選択し、確認画面で再度  を押して実行します。
 - ⑤  を押して戻ります。



バイパス運転切り換えについてのご注意

- UPSが故障し、出力が停止している場合は、上記の操作でバイパス運転へ切り換えることはできません。
 - 「3.3 出力周波数を設定する」で設定値が「ジド センタ2」に設定されている場合、UPSが同期運転中は無瞬断でバイパス運転へ切り換わります。非同期運転中は瞬断切り換えとなります。
設定値が「50Hz」または「60Hz」に設定されている場合は、バイパス運転へ切り換わりません。
 - UPSの正面パネル内部にある **Forced Bypass** の操作により、バイパス運転に切り換えることもできます。
 - バイパス運転中に **MAIN MCCB** を「OFF」にすると、LCD画面に「メインレーカ OFF」が表示され、【WARNING】が点灯し、出力供給が停止しますのでご注意ください。

バイパス運転からインバータ運転への切り換え方法

下記のAまたはBの操作でインバータ運転へ切り替えます。

- A. LCDパネルの ボタンまたは 本体操作パネルの を押してON操作をします。
B. 「4.3 UPSを起動する または 停止する」の 操作項目 で「UPSリカ INV キドカ」を選択します。
操作手順は「4.3 UPSを起動する または 停止する」をご覧ください。

ただし、上記のAまたはB操作をしても、「3.3 出力周波数を設定する」で設定値が「ジド カンタ2」に設定されている場合は、UPSが同期運転をしていないとインバータ運転に切り換わりません。

4.5 EPO ラッチ^{*}状態を解除する

LCD 画面に ******
ティッシュ(UPS ラッ)
チ** が表示され UPS が停止中の場合は、下記の操作で解除します。

* EPO ラッチ状態とは・・・

UPS の EPO (Emergency Power Off : 緊急出力停止) 端子に接続している UPS 緊急停止用スイッチにより UPS を緊急停止した後、UPS 停止が継続している状態です。詳細は取扱説明書「5.6 UPS 緊急停止用のスイッチを接続する」をご覧ください。

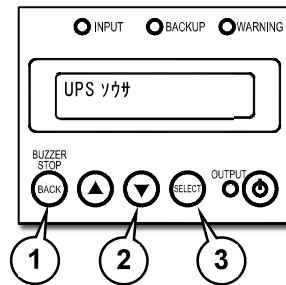
① **BACK** を押して LCD 画面を表示させます。

② **▼** を押してホームメニューを切り換え、**UPS ソウサ** を表示させます。

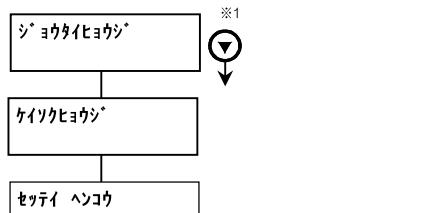
③ **SELECT** を押して確定します。

④ **▼** または **▲** で表示を切り換え、操作する項目を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して実行します。

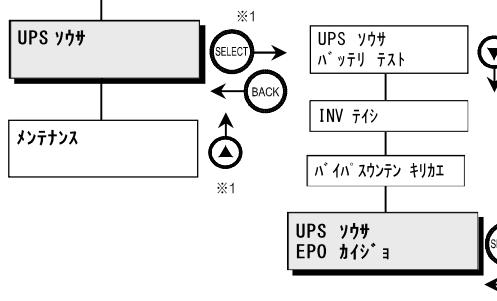
⑤ **BACK** を押して戻ります。



ホームメニュー

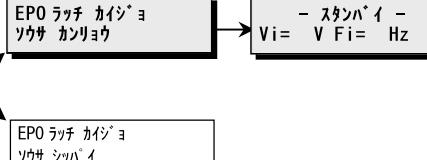


操作項目



※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。**▼** を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。

「ソウサ カンリョウ」の場合：約 1 秒後に画面が切り換わります。



「ソウサ シッパイ」の場合：切り替え操作ができない状態です。約 3 秒後に画面が切り換わります。

ご注意

- UPS が緊急出力停止中は、緊急出力停止スイッチを解除しても、UPS の緊急停止状態は解除されません。上記の操作で UPS の緊急停止状態を解除してください。
- EPO 信号を受信している間は、UPS を起動することはできません。

5. メンテナンスメニュー (サービス員^{*}用)

メンテナンスメニューは、UPSのメンテナンスをするときに使用するサービス専用のメニューです。お客様は、「5.1」～「5.3」以外の操作をしないでください。

* サービス員について

電気設備施工に関する専門知識を有するサービス技術員、または当社および当社から委託された本製品の知識を有するサービス技術員を指します。当該サービス員以外は施工・保守作業を実施しないでください。

ホームメニュー：メンテナス／保守（サービス員専用）

操作グループ	表示項目		項目						
	表示	内容	表示	内容	表示	内容			
UPS システム UPS システム	ナップリ ジョウホウ 内部情報	フィルタ セイワ カンリョウ ^{※2}	エアフィルタ清掃完了	ソウサ カンリョウ	エアフィルタ清掃完了を入力、エアフィルタ点検時期警告表示の解除。				
ナップリ ジョウホウ 内部情報	バッテリ 情報	バッテリ ジョウホウ	バッテリ情報	UPS ウンテン セイサンジ カンジ カン	UPS 運転積算時間				
				バッテリ ジュミョウ ネン	バッテリ寿命				
				テイデン ハッセイ カイスカ カイ	停電発生回数				
				バッテリウンテン セイサンジ カンビ ジョウ	バッテリ運転積算時間				
				ゼンカイ テスト ジュシビ YY/MM/DD HH:MM	前回のテスト実施日				
				ゼンカイ テスト ケッカ ^{※1} ***	前回のテスト結果				
				バッテリジ ジョウホウ リセット	バッテリ情報リセット				
				バックアップ 時間設定	5 フン	5 分	ユーザ設定		
ユニット ジョウホウ 装置情報	バッテリ 種別	バッテリ シュペツ	バッテリ種別		10 フン	10 分			
					15 フン	15 分			
					25 フン	25 分			
					30 フン	30 分			
					35 フン	35 分			
					45 フン	45 分			
					60 フン	60 分			
					120 フン	120 分			
					180 フン	180 分			
					360 フン	360 分			
ユニット ジョウホウ 装置情報	UPS モデル名	UPS モデル名	UPS モデル名	定格バックアップ時間	5 ケン(ナマリ バッテリ)	5 年(鉛バッテリ)	ユーザ設定		
					10 ケン(ナマリ バッテリ)	10 年(鉛バッテリ)			
	定格容量	定格容量			13 ケン(ナマリ バッテリ)	13 年(鉛バッテリ)			
					リチウムイオン バッテリ	リチウムイオンバッテリ			
	シリアル ハンゴウ	シリアル番号		LCD プログラムバージョン	5 ケン(ナマリ バッテリ)	5 年(鉛バッテリ)			
					10 ケン(ナマリ バッテリ)	10 年(鉛バッテリ)			
	EXIF プログラム	EXIF プログラムバージョン			13 ケン(ナマリ バッテリ)	13 年(鉛バッテリ)			
					リチウムイオン バッテリ	リチウムイオンバッテリ			
ユニット 1 ユニット 8	コショウ リレキ	故障履歴	リレキ (1~30)	故障履歴表示	最大 30 件まで保存				
UPS ユニット 1 UPS ユニット 8	ソウサ リレキ	操作履歴	リレキ (1~60)	操作履歴表示	最大 60 件まで保存				
ナップリ ジョウホウ 内部情報	バッテリ 情報	バッテリ ジョウホウ	バッテリ情報	UPS ウンテン セイサンジ カンジ カン	UPS 運転積算時間	UPS 運転積算時間	ユーザ設定		
					バッテリ ジュミョウ ネン	バッテリ寿命			
					テイデン ハッセイ カイスカ カイ	停電発生回数			
					バッテリウンテン セイサンジ カンビ ジョウ	バッテリ運転積算時間			
					ゼンカイ テスト ジュシビ YY/MM/DD HH:MM	前回のテスト実施日			
					ゼンカイ テスト ケッカ ^{※1} ***	前回のテスト結果			
					バッテリジ ジョウホウ リセット	バッテリ情報リセット			
					ROM バージョン	プログラムバージョン			
ユニット ジョウホウ システム情報	ユニット状態表示	ユニット計測表示	ユニット計測表示	シリアル 番号	シリアル番号	シリアル番号	ユーザ設定		
					メイン CPU プログラム	P1 メインCPU プログラムバージョン			
					サブ CPU プログラム	P1 サブCPU プログラムバージョン			
					「1. ジョウタイヨウジ」と同じ。				
ユニットケイクヒヨウジ	ユニット計測表示	ユニット計測表示	ユニット計測表示	Vbatt = V	バッテリ電圧	Vinv = V	インバータ電圧		
				Vchg = V	充電器電圧	Iinv = A	インバータ電流		
				Ichg = A	充電器電流	Vbus = V	バス(BUS)電圧		
				ショウイオンド = °C	周囲温度				

※1、「メンテナンス」メニューの「センカイ テストケック」の項目は、「UPS ソウサ」メニューの「センカイ テストケック」と同じです。

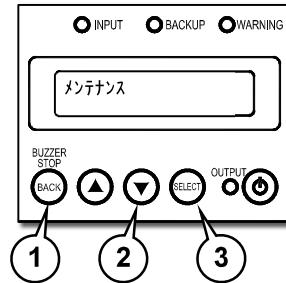
※2、「3.31 エアフィルタを使用する／しない」を設定する「設定値が「ショット」に設定されている場合に表示されます。

5.1 バックアップ時間を設定する

UPSのバックアップ時間を設定します。

初期設定時の誤設定を修正する場合、またはバッテリの組み合わせを変更した場合以外は、設定を変更しないでください。

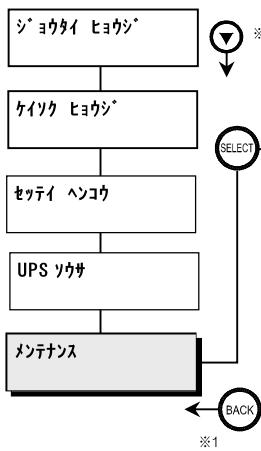
- ① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **▼** を押してホームメニューを切り替え、**メンテナンス** を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して確定します。
- ④ **▼** または **▲** で表示を切り替え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「操作グループ」→「操作項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換える、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。
- ⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：バックアップ時間を「15分」に設定する場合

- ポイント**
- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
 - ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
 - ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

ホームメニュー



操作グループ

操作項目

操作項目

UPSシステム
ナップ ジョウホウ

ナップ ジョウホウ
バッテリ ジョウホウ

バッテリ シュペル

ユニット ジョウホウ

バッテリ シュペル

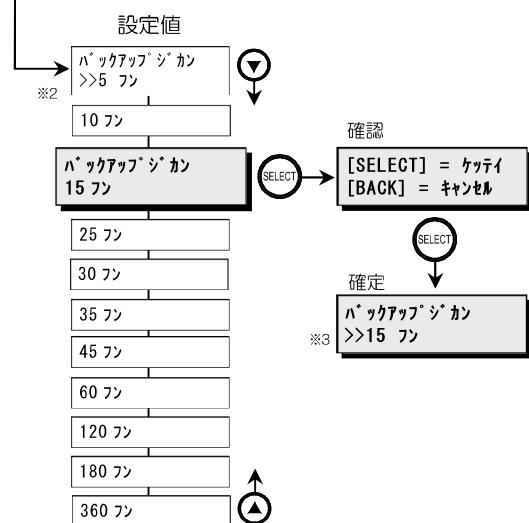
バッテリ シュペル

設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
5 フン	
10 フン	
15 フン	
25 フン	
30 フン	
35 フン	
45 フン	
60 フン	
120 フン	
180 フン	
360 フン	

UPSに接続されているバッテリ
に合わせて、バックアップ時間を設
定してください。

30分バックアップ用のバッテリが接続されているときは、
設定値「30分」を選択してください。「60分」を選択しても
実際のバックアップ時間は60分にはなりません。



ご注意

バックアップ時間の設定値を変更すると、自動的にバッテリ情報（バッテリ寿命情報）
がリセットされます。運用中、不用意に設定値を変更しないでください。

5.2 バッテリ種別を設定する

バッテリの種類を設定します。

初期設定時の誤設定を修正する場合、またはバッテリの種類を変更した場合以外は、設定を変更しないください。

① **BACK** を押してLCD画面を表示させます。

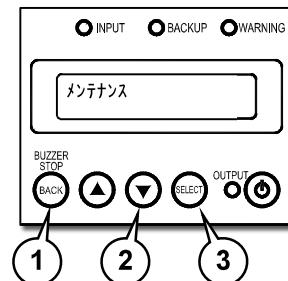
② **▼** を押してホームメニューを切り替え、**メンテナンス** を表示させます。

③ **SELECT** を押して確定します。

④ **▼** または **▲** で表示を切り替え、設定する項目を **SELECT** で選択します。
各階層で同様に操作し、「操作グループ」→「操作項目」→「設定値」へ進みます。

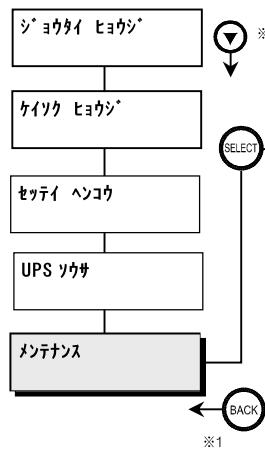
⑤ **▼** または **▲** で設定値を切り換える、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。

⑥ **BACK** を押して戻ります。



例：バッテリ種別を「10年鉛」に設定する場合

ホームメニュー

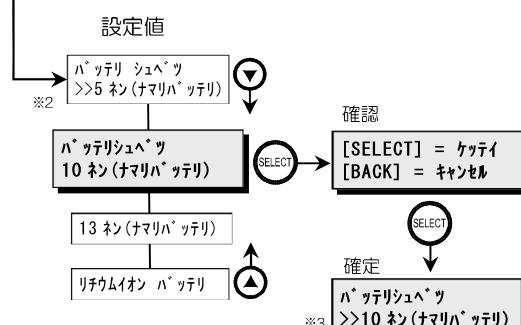
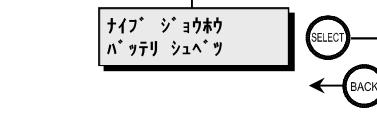


操作グループ

操作項目

操作項目

- ※1. 階層を進めるときは **SELECT**、階層を戻すときは **BACK** を押します。
▼ を押すと項目が進み、**▲** を押すと戻ります。
- ※2. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。
現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※3. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
初期設定 5ネン(ナマリバッテリ)	5年（鉛バッテリ）
10ネン(ナマリバッテリ)	10年（鉛バッテリ）
13ネン(ナマリバッテリ)	13年（鉛バッテリ）
リチウムイオンバッテリ	リチウムイオンバッテリ

5年（鉛バッテリ）が搭載されているときは、「5年（鉛バッテリ）」を選択してください。「10年（鉛バッテリ）」を選択しても実際のバッテリ種別は10年にはなりません。

ご注意

- バッテリ種別の設定値を変更すると、自動的にバッテリ情報（バッテリ寿命情報）がリセットされます。運用中、不用意に設定値を変更しないでください。
- 設定を変更した後は、「3.37 UPSを再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。UPSを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- UPS状態表示に「サブパワ シグナル」が表示されているときは、設定変更後にUPSが再起動されていない状態です。「3.37 UPSを再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。

5.3 エアフィルタ清掃完了の操作をする (エアフィルタ使用時のみ)

エアフィルタを使用している場合は、2か月に1回エアフィルタの清掃をした後、エアフィルタ清掃完了の操作をしてください。

一定期間、この操作をしていないと下記のエアフィルタ点検時期の警告*が表示されます。警告表示は、清掃完了の操作をすると解除されます。必ずエアフィルタを清掃してから実施してください。

*エアフィルタ点検時期の警告とは・・

UPSが下記の状態になり、エアフィルタの点検時期をお知らせします。

- ブザー音：ピピピ…（継続）
- LED：【WARNING（赤）】点灯、【ALARM（赤）】点滅
- LCD画面：
— **** —
エアフィルタ テンケン シキ

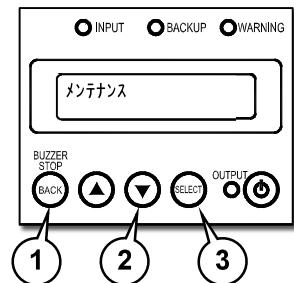
① BACK を押してLCD画面を表示させます。

② ▽ を押してホームメニューを切り換え、メンテナンス を表示させます。

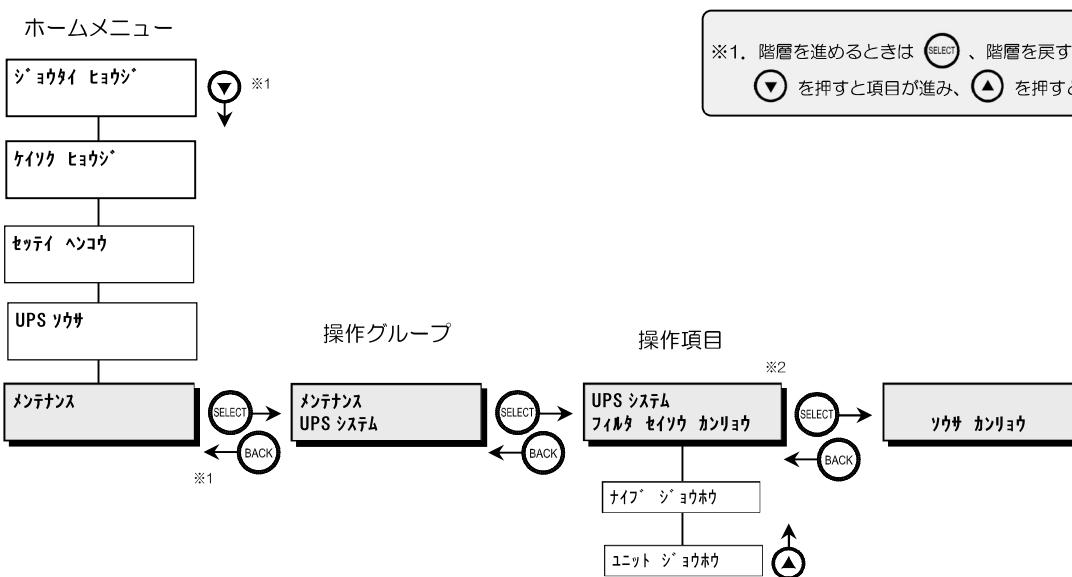
③ SELECT を押して確定します。

④ 表示された画面で SELECT を押して「操作項目」を確定します。

⑤ 表示された画面で SELECT を押します。



例：エアフィルタ清掃完了の操作をする



6. 状態表示説明

ホームメニュー「ジヨウタヒヨウ」でLCD画面に表示されるUPS状態の詳細は下表のとおりです。
お客様で対応できない場合、UPSの故障時は、購入先または当社までご連絡ください。

1/2

UPS運転モード		状態表示		
表示	内容	表示	内容	詳細 および 対応
スルバ	待機中	LF= % CHG= %	負荷率 %、充電率 % (オンライン表示)	負荷率 %、充電率 %
オンライン	オンライン運転中	LF= % Tm= m	負荷率 %、推定放電時間分 (バッテリ運転表示)	負荷率 %、放電時間 分
バイパス	バイパス運転中	PDU ファン イジ'ヨウ	集電ユニットファン異常(重故障)	集電ユニット内部のファンモータに異常が発生しました。購入先または当社へご連絡ください。
バッテリウツン	バッテリ運転中	PDU プレーカ OFF	集電ユニット出力ブレーカ断(重故障)	集電ユニットの [OUTPUT MCCB] を手動で「OFF」にした場合は、「ON」にしてください。
バッテリテスト	バッテリテスト中			UPSに接続されている負荷機器が多く、UPSの定格容量を大幅に超え、集電ユニットの [OUTPUT MCCB] がトリップしています。接続している負荷機器を減らしてください。
システムショウ	システム故障中	Vi= V Fi= Hz	入力電圧、入力周波数(待機中表示)	入力電圧、入力周波数
		Vo= V Fo= Hz	出力電圧、出力周波数(バイパス運転表示)	出力電圧、出力周波数
		イジ'ヨウシング'ウテスト	装置異常の擬似転送信号送出中	試験用の「装置異常」転送信号が送出されています。「3.15」をご覧ください。
		インバータ カテ'ンツツ	インバータ過電圧(重故障)	インバータ出力電圧の異常が検出されました。UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		インバータカイロ イジ'ヨウ	インバータ電圧検出回路異常(重故障)	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		インバータテ'ンツツ タイ	インバータ電圧低下(重故障)	インバータ出力電圧の異常が検出されました。UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		エアフィルタ テンケン ジキ	エアフィルタ点検時期 *3	エアフィルタの清掃をしてから、「5.3 エアフィルタ清掃完了の操作をする」の操作をしてください。
		カフカ ジ'ヨウタイ	過負荷	UPSに接続されている負荷機器が多く、UPSの定格容量を超えていません。接続している負荷機器を減らしてください。
		カフカ ジ'ヨウタイ(オント')	温度条件による過負荷(軽故障)	UPSを使用している周囲温度での負荷上限を超えていません。周囲温度を下げてください。または接続している負荷機器を減らしてください。
		キョウセイ バ'パス SWオン	バイパススイッチ ON	強制バイパススイッチ [Forced Bypass] が「Bypass」になっています。
		キド'ウマテ' = h m	スケジュール起動遅延中 *1	UPS管理ソフトのスケジュール運転の設定によりON遅延時間実行中です。設定時間経過後、UPSは起動します。
		コントローラ イジ'ヨウ	コントローラ異常(重故障)	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		コンバータ イジ'ヨウ	コンバータ異常(重故障)	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		サイキド'ウ シテク'サ'イ	再起動要	UPSを再起動しないと変更が有効にならない設定項目が変更された後、再起動されません。「3.37」をご覧になりUPSを再起動してください。
		シュウハスク イジ'ヨウ	入力周波数異常	入力電源が許容周波数範囲を超えていました。通常運転中に発生した場合は、自動的にバッテリからの給電に切り換わります。頻繁に発生する場合は、入力電源状態および、UPSの周波数設定を確認してください。
		ジ'ヨウチヨウウンテン NG	冗長運転不可(軽故障)	「3.35」で運転システムを「N+1 ジ'ヨウヨウ」に設定している場合、UPSに接続されている負荷容量が多く、並列冗長運転ができない状態です。接続している負荷機器を減らしてください。
		セッテイ イジ'ヨウ	設定異常	複数台のUPSユニットを接続している場合、UPSユニットの設定が異なっています。設定を合わせてください。
		セイギ'ヨデ'ンゲン イジ'ヨウ	制御電源(12V)異常(重故障)	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		ソ'ユニットス'ウ イジ'ヨウ	総ユニット数エラー(重故障)	「3.34」で設定したUPSユニット台数と、実際に運転しているUPSユニットの台数が異なっています。UPSユニットの状態を確認してください。
		チャージ'ヤ イジ'ヨウ	充電器異常(重故障)	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		チャージ'ヤ テイン(オント')	動作温度範囲外による充電器停止(軽故障)	UPSの周囲温度が充電器の動作範囲を超えていました。周囲温度を適切な温度にしてください。
		チャージ'ヤ テイン(ヘンコウ)	バッテリ種別変更による充電器停止	バッテリ種別が変更されたため、充電器が停止しています。「3.37」をご覧になりUPSを再起動してください。
		チョクリュウテ'ンツツ イジ'ヨウ	コンバータ直流電圧異常(重故障)	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。

UPS運転モード		状態表示		
表示	内容	表示	内容	詳細 および 対応
オンライン バイパス バッテリウツン バッテリテスト システムショウ	待機中 オンライン運転中 バイパス運転中 バッテリ運転中 バッテリテスト中 システム故障中	テイシュウ(EPO オン)	EPO による停止中	UPS信号が入力されているため、出力が停止しています。
		テイシュウ(EPO ラッチ)	EPO ラッチによる停止中	UPS信号入力がラッチされ、出力が停止しています。「4.5」をご覧になりラッチを解除してください。
		バイバス出力断(入力電圧異常)	バイバス運転中に入力電圧異常が検出されたため、給電が停止しました。	
		テイシュウ(リモートオフ)	Remote OFF による停止中	リモートOFF信号が入力されているため、インバータの起動操作が中止されました。
		テイシマテ = h m	スケジュール停止遅延中 ^{※1}	UPS管理ソフトのスケジュール運転の設定により OFF 遅延時間実行中です。設定時間経過後、UPSは停止します。
		テストユウ m s	バッテリテスト残り時間 ^{※1}	バッテリテストの残り時間が表示されています。
		ナイフ ウシノ イジ ヨウ	UPS内部の通信異常(軽故障)	UPS内部の通信に異常が発生しています。購入先または当社へご連絡ください。
		ナイフ オンド イジ ヨウ	ファン温度異常(重故障)	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		ニユカリヨク イジ ヨウ	入力異常	入力電源の瞬断が検出されました。通常運転中に発生した場合は、自動的にバッテリからの給電に切り換わります。頻繁に発生する場合は、入力電源状態および、UPSの周波数設定を確認してください。
		ニユカリヨク カデンツ	入力過電圧	入力電源が許容電圧範囲を超えていました。通常運転中に発生した場合は、自動的にバッテリからの給電に切り換わります。頻繁に発生する場合は、入力電源状態および、UPSの周波数設定を確認してください。
		ニユカリヨク テンソウ テイカ	入力電圧低下	バッテリ回路が故障し、UPSの出力が停止しています。UPSの再起動はできません。購入先または当社へご連絡ください。
		バッテリ イジ ヨウ	バッテリ回路異常(重故障)	復電時のUPS起動条件が充電率に設定されている場合の充電中の状態です。設定された充電率になるとUPSは起動します。
		バッテリ ジュケン マチ	充電率起動待ち中	
		バッテリ ジュミョウ	バッテリ寿命	バッテリの寿命です。バッテリを交換してください。
		バッテリ ジュミョウ ヨク	バッテリ寿命予告	バッテリの余命が残り半年です。バッテリ交換の準備をしてください。
		バッテリ ホウテンシュウ	バッテリ放電終止	バッテリ放電終止です。
		バッテリ LV シゴ ケスト	バッテリ LV の擬似転送信号送出中	試験用の「バッテリ電圧低下」転送信号が送出されています。「3.16」をご覧ください。
		バッテリキドウ カイロ イジ ヨウ	バッテリ起動スイッチの短絡故障(軽故障) ^{※2}	バッテリ起動スイッチを押したままの場合は、解除してください。
		バッテリテスト(リモート)	遠隔操作によるバッテリテスト実行中	UPS管理ソフトからの遠隔操作により、バッテリテスト実行中です。
		バッテリテンソウ イジ ヨウ	バッテリ電圧異常	バッテリバックが接続されていません。バッテリバックを確実に搭載してください。接続に異常がない場合は、バッテリが劣化しています。購入先または当社へご連絡ください。
		バッテリテンソウ テイカ	バッテリ電圧低下	バッテリ電圧が低下しています。
		ヒト ウキ ウンテン	非同期運転	入力電源と非同期で給電しています。バイパス運転への切り換えは瞬断切換えとなります。
		フクテン カクニンチュウ	復電時確認時間中	復電時、UPSが復電したと判断するまでの確認時間の待機中です。
		ホシ ヨテ ソケン イジ ヨウ	補助電源異常(軽故障)	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		メイン ブレーカ OFF	メインブレーカのOFF またはトリップ	MAIN MCCB を手動で「OFF」にした場合は、「ON」にしてください。 UPSに接続されている負荷機器が多く、UPSの定格容量を大幅に超え、MAIN MCCB がトリップしています。 接続している負荷機器を減らしてください。
		ユニットワシノ イジ ヨウ	ユニット間通信異常	ユニット間の通信異常の可能性があります。 ユニット間を接続しているケーブルを確認してください。

※1. 時間により表示が異なります。

※2. UPSの型番により、表示されない機種があります。

※3. 「3.31 エアフィルタを使用 する/しない を設定する」で設定値が「ショル」に設定されている場合に表示されます。また、「3.14 軽故障時に転送信号を送出 する/しない を設定する」で設定値が「ソル」に設定されている場合は、「装置異常」信号が送出されます。

7. 計測情報表示について

バッテリ充電率表示について

- (1) 充電率はUPSの運転時間に応じて増加しますので、UPS取扱説明書「使用前の準備をする」の項目をご覧になりUPSを運転してください。充電率が100%と表示されるまでの時間は、接続されているバッテリの構成により異なります。
- (2) バッテリが正しく接続されていない状態でUPSを運転すると、充電率「ChgRate = %」が正常に表示されません。

バッテリ残保持時間について

- (1) 表示されるバッテリ残保持時間「RunTm = h m」は目安です。実際の保持時間と異なる場合もあります。
- (2) 計画停電などが予定されている場合は、予定時間の20時間以上前にバッテリテストを実施し、実際にバックアップできることを確認してください。バッテリテストについては「4.1 バッテリテストをする」をご覧ください。

バッテリの充電について

- (1) リチウムイオンバッテリが搭載されているUPSの場合、バッテリ充電率が100%になると、バッテリの充電は停止します。このとき、充電電圧は「Vchg = 0V」と表示されます。バッテリ充電率が低下するとバッテリの充電が再開します。

負荷率表示について

- (1) 負荷率が5%未満の場合、負荷率、出力電流、出力電力は「0」と表示されます。
UPS管理ソフト、またはLANインターフェースカードを使用している場合、UPS管理ソフト、LANインターフェースカードに表示される値も、負荷率、出力電流、出力電力は「0」となります。

UPSソリューションズ株式会社

【本社】〒101-0032

東京都千代田区岩本町 2-13-6 ミツボシ第3ビル

TEL : 03-5833-4061 FAX : 03-3861-0920

テクニカル・サポートグループ

【中部支店】〒464-0074

名古屋市千種区仲田 2-15-12 ワークビル 4F

TEL : 052-734-9200 FAX : 052-734-9500

【西日本支店】〒532-0011

大阪市淀川区西中島 5-3-10

イトーピア新大阪ビル 3F

TEL : 06-6838-4881 FAX : 06-6838-4882

【北海道営業所】〒060-0004

札幌市中央区北4条西 12-1-28 北4条ビル 7F

TEL : 011-280-0015 FAX : 011-280-0016

【九州営業所】〒812-0011

福岡市博多区博多駅前 2-20-15 第7岡部ビル 3F

TEL : 092-481-3441 FAX : 092-481-3442

<https://www.ups-sol.com/> support@ups-sol.com

受付時間 平日 9:00～18:00(当社休日を除く)

本取扱説明書に記載された会社名と商品名は、それぞれ各社の称号、商標または登録商標です。

※本取扱説明書記載の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

各種ダウンロード URL <https://www.ups-sol.com/download/index.html>